

学校適正規模適正配置アンケート 調査結果報告書

令和4年10月
庄内町教育委員会

1 調査の目的

本調査は、保護者や地域の方々等の考え方や意識を把握し、審議会での議論を充実させ、学校適正規模・適正配置に関する方向性、基本方針の策定の基礎資料とするため実施した。

2 調査の対象者

- (1) 地域一般町民（無作為に抽出した町内にお住まいの方）
- (2) 町内の保育園、認定こども園、幼稚園の園児、小中学校の児童生徒の保護者
- (3) 町内小中学校の教員

3 本報告書の留意事項

- (1) 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しております。したがって、構成比を合計しても100.0%にならない場合があります。
- (2) 一人の回答者が2つ以上の回答を出してよい設問は、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- (3) 図表中において、「不明」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- (4) 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

目次

【町民対象】

問1：あなたの年齢を教えてください。……………	2
問2：あなたがお住まいの学区・地区を教えてください。……………	3
問3：あなたは過去5年間に町内の小・中学校にどれくらいの頻度で行きましたか。……………	4
問4：あなたは町内の小・中学校にどのような理由で行きましたか。……………	5
問5：あなたは学校施設の役割として、町内の小・中学校に、どのような役割を望みますか。……………	6
問6-1：あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。……………	7
問6-2：学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の 小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。……………	8
問7-1：小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。……………	9
問7-2：中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。……………	9
問8-1：小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。……………	10
問8-2：中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。……………	10
問9-1：【小学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めな がら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応でき るよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があ ると思いますか。……………	11
問9-2：【中学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めな がら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応でき るよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があ ると思いますか。……………	13
問10：少子化による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化への対応方針を検討するため、庄内町学 校適正規模・適正配置審議会を設置しています。検討するうえで、特に配慮する必要があるこ とは何だと思いますか。……………	15

【保護者対象】

問1：あなたがお住まいの学区・地区を教えてください。……………	26
問2：この調査票を持ち帰ったお子さまの学校等に○をつけてください。……………	26
問3-1：あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。……………	27
問3-2：学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の 小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。……………	29
問4-1：小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。……………	31
問4-2：中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。……………	31
問5：本調査票を持ち帰ったお子さまの片道の通学時間に○をつけてください。……………	32
問6：本調査票を持ち帰ったお子さまの通学方法に○をつけてください。……………	32
問7-1：小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。……………	33
問7-2：中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。……………	33

問 8-1 : 【小学校】 少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。……………	3 4
問 8-2 : 【中学校】 少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。……………	3 6
問 9 : 少子化による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化への対応方針を検討するため、庄内町学校適正規模・適正配置審議会を設置しています。検討するうえで、特に配慮する必要があることは何だと思いますか。……………	3 8

【教員対象】

問 1 : あなたが勤務している学校名を選択ください。……………	6 2
問 2 : あなたの年齢を教えてください。……………	6 2
問 3-1 : あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。……………	6 3
問 3-2 : 学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。……………	6 4
問 4 : 小規模な学校において教員が少なくなることによる運営上の課題について、あなたの考えにあてはまるものを選択してください。……………	6 5
問 5-1 : 小学校の 1 学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。……………	6 7
問 5-2 : 中学校の 1 学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。……………	6 7
問 5-3 : 1 学級あたりのクラスの人数は、どの程度がよいと思いますか。……………	6 7
問 6-1 : 小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。……………	6 8
問 6-2 : 中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。……………	6 8
問 7-1 : 【小学校】 少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。……………	6 9
問 7-2 : 【中学校】 少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。……………	7 0
問 8 : 少子化による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化への対応方針を検討するため、庄内町学校適正規模・適正配置審議会を設置しています。検討するうえで、子どもの教育活動（特別支援教育含む）や通学などの視点から配慮する必要があることは何だと思いますか。……………	7 1

【町民・保護者・教員 共通項目】……………	7 6
-----------------------	-----

学校適正規模適正配置アンケート概要【町民対象】

調査対象	20歳以上75歳以下の町民
調査対象者数	1,000人
抽出方法	学区地区、年齢階層別均等配分による住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	設問票によるアンケート調査（郵送法）
調査時期	令和4年6月17日（金）～7月8日（金）
有効回答率	31.8%（318票回答／1,000票送付）

【調査票配付数】

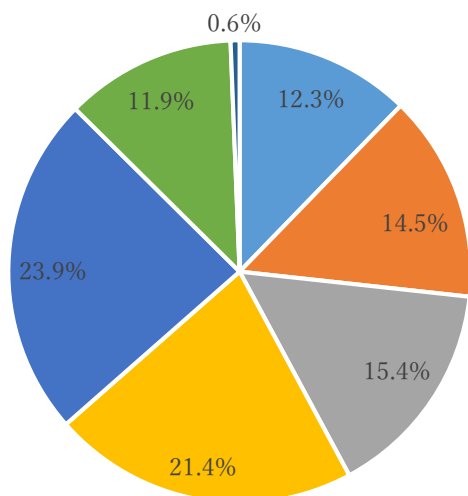
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
第一学区	38	38	38	38	38	19	209
第二学区	36	36	36	36	36	18	198
第三学区	31	31	31	31	31	15	170
第四学区	29	29	29	29	29	14	159
狩川地区	29	29	29	29	29	14	159
清川地区	10	10	10	10	10	6	56
立谷沢地区	9	9	9	9	9	4	49
計	182	182	182	182	182	90	1,000

【有効回答数】

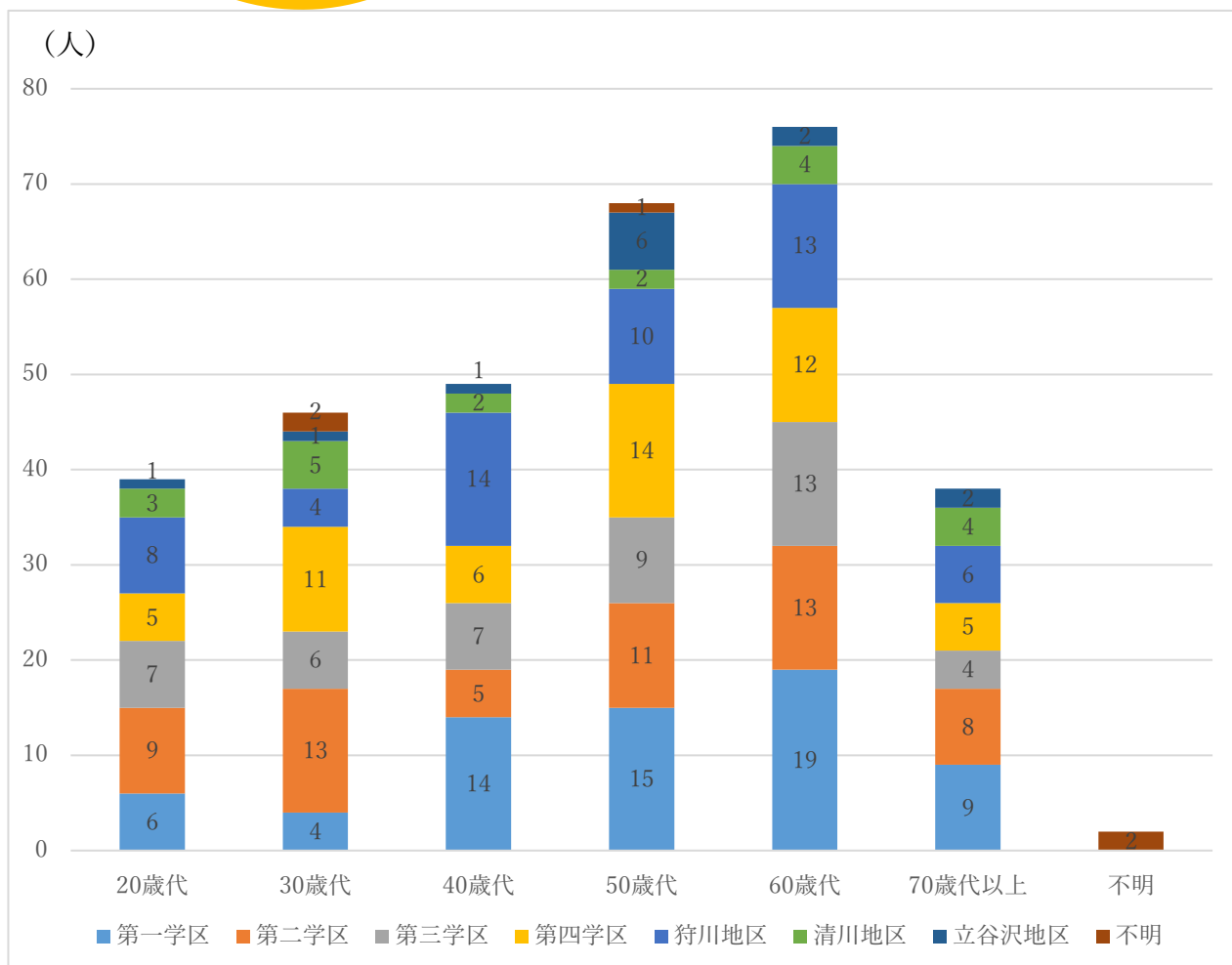
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	計
第一学区	6	4	14	15	19	9		67
第二学区	9	13	5	11	13	8		59
第三学区	7	6	7	9	13	4		46
第四学区	5	11	6	14	12	5		53
狩川地区	8	4	14	10	13	6		55
清川地区	3	5	2	2	4	4		20
立谷沢地区	1	1	1	6	2	2		13
不明		2		1			2	5
計	39	46	49	68	76	38	2	318

問1：あなたの年齢を教えてください。（〇は1つ）

年齢構成は、「60～69歳」（23.9%）、「50～59歳」（21.4%）、「40～49歳」（15.4%）、「30～39歳」（14.5%）、「20～29歳」（12.3%）、「70歳以上」（11.9%）の順となっています。

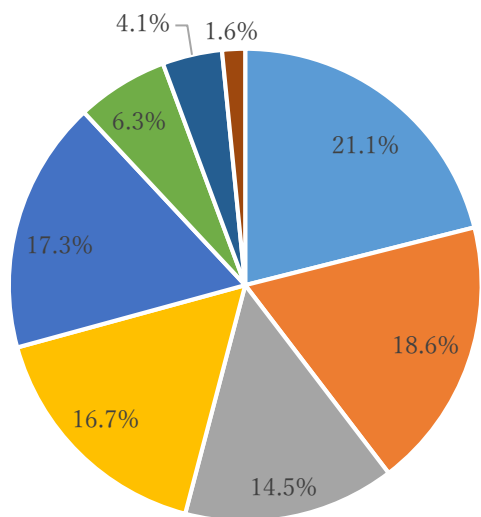


	集計数	構成比
全 体	318	100%
■ (1) 20～29歳	39	12.3%
■ (2) 30～39歳	46	14.5%
■ (3) 40～49歳	49	15.4%
■ (4) 50～59歳	68	21.4%
■ (5) 60～69歳	76	23.9%
■ (6) 70歳以上	38	11.9%
■ 不 明	2	0.6%

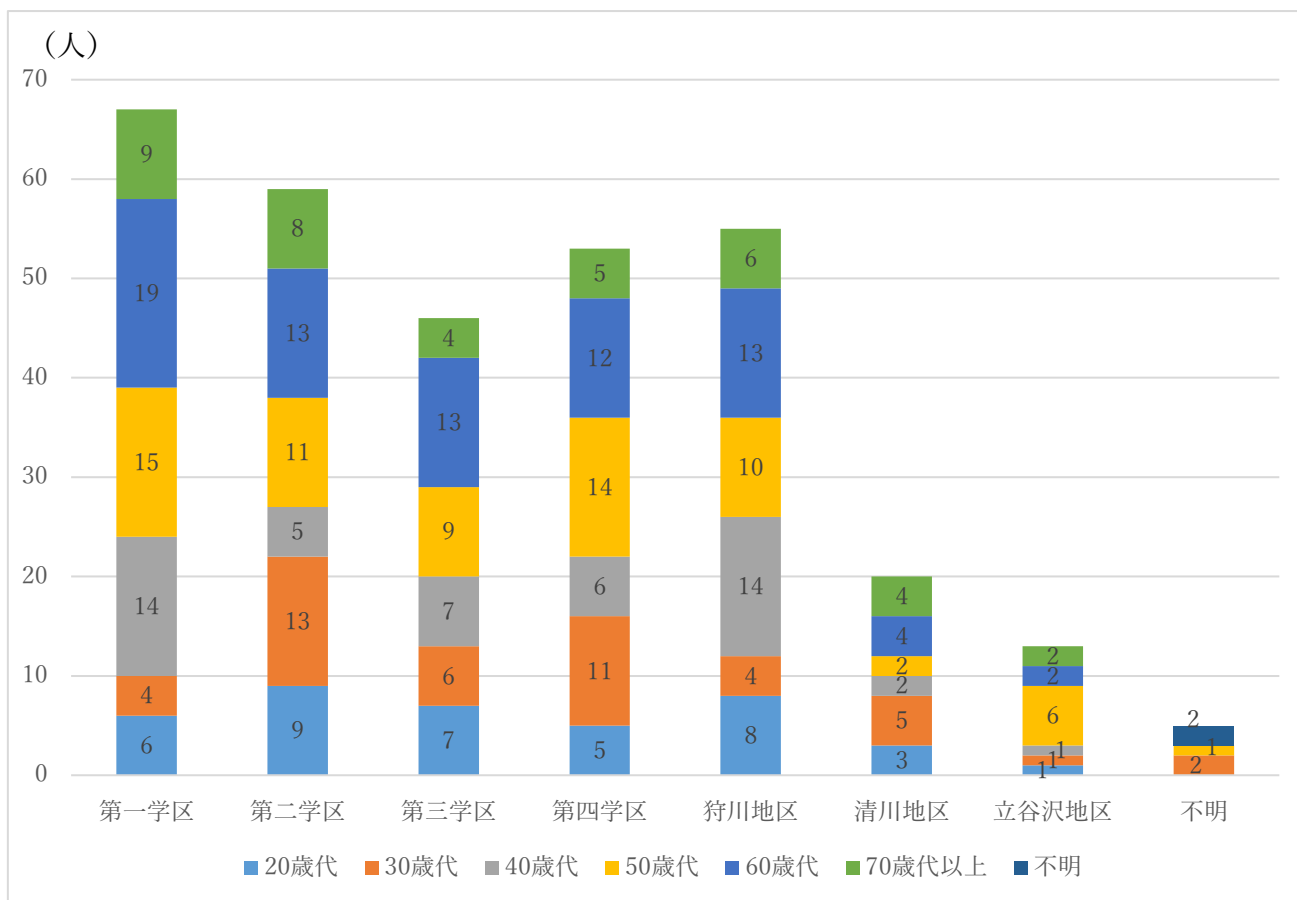


問2：あなたがお住まいの学区・地区を教えてください。（〇は1つ）

学区・地区の構成は、「第一学区」（21.1%）、「第二学区」（18.6%）、「狩川地区」（17.3%）、「第四学区」（16.7%）、「第三学区」（14.5%）、「清川地区」（6.3%）、「立谷沢地区」（4.1%）の順となっています。

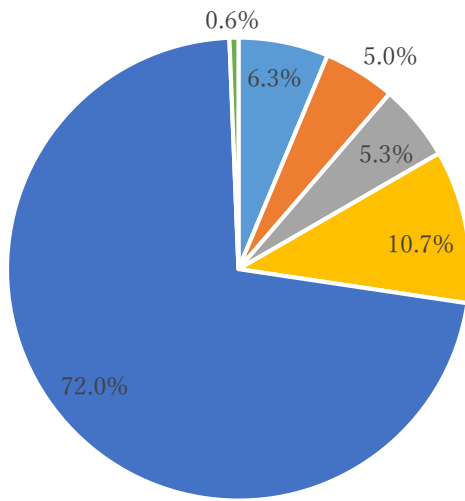


	集計数	構成比
全 体	318	100%
■ (1) 第一学区	67	21.1%
■ (2) 第二学区	59	18.6%
■ (3) 第三学区	46	14.5%
■ (4) 第四学区	53	16.7%
■ (5) 狩川地区	55	17.3%
■ (6) 清川地区	20	6.3%
■ (7) 立谷沢地区	13	4.1%
■ 不 明	5	1.6%



問3：あなたは過去5年間に町内の小・中学校にどれくらいの頻度で行きましたか。（〇は1つ）

「1回も行っていない」（72.0%）が一番多く、次が「年1回以上」（10.7%）となっています。



	集計数	構成比
全 体	318	100%
■ (1) 週1回以上	20	6.3%
■ (2) 月1回以上	16	5.0%
■ (3) 半年に1回以上	17	5.3%
■ (4) 年1回以上	34	10.7%
■ (5) 1回も行っていない	229	72.0%
■ 不 明	2	0.6%

問3で「(1) ~ (4)」を選んだ方にお聞きします。

問4：あなたは町内の小・中学校にどのような理由で行きましたか。(〇はいくつでも)

「学校行事」(25.2%)が一番多く、次が「子どもの送り迎え」(19.1%)となっています。

(1) 子どもの送り迎え	25		19.1%
(2) 保護者としての活動	12		9.2%
(3) 通学路の見守り	3		2.3%
(4) 教育活動や放課後活動などのボランティア	15		11.5%
(5) 学校行事	33		25.2%
(6) 災害時の避難や避難訓練	1		0.8%
(7) 地域(町内会・自治会、子ども会など)の会合・行事	12		9.2%
(8) 体育館や校庭、空き教室などを利用した活動	14		10.7%
(9) その他	16		12.2%
集 計 数	131		










(9) その他への記載事項

- クラブ活動
- 仕事の関係
- 孫の入学式
- 恩師に会いに行った。
- 散歩
- 課外活動講師
- 勤務しています。
- 職員
- 民生委員、児童委員の会議
- 町民運動会
- 奉仕活動(緑地整備)
- 子供が小学生の時に運動会に学校へ行った。
- 小学校剪定、青空農園指導、校友会会議

問5：あなたは学校施設の役割として、町内の小・中学校に、どのような役割を望みますか。

(〇はいくつでも)

「子どもたちの学びの場」(88.1%)、「地域の防災拠点」(52.2%)、「子どもたちの放課後の居場所・活動場所」(49.4%)の順となっています。







(1) 子どもたちの学びの場	280	 88.1%
(2) 子どもたちの放課後の居場所・活動場所	157	 49.4%
(3) 地域の防災拠点	166	 52.2%
(4) 地域の活動・交流の拠点	115	 36.2%
(5) スポーツ活動の拠点	128	 40.3%
(6) 文化活動の拠点	66	 20.8%
(7) 生涯学習の拠点	68	 21.4%
(8) 子育て支援の拠点	81	 25.5%
(9) その他	3	 0.9%
集 計 数	1,064	

(9) その他への記載事項

- バランスのとれた食事がとれる場所
- その地域の文化拠点であると思う。
- わからない。

問6-1：あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。(〇は2つまで)

「充実したコンピュータ等のICT設備」(41.5%)、「多様な学びができる校舎設備」(39.0%)、「安全で快適に過ごせる学習環境」(32.7%)の順となっています。






(1) ゆとりある広さの教室環境	84	 26.4%
(2) 充実した図書環境	45	 14.2%
(3) 充実したコンピュータ等のICT設備	132	 41.5%
(4) 多様な学びができる校舎設備	124	 39.0%
(5) 安全で快適に過ごせる学習環境	104	 32.7%
(6) 思いっきり運動できる体育館やグラウンド	87	 27.4%
集 計 数	576	

(1)～(6)の他に学習環境として望むもの

- (4) オープンスペースの様に1人学習や自由時間を過ごせる場所があるといい。ホールにベンチがある程度でいいので、閉めきっていないオープンな場所。(現在は教室と移動教室の往復程度でフリーな場が少ない気がする為。)
- 学校施設に行く機会が無く現在の状況が判らない。電子化も良いが身体が悪化しない程度で。現在は目を酷使し社会に遅れをとるが!
- 選択肢を広げられ得意分野に取り組める環境
- 十分な支援体制がとれる教員、支援員の配置。必要な教材、教具が購入できる予算枠(配分)
- レベルの高い高等教育
- よくわからないが英語は必要。学ばせて欲しい。
- 教師の充実(子供に目配りできる人数と能力)
- ものを覚えることがどんなに豊かなことなのか学べる場所、環境物理的な物だけでなく人として成長ができる場所環境
- 特にない。当面今の学校で充分と思われる。
- 清潔なトイレ・クーラーや暖房が効いていて適温が保たれる環境
- 最近日本語が出来ていないのではないかと思う。テレビのアナウンサーも正しい日本語を使っているか疑問である。(私も含めて)もっと明治から大正などの文字小説等を読んでほしい。
- 出来れば上記内容が整った学校・校舎であればと思います。

問6-2：学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。（〇は2つまで）

「多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会」（69.2%）、「学校と保護者・地域社会が連携した教育活動」（42.1%）、「同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場」（30.2%）の順となっています。

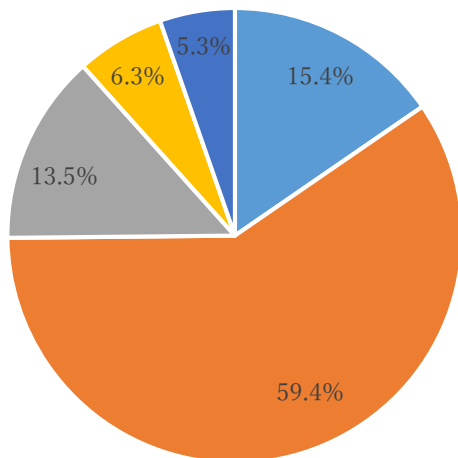
(1) 学校と保護者・地域社会が連携した教育活動	134	 42.1%
(2) 子どもの希望に合う部活動	64	 20.1%
(3) 同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場	96	 30.2%
(4) 同学年少人数で深い人間関係を築ける場	47	 14.8%
(5) 多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会	220	 69.2%
集 計 数	561	

(1)～(5)の他に教育活動の場として望むもの

- (2)学校部活動もいいが、専門に習い事を教えている所（ピアノ、サッカー、習字）もたくさんある為、そういった施設に委託や連携をする形でもいいのでは？と思う。（学校が部活動まで負担するのは無理があるという考えで。）
- 孤立にならない様指導者も目をひかせて下さい。
- 趣味で楽しむ事。これが学びに進化出来たら本物!そんな場がほしいです。私はこれができる～子供一人ひとりより見つけられたらいいだろうなあ～
- (1)に行政も加えて下さい。
- 多様性の尊重
- 子育てから長い時間が過ぎてわからない。
- 庄内町のいずれかの場所で生まれ育ったら15歳の春までは親の住所で学校が決まる。15歳の春で初めて自分の意思で人生の道を決める。15歳まで少しでもいいので人生設計について考える学習をしてほしい。勉強が出来るから〇〇高校へ進んだらどうかと先生はアドバイスするが、あくまでも15歳の春が最初の決断ではないか。
- 大規模校とするのか、小規模校を目指すのかで異なると思いますが多くの同学年、異学年の交流が出来る事が良い方向かなと思います。

問7-1：小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

「2学級」（59.4%）、「1学級」（15.4%）、「3学級」（13.5%）の順となっています。

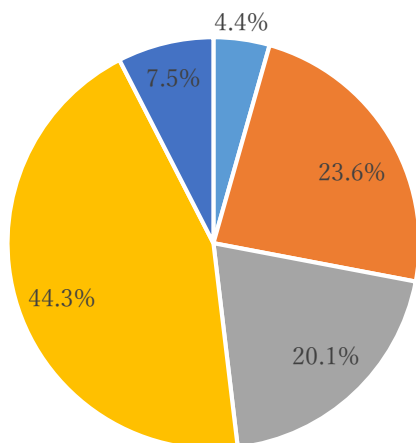


	集計数	構成比
全 体	318	100%
■ (1) 1学級	49	15.4%
■ (2) 2学級	189	59.4%
■ (3) 3学級	43	13.5%
■ (4) 4学級以上	20	6.3%
■ 不 明	17	5.3%

※選択した学級数の理由は、
報告書（その2）P1へ記載

問7-2：中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

「4学級以上」（48.0%）、「2学級」（25.5%）、「3学級」（21.8%）の順となっています。



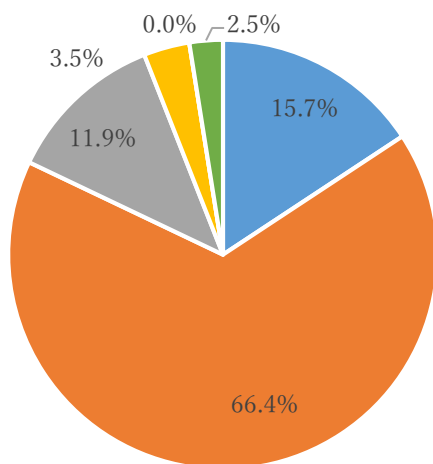
	集計数	構成比
全 体	318	100%
■ (1) 1学級	14	4.8%
■ (2) 2学級	75	25.5%
■ (3) 3学級	64	21.8%
■ (4) 4学級以上	141	48.0%
■ 不 明	24	7.5%

※選択した学級数の理由は、
報告書（その2）P4へ記載

問8-1：小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

(〇は1つ)

「30分未満」(66.4%)、「15分未満」(15.7%)、「45分未満」(11.9%)の順となっています。



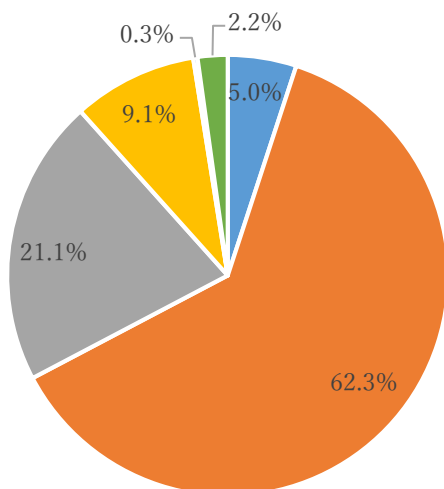
	集計数	構成比
全 体	318	100%
■ (1) 15分未満	50	15.7%
■ (2) 30分未満	211	66.4%
■ (3) 45分未満	38	11.9%
■ (4) 60分未満	11	3.5%
■ (5) 60分以上	0	0.0%
■ 不 明	8	2.5%

※選択した通学時間の理由は、
報告書(その2)P7へ記載

問8-2：中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

(〇は1つ)

「30分未満」(62.3%)、「45分未満」(21.1%)、「60分未満」(9.1%)の順となっています。



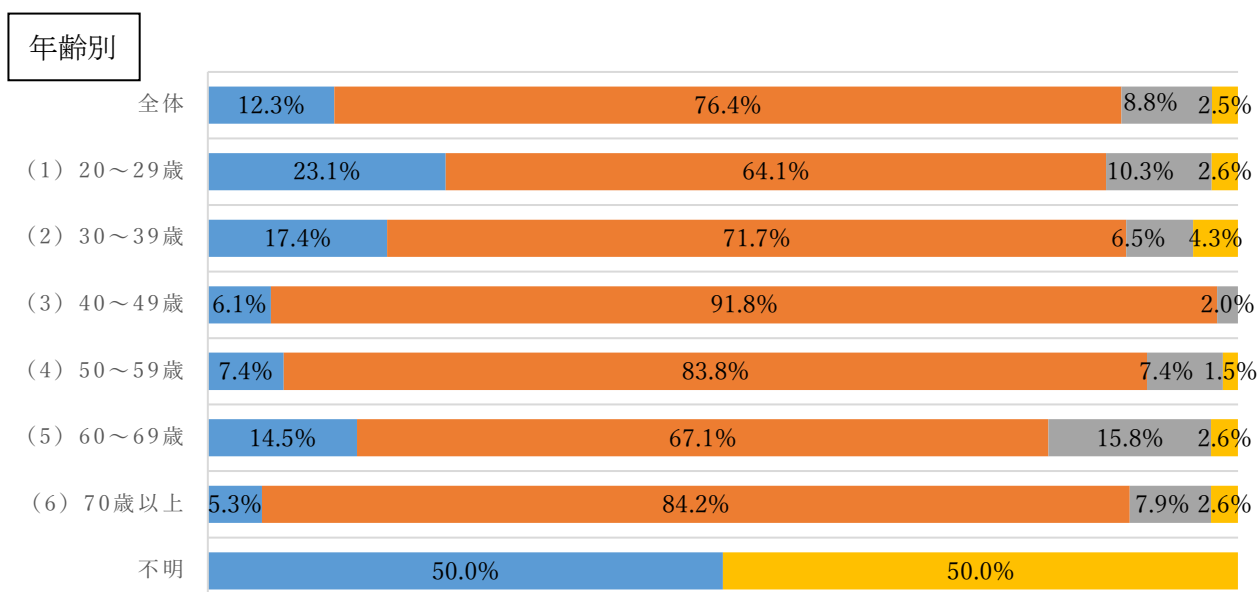
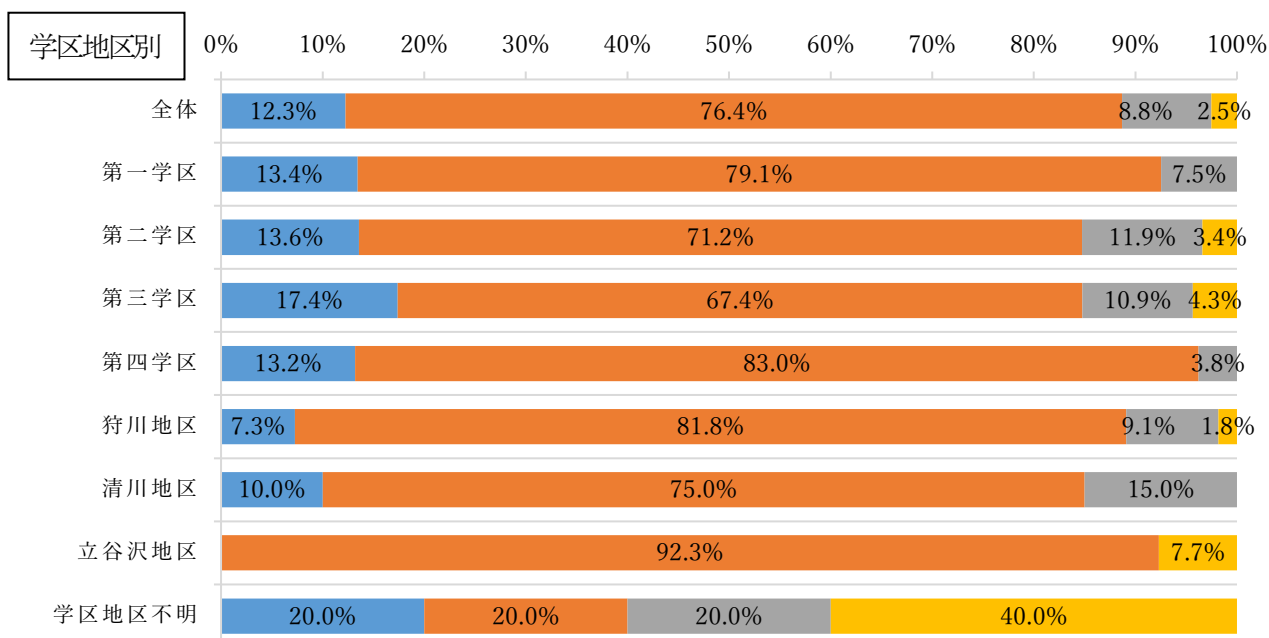
	集計数	構成比
全 体	318	100%
■ (1) 15分未満	16	5.0%
■ (2) 30分未満	198	62.3%
■ (3) 45分未満	67	21.1%
■ (4) 60分未満	29	9.1%
■ (5) 60分以上	1	0.3%
■ 不 明	7	2.2%

※選択した通学時間の理由は、
報告書(その2)P10へ記載

問9-1：【小学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。（〇は1つ）

「学校数を減らして、重点的に投資して建て替え」（76.4%）、「小学校5校をすべて建て替え又は全面改修」（12.3%）の順となっています。

	集計数	構成比
全 体	318	100.0%
■ (1) 小学校5校をすべて建て替え又は全面改修	39	12.3%
■ (2) 学校数を減らして、重点的に投資して建て替え	243	76.4%
■ (3) その他	28	8.8%
■ 不 明	8	2.5%



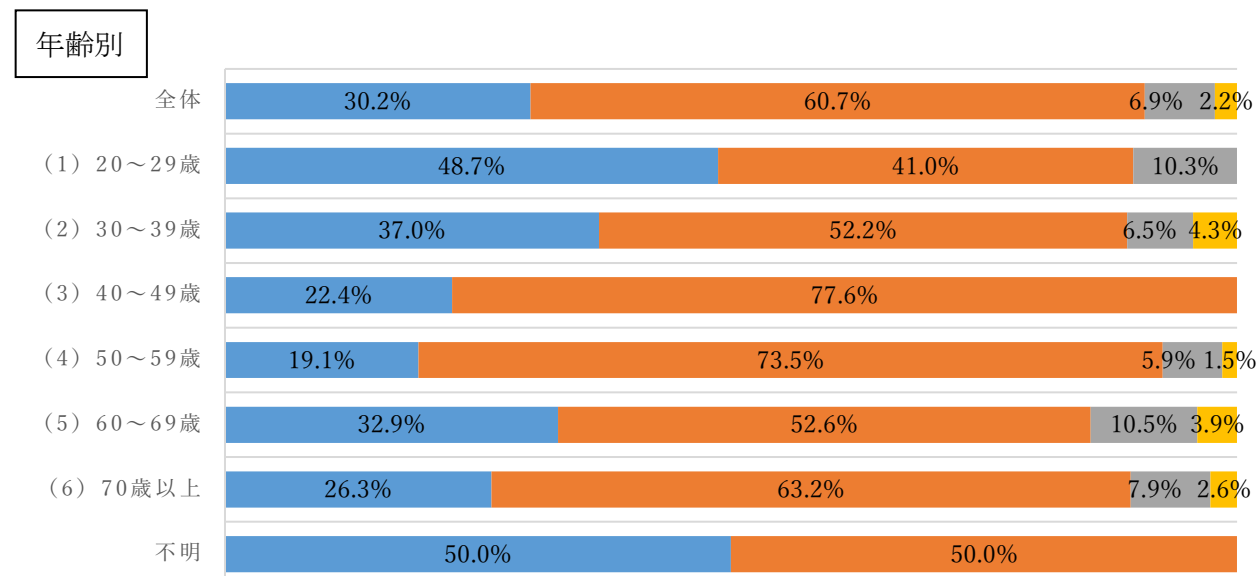
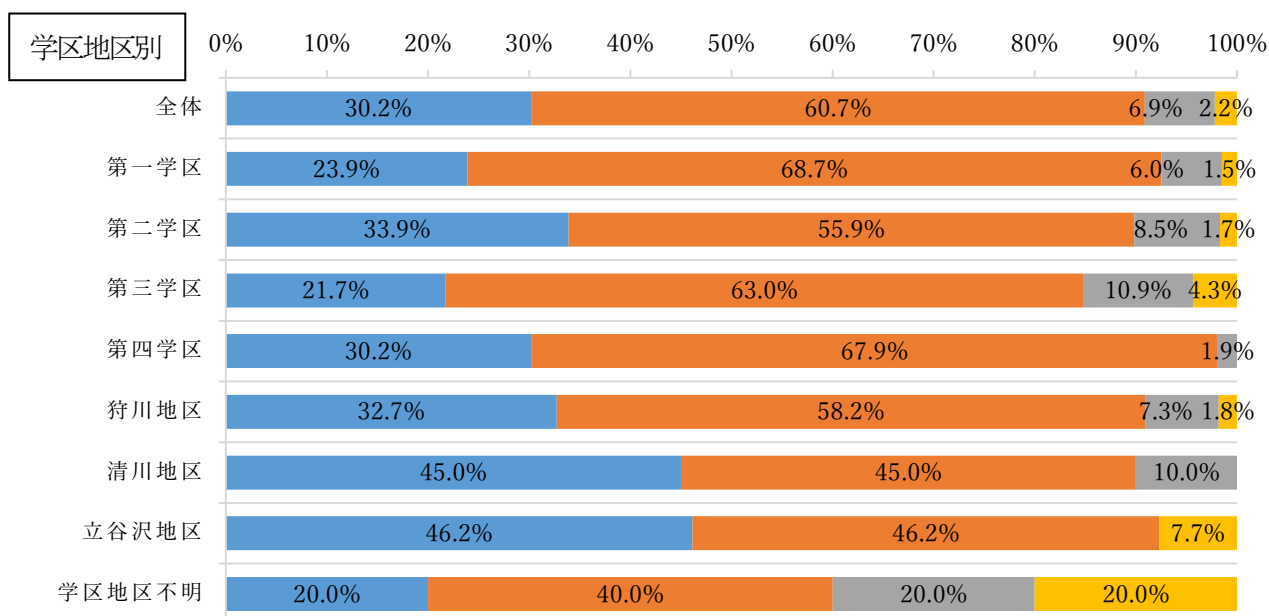
(3) その他への記載事項

- よくわかりませんが統合して数を減らせば財政は健全化されるのかもしれませんが。しかし、そのあとは…少子化も進行中。
- わからないです。
- 経年年数の少ない施設への移行と改修
- 木造校舎で勉強させて欲しい。
- わからない。
- 第1～第4全てを一体化する。そして全面バス通学。思いっきりが大事です。土地はこの町にきっとありますので。第1～第4統合計画する事を希望します。何かが見えて来ると思います。トビラはここからです。
- 小学校と町役場の一体化
- 長期的学童減を考慮した整備
- 見映え及び法律的に問題がある部分を改修
- 子供数が不足。余目と立川2校で充分では？
- 費用対効果は当然考慮すべきだが、直して活用することも大切であり、状況に合わせた対策は必要だと思う。
- 学校数はそのまま予算が厳しいのであれば順次必要を要する学校から建替えなり改修なり。
- 町内1校として建設する。
- 立川は1校なので余目を減らす。
- 立川1校、余目1校にして整備
- 小中一貫校にして、2校とし、どちらも中学校をつかう。4小は立川中に編入し1、2、3小は余目中に中学校の名前も変更して2校の交流をはかる。
- (2)の対応で、他は老健施設やデイサービス施設へ
- 現在あるものを再利用
- だんだん少子化になっているので建替えなくても補強とかでどうでしょうか。
- 現在の校舎を使用すべき。お金ありますか？
- 庄内町の規模で何もかも新しくして行くのは税金を考えるとわからない。
- 建物に拘らなくてもいいのではないかと思う。現在ある学校を建て替え、又は改修して無理して使用する必要はないと思う。人口減少が進めば当然学校数は減る。今までの様に大きな建物の学校に毎日通うというのではない学校のあり方が必要。リモートを増やす。先生は在宅して授業をする。
- 統合は厳しいと思う。学区に合う学びがあっていいと思うから
- 第1、2、3を統合。第四と立川を統合の2校。人口減少を考えた上です。
- 小学校1校に

問9-2：【中学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるような教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。（〇は1つ）

「学校数を減らして、重点的に投資して改修」（60.7%）、「中学校2校をすべて改修」（30.2%）の順となっています。

	集計数	構成比
全体	318	100%
■ (1) 中学校2校をすべて改修	96	30.2%
■ (2) 学校数を減らして、重点的に投資して改修	193	60.7%
■ (3) その他	22	6.9%
■ 不明	7	2.2%



(3) その他への記載事項

- 小学校同じですが老朽化が差し迫った状況です。ますますIT化とかが進む社会となるでしょう。実際自分の考えもまとまりません。
- 学校が楽しい、魅力ある先生が1人でも多く教えられる事が必要
- わからない。
- この事も小学校と同じです。統合し、すべてバス通を!改修投資とすぐ出る言葉です。町民の力は何増もプラス~パワーUPです!!
- 中学校と町役場の一体化
- 中学校はまだ改修は必要ないのでは。将来は統合する。
- 見映え及び法律的に問題がある部分を改修
- 費用対効果は当然考慮すべきだが、直して活用することも大切であり、状況に合わせた対策は必要だと思う。
- 学校数はそのままに優先順位で改修
- 立川中・余目中の統合で1つ
- 中学校は2校が望ましい。学区を再編しなおすことも検討すべき
- 現在あるものを再利用
- だんだん少子化になっているので建替えなくても補強とかでどうでしょうか。
- 現在の学校を改修する。町内に1校で良い。小中共に!
- 小中学校を同じ建物にする。
- 今までの環境、文化を優先すべき
- 両校の規模の均衡を図る。

問10：少子化による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化への対応方針を検討するため、庄内町学校適正規模・適正配置審議会を設置しています。検討するうえで、特に配慮する必要があることは何だと思えますか。以下の欄に自由にご記入ください。

第一学区	<ul style="list-style-type: none"> ● わからない。 ● 児童・生徒の学びの場である事を念頭に入れて改修なり、学校数を考えてもらいたい。 ● 子供が今後減っていく、となれば学校の数を減らしてもいいとは思いましたが、それもそう簡単な話ではないですね。タイミングでは、学区が途中で変わってしまう子供たちがでてきてしまいますよね。今でさえ、私は第一学区ですが、小学校までは歩いて30分はかかりそうです。（冬の間はバスが出ると聞きました。）交通の安全面でも、バス通学になるのかなあとか。しかし。まずは予算ですね。学校を整備するのにそれだけのお金がかかる…。でも、子供たちの学びはぜひ快適な環境であってほしいと願います。長々とまとまりのない文章ですみません…。 ● 居住地から学校まで遠い地区から通学する生徒児童の時間的な負担を少なくできる様な検討を希望します。 ● 1学校の統合はやむを得ない 2廃校を残さない。地域で利用希望であるが、少子高齢化が進み結局使わないし負担になる可能性大 ● 子育てしている人達の意見やこれから親になる若い人達の意見。これから学校に関わると思うので。 ● 小学校、第1～第4統合、中学校2校統合。と分けて考えるから難しくなるのです。問9までもいろいろ書いてしまいましたので同記事は書きませんが、そのままの事をずっとしないで下さい。今までのものまねでは変化しません。特に子供達の学舎この場を変化させないと…子供達を信じ町民のパワーを信じてうまくいく様願います。※子供の為なら町民の人達協力O.K.です。おもいっきりが大事です。がんばって下さい。団塊世代の私より。 ● 統廃合を考える場合、既存の立地場所を基準とするのではなく、双方にとってバランスのとれた場所に建設するなどが必要と考えます。 ● 特に配慮はわかりませんが、小中学校は1つずつで良いと思います。例えば余目中学校に立川中学校を合併して1つにし、空いた立川中学校と隣接の立川小学校を1つの庄内小学校にすれば良いのではないかと。施設が多ければ費用も嵩むので、集中的に投資した方が良い。各方面のスクールバス等に少々費用がかかりますが。 ● 児童生徒一人一人に目が行き届くような安全な施設であってほしいと思います。 ● ・子どもがリラックスして学べるような居心地の良さを大切に環境作り。・一人ひとりを大切に個性を認め合いながらしっかり自分の意見をいえる場であってほしい。・コロナに対応できる設備 ● 人数だけを考えた学校づくりではなく、地域とのつながりを大切に学校づくりをお願いします。 ● 通学手段 ● 時代の変化と向き合って。各地域に存在することの価値から考えを改めなくてはならないと思っています。子ども達にとってのよい学習環境（ハード面→建物や施設内容と子どもどうしのつながり、教員の人員体制等の面）を整えてあげたい。 ● 子ども達が6年間3年間毎日通いたくなるような楽しく学べるような環境をつくること。 ● ・人口減少対策の検証…実際は希望となっていないか？・人口減に伴う住民の負担増 ● ・web3.0の発展による「VR」を用いた教育が今後増えていくと思うので、校舎自体はそんなに大きくなくても良いと思う&学習の質を高めた教育が必要だと思う。（小中一貫化）・消滅可能性が高い町なので、メンテナンスコストの低い建物への建て替えが望ましいのではないかと。→必ずしも元の場所に建てなくても良いと思う&町づくりコンパクトシティ化の一環として場所を選ぶことも1つの案だと思います。（ex:高速のIC近く、駅の近くなど） ● お金の問題重点。何をやるにもお金あっての事。われわれの年金で暮らす世代は今年から減らされ、どういうふうにかかわれるでしょうか。 ● 建設し改修は長期スパンで計画されます。R47年の人口を考慮すると小・中1校で良いと思います。子供のころ切磋琢磨できる場を経験したほうが社会に出たときに良い。また教師の能力も多様化しているので大きな学校の方が良い先生を集めやすい。
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちのまなびの環境を一番に考えて欲しい。少子化・高齢化が進み地域の学校という役割、考え方は古いのではないか？地域のよりどころになるべきはまちづくりセンターで担い、学校は時代に遅れない設備等優先して将来ある子供たちに学びの場としてほしい。 ● 子供たちがいじめない学校づくり。子供が学校に行きたいと思う環境と作ってもらいたい。子供たちの個性をつぶさないように。 ● 子ども第一に考える。 ● 体力不足の児童増（コロナにより） 楽しく快適にでも厳しく本気で取り組めるように大人たちの対応がカギかと。叱られてないため打たれ弱い。子供たちが自発的に動けるように。丁寧かつ気合が大切かと思えます。 ● 少子化、少母化、人口減少の問題は全日本的なことです。まず出生率を高める方策を具体的に検討したい。良い成果を題している自治体もあると思います。学費、給食無料化、医療費無料化、保育園の充実などいろいろあると思います。施設等を含めてご検討お願いします。 ● 現在は旧余目町と旧立川町単位での統合となっているが、今後は越境での統合も考慮し、学校を減らすべきである。 ● 情報開示、決定事項のみでなくなぜそうなったかまで。未来を担う子供たちが楽しく学べる場を作って欲しい。教科書を学ぶのではなく、教科書から学びを広げて欲しい。 ● 小学校に関しては、立川地区では合併してすぐに統合を行ったため今現在は統合の必要はないと思うが、余目地区では統合の必要が近い将来あると思う。その際使われなくなった校舎等をただ取り壊すだけでなく、何らかの形で残して地域住民の交流の場とか、活用していくべきだと思う。中学校についても、今すぐではないがいずれ統合の必要性は出てくると思う。県内の同じ人口規模の市町村は中学校が一枚になっていたり、酒田市でも合併前の地域を超えて中学校が統合されたりしているので検討の必要性はあると思う。 ● 地域住民（特に高齢者）密着した子育て、朝の登校時の見守り隊等は高齢者が集まっての見守り。高齢者の集いの場にもなるのではないかと。 ● 学校数を減らして改修することとしましたが、例えば余目地域と立川地域のそれぞれの地域のことを学ぶためにはそれぞれに中学校を残した方がよいのでしょうかね。小中時代の子育てから離れると関心がなくなり参考になる意見を出せずすみません。 ● バランスを考える。防災時の避難場所も考えると町内全域偏りのない配置と地形にあった建物にしてほしい。 ● 地域の事情（感情）もあると思うが、本質は子どもの教育環境の向上。この点から適正規模適正配置を考えるべき。 ● ・町の特産品を全国に発信、販売する事で収益の一部を対応費に回す事・クラウドファンディングの展開 ● 特に小学校については、各地区にまちづくりセンターがあり地域行事等に参加しやすい環境になっています。社会や地域とのつながりの面からも、できるだけ統合しなくてもすむように改修の経費を少しでも軽減できるよう配慮して頂きたいと思えます。 ● 合併する事に賛同できない考えの方も多々いるのかと思いますが、少子化によりクラスの人数がどんどん減ったり、または年度によって大きく人数に差がでたりと、今後はさまざまな状況が見られてくると思います。少人数でゆったりと過ごせる学校もそれはそれである意味魅力的な所はありますが、あまり少人数過ぎても、交友関係や多数だからこそその経験や学びができないのではないかと思います。学習能力やスポ少、部活共、多くの面で酒田市、鶴岡市、それ以上に山形市の方が成績が良いというのも、何かそういう部分も含まれているのではないかと思いますね。我が子が在学の頃、何が一番大変だったかと考えると、スポ少や部活の送迎です。ウチは比較的近場だったにも関わらず面倒だと思う事ありましたので、やはり自宅と学校との距離は、バス通だからという事だけでは解消しきれない気がします。
第二学区	<ul style="list-style-type: none"> ● ・廃校とした場合の校舎の使い方や土地についてできるだけ、そのままにはしてもらいたくないです。・通学手段の多様性も視野に入れ、学区を見直していただければと思います。 ● 私には今のところ孫もおりません。ですから学校には行ったか覚えてないくらいです。思うことは子供たちはいつか大人になりますが、大切なこと、覚えておいてほしいことなどシッカリ考えられるようになってほしいし、地域や家族や友人との関わりも大切に思う人になってほしい。子供達は宝物です。大人がちゃんとしなくては…難しい問題です。金もかかるので ● 通学時間が長い場合はバスでの通学

- 少子化に伴い学校の統合はやむをえないと思いますが、生徒ひとりひとりの通学手段の確保をしっかりと考えて頂きたいです。
- 児童・生徒の安全のためには施設の改修は仕方ないと思うが、今の子供たちに借金だけを残さないように。大変かもしれませんが、バランスをとってやっていてもらいたい。
- ・中学校を1つに！（余目中、立川中を統合）・小学校は一小、二小、三小を1つに！四小、立川小を1つに！ということで学校を減らすことが良い。（町内に中学校が1つ、小学校が2つ）
- 児童や生徒にも話を聞いてみたら良いと思います。保育園や幼稚園に通う子がいる家庭なども。
- ・これからの人達に意見を聞いた方がいい。・旧余目、旧立川と色々大変だと思いますが、少子化になるので、合併などなど小学校2校とか中学校1校にするとか費用がかからないようにしてほしい。
- 少子化対策の具体例は兵庫県明石市の方針を見習うべき。
- 災害時の対応（避難経路）ゲリラ豪雨の時の雨宿りポイント。
- あまり多くの人数だと子供に目が届かなくて落ちこぼれが多くなると困る。
- 学区の見直し、小学2校、中学1校でもいいのではないかな。
- 個人的見解ではあるが、問9-1、2で回答したように見映え及び法律的に問題がある場所は改修すべきかと思います。施設ではなく、教材や設備に投資したほうが余裕ができた分はより良い教育環境という点では良いのではないのでしょうか。
- 生徒数減少、人口減少のことと、学校建設後約50年位は建て替えをしないことを踏まえれば小中学校共1校にすることが必要であると思う。
- 近くに学校があるのは便利ですが、バスでの送迎をすることで今までより学校の数を少なくするのが望ましいと思います。
- 学区割：町内会の見直し。あきらかに近くに小学校があるのに学区割のため遠い小学校へ通学している。学校を減らしてもよい。・町内会の規模にも差がある。行事などは人数が少ない町内会は不利。
- 財政のことも考えながら施設をどうすべきか検討していくとのことですが、そもそも優先順位を間違えたことが問題になっているのではないのでしょうか。体育施設をいくつも新設した一方で学校は耐震面での改修など必要最低限のものにおさえているように感じます。将来の町を支える子供たちがより良い学習環境のもとで生活できているのでしょうか。三川町とは雲泥の差だと思います。（校舎、子育て環境、自校給食など）。計画的にできなかった町の将来像を明確にもてなかつた事がここにきて露呈したといっても過言ではありません。今後、多様な意見を吟味し。町の宝である子供たちのために決断していただきたいと切に願っています。
- 不平等が無いように。
- 学校統合は仕方ない。地域としては残念なことだが、学校数を減らし、耐震、設備充実な学校建替が妥当ではないか。地域の声、保護者の声を聞くのは大切なことだが、すべてを叶えることは不可能なので、他市町村の事例も参考にしながら規模に見合う学校施設を作って貰いたい。当然将来的にも学校施設としてだけでなく、災害時の避難施設として役立つ建物であってほしい。町の税金であることを忘れず審議して欲しい。
- 生徒数減少にて学校数を検討すべき。
- 庄内町の中央に建った場合、過疎地に建つ、どちらかに寄せると多くなる。難しい問題です。通学時間を長くすると子供たちの時間が減る。かんたんには決まらない問題ですね。
- 学校の統合は仕方ないと思う。少人数教育より大人数での教育の方が多様化の時代を生き抜くために必要な経験が多くできると思う。ただ、統合となると通学の問題が地域によって出てくるので、スクールバスの充実は不可欠。中学校の部活も保護者の送迎負担が大きくなるように便数を増やすことも必要となってくるのではないかな。新校舎となる場合には災害時避難などを考えると広い方が良いと思う。
- 数字に表れにくい部分を丁寧に、頑張ってください。
- 1組あたりの人数で考えた方が良いと思います。先生が目にくばれて教室の空間も余裕がある人数で小中学時代を過ごせるのはとても良いと思います。
- 今回のアンケートの結果をもとに、より具体的な学校統合の方向性を示していただき、具体

	<p>案について検討できればよいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子供が住みなれた地域で、生き生きと過ごし、学び合い交流を深め心豊かにたくましくひろく見つめる庄内子供（人）←（自分が小学生の時に第1学区~第四学区の子供像・当時は余目の子ども）互いに成長できるなら、規模や配置に集中しなくてもよいと思う。最終手段にとらえてしまう。（適正規模という表現に対して） ● 男子、女子トイレと分けるのは基本ですが、男子トイレを全て洋式にしてほしいです。年齢が低いと大きい方の個室を使っているだけでちゃかさされたり、いじめられたりしました。（我が子の時）全て洋式になれば学校内での排便の不安が消え勉強にも集中できるのではないのでしょうか。 ● ・一学年一クラスという、子供たちにとっても刺激のない体制は避ける対応が欲しい。・一校の中で部活動の編成が出来ないとか、少人数ということで部活動内容に制限が出るという対応は避けたい。・結論を急がず時間はかかっても、地域の声を大事に、と思うのですが、地域の声を保護者にのみ求めるのではなく、中学・高校などにも求めることを考えても、と思います。・学校教育に求めるものは、大きく変わらないと思いますが”地域”の核という小学校と公民館という、今日までの姿を、今般、どう描き直すのか、立川3地区、余目4地区という今の姿は、大きく変えないという行政のメッセージも必要と思います。・今後の整備のあり方によって、必要となる財政に大小が出るのは当然であって、その事を前面に出した検討はすべきでは無いと思います。子供たちに提供する学習、体験、交流の中身をどうしたいという大人の気持ちが検討課題なのではないのでしょうか。 ● 自分が通っていた学校が統合されてしまうのでは？と思うとなんとも言えない気持ちですが、資料を見るとそんなことばかり言われていられない現状だということがわかりました。小・中だけでなく高校などでも生徒数などの減少により、活動できない部活動などもあるようなので、統合したからこそ、今までになかった「メリット」を感じられれば、この町で暮らし続けていきたい方が増えるのでは？と思います。働きに出ると、子育て世代の方でなければ学校へ行く機会がないので、防犯上など様々な問題はあるとは思いますが、その他の世代にも、建物を活用できるようになったらいいのでは？と思います。
第三学区	<ul style="list-style-type: none"> ● ・出来れば小学校も一学区にする。・バス通学を考える。小学校も中学校も。 ● （庄内町としての答ありきのアンケートに思える）少子化については全国的な傾向なので他の県の対応も参考にしたら良い事例もでてくるのでは？ ● 子供達個人にも学校への考え方があると思うので、学校までの距離が長い、又は学校に行きたくない等あった場合、リモートでの学習でも良しとされれば、子供達の精神的なストレスも減ると思う。宿題等も紙でなくデータにすれば今の時代は楽だと思う。テストは必ず学校で受けるようにすればカンニングの防止になります。プリント系は資源削減にもつながりますし、教員の負担も減ります。なので、PC、データ環境を強化していくのは必要だと思います。 ● ①子供の気持ちを知ること。→相談しやすい環境作りや自分の気持ち、悩み等誰にも言い出せない子や一人でがまんしている子達によりそえるような環境が必要ではないか。②少子化により学校を減らす考えもわかるが、子供達の登校距離数や金の面でどう考えているのか全くわからない。③子供達の学びの場だけでなく、体や目、耳、全てで感じ取ることができる体験等への重点を考える。 ● 小学校については、余目第一小学校と第二小学校、第三小学校を統合して、響ホール周辺に新設し、第四小学校と立川小学校を統合して立川小学校を整備するなどして2校に統廃合してはいかがでしょうか。また、中学校については、現状の2校とし、第四学区を立川中学校に通わせてはいかがでしょうか。町の財政状況や子供の数などを考慮して。 ● ・子供達の安心安全、楽しく学べる環境の維持に副担任制はどうでしょうか。・子供達のがんばり、達成感を認めてあげる為の発表の場や学校行事が行える広さ。・父兄が集まる時の駐車場。 ● 酒田市でも1中と5中が数年前、少子化の理由で合併したように、生徒数減少により、そういった決断も必要な時期が来ると思います。私の子どもが3小に交流させてもらった時は、（障がいがあるので、養護学校に行きました。）かなり前の話ではございますが、男子トイレも障がい者用トイレも新しくしたばかりで、全建て替えだと、せっかくトイレも新しく立て派で、もし一旦壊すとしたらもったいないなあと思いました。1小と2小の合併とか、1小と3小の合併とかで、どこか学校が空くとしたら、我ら障がい者の親子はコロナ禍もあり、ますます集まったり、過ごしたりする場所がありません。酒田鶴岡と遠距離通園、通学ばかりして町の公共施設をどうどうとゆったりと安心して使えた日は、今までなかったかもしれません。いつか子どもとどうどうと、自分たちも町民だ!と胸をはって!遊びにいけるフリースペ

ースみたいなところができたら、一緒に遊びに行くのが私の生きているうちの夢です。少子化は生活苦で今後はますます問題になるかもしれませんが、世の中時代が悪い。としか思いようがありません。

- 学区の見直し、学校数を減らしてスクールバスでカバーする。
- 子供がいないのでこのアンケートの内容には返答できません。子供が出来ない家庭があると思うのですがその辺の配慮にかけている質問ではないですか？
- 行政教育委員会の見通しの甘さによりこのような状況となっている事をまずは反省する事。そして、教育行政の改革!教育委員会?必要?アンケートなどらずに自分たちでしっかり考えてください。住民のせいにはせず、責任をとれるよう望みます。・生徒の安全・健常者、障がい者が共に学べる場・予算の問題は大変だと思うが、余計なものに予算を使わず(庄内町全体)学校建設を優先してほしい。
- 学校施設に求められる役割として教育の場であることより、防災的機能もあるため、最低限のラインは守らなければならないと考えられる。その上で少子化であるため、これまでのように目的で使われていたであろう部分は見直す必要はある。純粹に2部屋あったものが人口減により1つで足りるという部分は、「2つに使うことも、また、それ以外にも使うことができる」という機能を考えるのはどうだろうか。子ども用だけでなく、大人も使う機能を足すことでより多くの機会、活用できるなら有益であるとする。地域の公民館などの場を、費用をかけて作っても結果使いこなせていないと感じている。若い方の考えやアイデアを含めて多くの人が活用でき、共有できる場となればと思う。また、そのような意見が出来る機会があればより良いと考えている。
- 学校数はそのまま。減少すると距離が長くなる地域もあり、送迎など保護者の負担も増えそうです。学校施設の充実や、学校生活の充実が進学等で県外、地域に住むことがあっても町に将来就職等で戻って来たいと思えるような町内の学校で学び、生活できたらいいと思うので、設備投資は将来への投資でもあると思う。進学で県外に進む人ほど県内(町内)に就職で戻る率は少ないように思う。
- ・生徒の通学時間・学校ごとによって施設の新しい、古いによる教育格差が生まれないようにすること。・無理に全て改修や建替えを行わず生徒数や今後の人口推移をもとに場合によっては合併など柔軟に対応すること。・様々な角度の意見があった方がいいので審議会の人はいろんな年代、職業、性別の方で構成したほうが良い。
- 家から通ううえで、親も子どももストレスや負担のかからないように建替えや建物を減らすにしろ、タイミングやかわりとなる場所の確保をしっかりとしてほしい。
- 小中学校は児童生徒のためのものだという事は第一ですが、異常気象が増える近年、地域の防災拠点でもあると思います。何らかの災害が発生した場合にその地区の住民を受け入れられる体制づくり、避難場所としての役割を果たせる施設づくりをお願いしたい。
- できれば余目地区、立川地区にそれぞれ1校ずつ(小・中)はあるといいかなと思います。立川地区の人数はおのずと少なくなり経営面の難しさもおもいますが、何らかの生きづらさを抱えやすい現代の子供たちにとって住居地域に関係なく比較的多めの余目地区、少人数の立川地区、自分が行きたい規模の学校を選べるようにしてほしいと思います。教育面から見たメリット、デメリットと子供本人が生きやすい環境を見極めて選べるシステムの庄内町の教育環境を望みます。
- 通学手段(スクールバスなど)
- 児童・生徒数が減少するので学校が合併することになるとと思いますが、子供達が通学しやすい安全な場所に建設してもらいたいです。
- 今後の庄内町の人口減少や少子化を見すえて考慮して頂きたいと思います。
- なるべく学校数を減らさないでほしい。移動距離が極端に長くなってしまいう子どももいるだろうし、休日の子どもの居場所にもなっているため。また、幼稚園との交流もあると思うため、小学校と幼稚園も近い方がいいかと思う。交流ももちろんですが、小学生の姿に憧れて1つのことを頑張ろうとしたり、意欲がでたりとよい刺激があるからです。近年配慮が必要な子どもが増えてきているので、その子どもたちも過ごしやすい環境づくりや先生の人員配置ができるといいのかなと思います。
- 若い人が地元に残れる体制作り 1 職場作り 2 婚活をもっと進める(他地域から集める) 3 子供が育める環境作り(町の支援等含む)
- スクールバスの完全配備
- ・親が生活しやすい環境を・医者(小児科)が少ない。スーパーはあるが徒歩圏内ではない。

- 小中学校の統廃合については、地方自治体の2元体制で決まるものだと思う。最終的には、行政と議会が決めるものであると思う。また、表題にある第2期庄内町まち・ひと・しごと創世総合戦略・人口ビジョンでの人口の将来展望の表を見たときは愕然とした思いがある。また、資料の元データであるRESASは、あくまでも過去のデータを踏まえた結果であり、庄内町としてはなんとかよく理解できる。私は、個人的な意見としては、現時点の学区体制は賛成であるし、できれば、清川地区と立谷沢地区にそれぞれに小学校がほしいと思っている。昭和の合併により立谷沢村・清川村・狩川町の合併により立川町に、余目町・大和村・十六合村・栄村・常万村・八重栄村が合併し余目町になった経過がある。当時の、各町村に中学校や小学校があったのではないかと推測される。また、当時の交通の便を考えると当然のことだと思うし、児童数・生徒数を考えるといくつもの小・中学校があったのではないかと推測される。小中学校の統廃合については、児童・生徒数の減少と建物の老朽化に伴うことが一つの要因でアンケートが当方に来たと思う。私自身は、統廃合には反対で、十年の計画で建て替えすべきであると思う。必要な財源は、庄内町の住民が50年間(法定対応年数)で返済していく覚悟が必要ではないかと考える。また、今の児童・生徒が働くようになって住民税やふるさと納税(現時点での制度)として、返済していく覚悟ができるかである。【学校の重要性】学校は確かに児童・生徒の学びの場である。これが一番である。但し、そこに住んでいるひとの文化と憩い共有資産である。私の、小学校は、50数年前に廃校になっている。その原因は、児童数の減少に伴い経済的合理性に基づくもので5つの小学校が統合した。小学校が廃校になった途端地域の活力が失われたと感じる。小学校時代には、校舎内に集会室があり地域の人たちが集まっていた。何を話していたのかは、不明であるが、後日父から聞くと田の基盤整備が行われていた。基盤整備に伴い誰の所有にするか大夫もめていたようである。【地域の重要性】たまたま、当地域は災害が少ないと思われる。万一、災害があった場合は、近くのまちづくり支援センターへ避難すればいいと思うかもしれない。例えば、酒田大火が庄内町で起こらないという保証はない。酒田大火は、1976年(昭和51年)10月29日17時40分頃、酒田市中町2丁目にあった映画館「グリーンハウス」のボイラー室から出火。すぐに観客20名は避難したが当日の酒田市は風が強く、またたく間に隣接していた木造ビルや木造家屋に燃え広がった。火災は西よりの強風によって更に範囲が拡大していく。また、その強風により大量の飛び火や火の粉が発生し、消火活動が思うように進まなかった。日付が変わった30日の午前3時には火勢は新井田川まで迫ったものの、対岸からの直上放水実施や降雨の影響で延焼を食い止めることが出来たため、午前5時に鎮火した。消火活動の際、住宅5棟が破壊された。『ウィキペディア(Wikipedia)参照』である。庄内町中心部で火災が発生した際に、強風により延焼があった場合はどうなのか。一つの避難場所でもいいのか疑問である。私が住んでいるところは、4月から5月にかけて東風が非常に強いし、日数も多い。12月から2月にかけては西風が多い。万一、そのときに火災が発生した場合は、延焼はどうだろうか。当時の建物に比べれば延焼は比較的风险は少なくなっているかもしれないが、可能性がゼロではないと思う。そのときに避難場所の一つとしてまちづくり支援センターがあると思うが、そこに避難者が全員入れるとは思われない。最近、車で避難生活をする方多いと思うが、やはりそのことを考えなければならない。【児童・生徒数の増加策】児童・生徒数の増加策として考えられるのは、移住の促進と思う。立谷沢地区や清川地区に空き家が多い。そこに、移住者を好条件で住んでもらえるためのPR活動をするべきではないか。課題として考えられるのは、地域住民の融合である。移住者が、昔ながらの風習などを理解してもらえるかなどの課題はあるものの課題を解決してほしい。尚、令和3年に若者定住促進住宅を南野周辺に使ったようだがその効果が分からないし、目標との差異はどのようなものであったか、議会を通じて議論してほしい。その他、庄内町には、同様の住宅が数多くあるし、立川地区にも昔町営住宅があったと記憶している。現在は、どのようになっているか、また、町営アパートや県営アパートもあるようなので、その方々の意見等を聞いてほしい。そのほか、庄内町には、多くの貸家があるようなのでその方々の意見も聞いてほしい。【親としての教育指導者の役割】本来、中学校3学年までは義務教育である。本来は、保護者が自分の子供を教育する義務があるのではないかとと思う。明治期や大正期は、小学校卒業すると自分の長男であれば自分の家業に就いていたのではないかと推測される。次男や長女などは他家へ修行にいった嫁や婿入りをしたと思う。そのほかには、都市部で働き口を探して働き、職場内での結婚などもあったと思う。現在は、生まない権利などという人もいるらしいが、生物の本来宿命は「種の保存」ではないかと私は考える。親が、子供に対して「種の保存」を教えなければならないのではないかと。私自身は、農家の長男として生まれ両親より育ててもらい東京の大学まで行かせてもらった。その時、両親より言われたことは、家に残り妻をめぐって一緒に暮らしてほしいし、農業を手伝ってほしい希望があった。現在、結婚はしたものの、両親とは同居していない。選んだ妻が悪かったのか、私自身弱かったのか最近考える。最近、年老いた両親の顔を見ると一層感じることもある。論語と算盤は、親がきちんと教えていく必要があると思う。【地域活動の場の提供】・結婚と書いていて思い出すのは、昔は青年団との活動組織があった。現在は、なくなったものと思う。まちづくり支援センタ

	<p>一や、学校を貸しだし、地域活動の場を行政や民間の何らかの人たちが提供してほしい。【目標と差異分析】・庄内町子育て応援日本一の町づくり宣言、庄内町の子供像があるが実際にできていることできていないことなど毎年行っているか私たち一般住民は分からない。覚えようとしなければいけない。9月の定例議会において前年決算を可決承認(この言葉でいいのかわからない)されているが、予算で事業効果目標があったはずである。決算では、その効果目標との差異をきっちり住民に説明してほしい。【交際の自由化】・小中学生の恋愛感情が芽生えるときである。今、学校ではデートはいけないことと教えているらしいというが、管理教育が横行している。私たち中学生の頃は、男女間で交換日記をつけて交換していたような話を聞いたことがある。残念ながら、私は、していない。羨ましかった。学校内で不純異性行為はいけないと思うが、人間としての最低限覚える男女間恋愛感情を応援してほしい。そうしないと、現在問題になっているSNSとかで、出会っているような事件がよく報道される。そうしないためにも、その時々人間としての恋愛を進めていってほしい。勝手気ままに自由意見を記入しましたが、10年や20年後の庄内町があるべき姿を考えて議論してほしい。</p>
<p>第四学区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子化の中でも多少の競争意識が保てる規模、又は多くの友達の中で授業が出来る範囲での学校規模が望ましいのではないかと。 ● 安全性と財政面 ● 審議会のみなさまごころう様です。30年後、40年後に関してはアンケート調査票を参考に進めることは良いと思います。ただ、その後の人口減少等も含めて他の課(庄内町)と一緒に進んではどうでしょうか。 ● 子育て世代が住みやすく、のびのびと子育てできるように、庄内町がどの位補助できるかわかりやすく提示し、実行できるかどうか。 ● ・通学時間が皆平均的になるように。・小学校の数も減らしても良いのでは。・町民の税金が増えるの？ムダのない予算で検討お願いしたい。 ● ・通学方法の支援 スクールバス、町で運営するバスの併用。生徒の生活状況に応じた通学方法の検討・町の財政を圧迫する原因にもなる。税金支払う町民が減少し、子どもに借金を残すことになると思う。20年後30年後を見通した審議会であってほしいと思う。 ● 子供の数も減少する中、小学校は5校も必要ないと思います。学校の数を減少しちがう所にお金をかけてほしいです。子供達が安全に安心して遊べる場所など。 ● 役場は二棟建てたて直したわけです。子どもたちにもよい環境を。ただし、無駄に大きくする必要はないと考えるので建物自体の大きさを法令に反しない範囲で適正なものにしていくことは必要と考えます。 ● 町民の命を守る役割。第一に考えるべき。災害時避難施設。 ● ・イジメ等がない学校生活・フリースクールの様な教室を準備してほしい・子供たちの逃げ場を作してほしい。 ● 少子化が進んでいくと考えられる将来のことを思うと今ある学校(各小学校)に多額のお金を使って改修するのはいかがなものかと思えます。庄内町に小学校・中学校を1つとし、多くの生徒で学びやすスポーツなどを通じて交流をもってもらいたいと思えます。 ● 災害時の避難施設としての役割が大きいと思うので、できれば各地域の学校を残していただけるといいなと思えます。 ● 現在通学されている児童、保護者の意見を取り入れて欲しい。実際にしようしている方たちの方が老朽化に対して色々気づいていると思う。広く浅く改修するのではなく、重点的に改修した方が長期的に見て安全だと思う。 ● 予算の見直し、予算がどのように使われているのかわからん。 ● 災害に強い施設、耐震に強い施設、子供たちが過ごしやすい学校環境 ● 安全安心に学校生活が送れるように耐震構造がされて、冷暖房完備の校舎が理想的ですね。少子化によりすべての校舎が必要では無いでしょうか。そこを高齢者施設に活用したりすることも一つかと思えます、そちらは絶対数不足しています。 ● 地元の同意 ● 庄内町は財政赤字であり、その借金返済は現小中学生にも残っていくと思えます。庄内町に住みたい、庄内町が好きと県外に出た子供たちががUターンしてもっと庄内町を良くしていきたい発展させていきたいと思えるよう学校を統合し多人数でいろんな子供たちと接していき広い視野をもつていただけたらいいと思えます。 ● 建物は最小限にする。若い世代が安心して子供を産み育てられるまちづくり。財源をどうす

	<p>るかの議論を深めて欲しい。庄内町の枠にとらわれず、中高一貫校への入校もある。広く深く学べる環境が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 命に係わるような安全性を重視すること。 ● 合併するとしたら通学時間が長時間になるのでは？ ● ・通学時間、距離・適正な学校の集約化 ● とにかく、子どもの減少により簡単に学校数を減らして・・・となっている。そういう傾向にあるのが大変残念。学級数も2クラスではなく1クラスになって、それがあたりまえになっているが、少ない人数の方が教師との1対1の手厚い指導を受けることができたり、今の時代、知的にも情緒的にもグリーゾーンでいる子がほとんどである為、教師の数が少なくなる方が心配。30人40人の1クラスより、15人の1クラスの方がゆったりと、そしてじっくり学習もでき、より教師と近いかかわりの中で学力も上がっていくと感じます。子どもの数が少ないから・・・と、どうして、そう簡単に学校、学級を減らすのですか？学校側の声は聞いていますか？私も子どもがいますが、クラスの本当の実態を教育委員会は知っているのでしょうか？何が子どもたちに1番いい環境か・・・お金のことより子どもたちのことを1番に考えてほしいです。それから、狩川幼稚園と保育園が民間委託されていることを知りました。このように、余目地区の幼稚園もどんどん民営化されていくのでしょうか。またお金でしょうか？公立幼稚園は我が子も、そして、親である自分も思い出のあるあたたかな園でした。絶対にもう無くさないで下さい！！
狩川地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 庄内町として、余目、狩川の区別なく本当に必要なものを第一に考えることを望む。町には金がないのだから、とにかく使い過ぎないように!! ● 学校はそのままつかいましょう。 ● 以前の学校統廃合では地域間で摩擦が生じ、ひいては学校が荒れたような事例も聞いていますが、現在の人口問題等の情勢からみて、大切にすべきは児童生徒が学びや人間関係を育む上で適正人数での集団教育が行われることではないかと考えます。人数が少ないことで友達を選べない、部活動など希望する活動ができない等の問題を解決することを優先すべきではないと思います。 ● 庄内町の合併による産業、地域施設が集中している。(余目地区へ)集中社会から→教育の施設も含め分散型社会へ転換する事を検討してほしい。(老朽化も含めた考え方とするとするなら→比較的新しい物を有効に使う事(ムダなお金を使わない)) ● ・子どもの要望。・親の要望。・昔の良さを残しつつ現代の事情を組み入れる。・将来を見据える。 ● 少子化による子どもたちの人口減少はさげられないと考えています。お疲れ様です。 ● 学校数を減らすとしても、余目と立川と合併しようとするのは負担が大きいので、絶対に止めてほしい。立川の人達の災害時避難場所はどうなるのか？の問題もある。 ● 余目1・2・3小学校区、余目4小・立川小学校区を合併し、少なすぎない人数で生徒が楽しく学べる環境をつくるのが一番かと思います。 ● 今、子育てをしているお父さん、お母さんの意見は大切かと思います。 ● 狩川地区の子ども達の数はいくつか少ないですが、余目に通うのは反対です。立川小学校と立川中学校はぜひ存続してもらいたい。合併してから過疎化が進んでいるように感じます。 ● 学校数が減ることは致し方ないことだと思いますが、通える範囲の学校をどのようにしていぎするか、地域の理解が得られるような検討をおねがいします。 ● 不用な意見に対して配慮しないこと。・運用などにかんして過去事例がないなどとして切り捨てることなく柔軟に思考すること。 ● 学校数を減らす場合、新たに設立する場所には特に配慮が必要だと思います。私たちの年齢の価値観で審議を進めないことだと思います。これからグローバルな社会でいきていける多様性の受け入れができるような人間力を身に付けていける場になるようにご検討をお願いします。 ● 旧余目、旧立川地区に分けて配置してほしい。全てを余目に集中させるのは清川や立谷沢の負担が大きくなる。また災害があった際の避難場所としても役割があるので、安全かつ町民が早く避難できるようなところに建てて欲しいのと、ある程度の高さが欲しい。 ● 山形県庄内町は自然豊かですが、これまでもそしてこれからも自然を生かし、なおかつ時代にも乗り遅れず安全でのびのびとした活動ができるようにしてほしい。様々な面で環境はかわってきますが、ここでしかできない経験を沢山できるような学校であってほしい。余目地

	<p>区と立川地区での統合がある場合は通学に係る時間や移動手段が問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校を減らすのは通学時間や天候等も考えると現在数を減らすのは不可能と考えます。中学校は1つにしてどの場所に建築するかにもよります。瀬場地域から余目中学まで通学するのはスクールバスにしる不可能と思われます。 ● 余目-立川間で極端な差を作らないこと。(設備等)どこで生まれるかは誰にも決められない。またそれによる格差があったとしてそれを埋める為の行動を簡単にとれるわけがないから。 ● 現在の保護者に加え、将来子供が使用する20代の意見も重視してほしい。地域での活用も重要だが、基本は子供たちの学びの場である。町の広報などで審議会の内容を報告してほしい。ネット等でも。 ● 学区の見直し、小中同一施設利用 ● 学校施設の老朽化への対応を検討する以前に、若い人達の町内の職場をもっと増やして、おのずと結婚、出産と増加すると思うので、若い人達の住み良い町内にしてほしい。少子化解消となれたらいいです。 ● 問9-2のとおり1町に1小1中で良いと思います。反対はあってもやるべき世の中です。思い切って5年計画で1校化へ。 ● 令和10年の予想生徒数をみると小学校の数を減らしての改築改修も有りだと思われます。しかし中学校は、生徒の通学時間を考え、このまま2校で、または、小学校と一緒に学習し、1校減らす方法も財源を考えると良いのかと思います。 ● 前述した事と矛盾するかも知れないが、少子化が進み子供の数が将来必ず減少するのが前提で質問を投げかけており、少子化の対策が何も講じられていない。それは別の管轄なのであろうと思われるが。それでは将来の展望が開けない。もっと、子供が、人口がどうすれば増えるのかを議論してほしい。 ● ・改修費が多くなることで、他への予算がけずられることのないようにしてほしい。・将来の子どもたちの負担になるような費用の使い方はしないでほしい。 ● 今後の建て替えや改修に際し、ご配慮いただきたいです。(1)教育の質の維持・向上のための整備…地域内だけでは学べない質の高い教育ができるオンライン学習環境をしっかりと整備すること。(2)学習参加体制自由化への対応…事情があつて学校に来られない子どもも平等に教育を受けられるよう授業は教室とオンラインのデュアル形式で行うなどの工夫と環境を整備すること。(1人1台モニター、カメラの整備など)。(3)非常時電源の確保…昨今、様々な機器を導入しているため、停電時でも対応できる非常用電源の確保。避難所としても機能するため、十分な容量の確保を検討いただきたい。
清川地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの通学時間や通学方法について ● ・統合する際の通学時間を考えた交通機関等整備⇒町営バス、スクールバスの統合も含めたコストに合った体制にする。・防災拠点としての設備補強、学校施設としての機能拡充はセットで計画してほしいと願います。バラバラではコストがかかるので。 ● 【規模】・通学困難(時間がかかりすぎる。道が危険。朝・夕に親が家に居ない家庭)な人もいるため、単純に「人数:学校数」の比例だけで決めるのは適切ではないと思います。9-1記載などの可能性も加味して学校数を段階的に決めるべき。(“学びの場=学校のみ”ではなく“=学校&他機関と学校連携”でもいいのでは?)・教員不足、教員マンパワーの限界もある中、学校数だけ増やされても予算がもったいない為、まずは人材確保できる見通しがついてから増やしてほしい。【場所配置】グラウンドや体育館設営を予算かけてするより、現在ある施設(スポーツセンターなど)の近くに設けて、授業等もその施設を利用できる様な工夫をしてもいいのかと思う。(体育会場に限らず、音楽、美術教室等も応用できるのでは?) ● 子どもを育てるにはお金がかかります。世の中便利の良い世の中ではありますが、その分お金が必要です。今の若い人達は余裕がないので、子どもが欲しくても考えてしまうのです。年金も国民年金なんか暮らせる訳がありません。景気が良くなる訳がありません。弱者が最低限暮らす事ができる年金制度がない限り、子どももふえる事はないし景気も絶対良くなりません。 ● これからもっと少子化になると思うので庄内町の小・中学校は立川と余目地区2校として老朽化に対しては、リフォームなどして対策してください。 ● 小中共今までの学区を再編したうえで新築、改築 ● 余目立川と統合するのはやめてほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分としては、現在の小中学校の状況が良く把握できていません。例えば、通学時間ですが徒歩、自転車、スクールバスが現在の状況等をもう少し詳しく説明していただければアンケート調査が活かされやすいのではないのでしょうか。 ● 中学校は1校でも仕方ないと思うが、小学校は2校以上にしてほしい
立谷沢地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子化で色々ありますが、統合して学校数を減らしていくのも地域とのつながりも減っていくのでは。 ● 個人的意見ですが、なんか余目ばかり優遇される気がします。少しは立川中小の事も力を入れてほしいです。確かにバス通学すれば楽かもしれませんが、それだと立川町はさびれていく一方です。 ● 立谷沢小学校が閉校となる時期に保護者をしていました。また移行後の地域の状況も日々感じていることを記入させていただきます。狩川にバスで送迎となる時間の長さを考えると今以上に長くなるのは小学生にはストレスがおおきいと感じます。中学生はバス時間が長くなって体力的には問題ないと思いますが、部活終了時には直結していて、早退するか、毎回保護者の送迎が必要になると思われます。授業の開始終了時間にも影響すると思います。特に冬期間は分校のように少人数で無理なく通学できる施設が有ったら悪天候でも心配することなく送り出すことができるとは思いますがいかがでしょうか。大人で学ぶ事がすべてだとは思いません。少人数で手厚く学べた、自然を含めた学びは見ていてとても良い環境だったと今でも思っています。町の考え方として「費用は何とかするから」と言ってもらえるのであれば、立川+四小を一つにし、1小～3小を一つには有りだと思えます。中学校はそれぞれ残して貰えたらと思います。お金がないから子供たちに我慢してねーだけでは子供たちも地域も納得してくれないと思います。 ● 自分にはまだ子供がいないのでわかりませんが、将来少人数でも安心できるような環境作り通学路の安全性、急な災害でも頑丈な施設は1つでも必要な気がします。小さな子供を地域でも見守れる様な環境に配慮してほしい。 ● ・統合するのであれば、統合の経験がある先生と子ども達のメンタル面を考慮できる先生を配属してほしい。・子ども達はもちろん、父兄の不安を緩和し回数を重ね、入念な話し合いは必要だと思う。・統合前には何度も交流の場を設け、受け入れ体制を万全にした方が良いと思う。・私は統合の経験をしてきましたが役場職員の方と先生方が親身になってサポートしてくれました。・事務的な対応ではなく、信頼関係が一番大切だと思います。
不明	<ul style="list-style-type: none"> ● 私の出身校では2学年以上(2KM以上)自転車通学可、中学自転車通学が当たり前(片道40分)体育館は避難所利用であって欲しい。発電機、非常食、トイレ、シャワー、毛布 ● 20年後30年後は統合がさけられない問題になると思います。人口減少は庄内町だけではないです。定期的に地域の人達や保護者の意見を聞くなど考えを把握することが大事だと思います。どんなに検討しても、計画が進んでいたとしても、反対する人はいるし、皆が納得するのは難しいことだと思います。現に私の地元では、5つの小学校が1つに統合されました。もう15年くらい前になります。20年くらい前には、高校も合併という形ですが、地域住民との合意で、新しい校舎、新しい名前の学校になりました。どちらも校歌、校章も変わり、母校がなくなってさびしいですが、学校の歴史や伝統を残してもらえたらいいです。老朽化の問題ですが、一、二、三小は建て替えを早急に進めたほうがいいと思います。最近、耐震とか免震と言われていて、地域の防災拠点を考えるなら早めに検討する問題だと思います。50年以上も経っているので子供達にとっても安全性が確保できるとは思えないです。

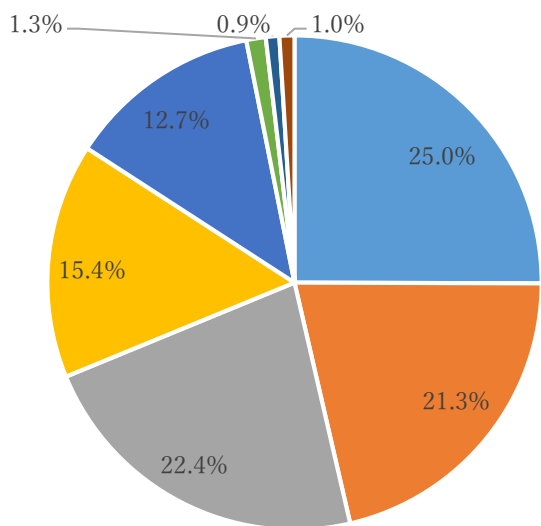
学校適正規模適正配置アンケート【保護者対象】

調査対象	町内の保育園、認定こども園、幼稚園の園児、小学校及び中学校の児童生徒の保護者 ※兄弟がいる場合は、園又は学校に通う一番年上の子どもの保護者
調査対象者数	1,221人
調査方法	設問票によるアンケート調査（園又は学校での配付回収）
調査時期	令和4年6月17日（金）～7月8日（金）
有効回答率	83.7%（1,022票回答／1,221票送付）

園・学校区分	配付数	回答数	回答率
すくすく保育園	49	33	82.0%
余目保育園	69	55	
認定こども園 からふる	48	45	
余目第一幼稚園	34	28	
余目第二幼稚園	25	25	
余目第三幼稚園	23	17	
余目第四幼稚園	13	11	
立川小学校	66	51	86.6%
余目第一小学校	110	101	
余目第二小学校	102	80	
余目第三小学校	108	99	
余目第四小学校	76	69	
立川中学校	103	70	81.9%
余目中学校	395	338	
合 計	1,221	1,022	83.7%

問1：あなたがお住まいの学区・地区を教えてください。（〇は1つ）

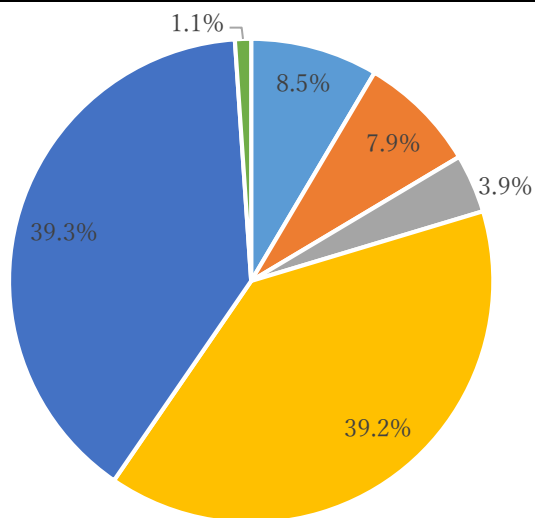
学区・地区の構成は、「第一学区」（25.0%）、「第三学区」（22.4%）、「第二学区」（21.3%）、「第四学区」（15.4%）、「狩川地区」（12.7%）、「清川地区」（1.3%）、「立谷沢地区」（0.9%）の順となっています。



	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 第一学区	256	25.0%
■ (2) 第二学区	218	21.3%
■ (3) 第三学区	229	22.4%
■ (4) 第四学区	157	15.4%
■ (5) 狩川地区	130	12.7%
■ (6) 清川地区	13	1.3%
■ (7) 立谷沢地区	9	0.9%
■ 不 明	10	1.0%

問2：この調査票を持ち帰ったお子さまの学校等に〇をつけてください。（〇は1つ）

学校等の構成は、「中学校」（39.3%）、「小学校」（39.2%）、「保育園」（8.5%）、「幼稚園」（7.9%）、「認定こども園」（3.9%）の順となっています。









	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 保育園	87	8.5%
■ (2) 幼稚園	81	7.9%
■ (3) 認定こども園	40	3.9%
■ (4) 小学校	401	39.2%
■ (5) 中学校	402	39.3%
■ 不 明	11	1.1%

問3-1：あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。

(〇は2つまで)

「充実したコンピュータ等のICT設備」(42.2%)、「多様な学びができる校舎設備」(41.2%)、「思いっきり運動できる体育館やグラウンド」(37.3%)の順となっています。

(1) ゆとりある広さの教室環境	320	 31.3%
(2) 充実した図書環境	69	 6.8%
(3) 充実したコンピュータ等のICT設備	431	 42.2%
(4) 多様な学びができる校舎設備	421	 41.2%
(5) 安全で快適に過ごせる学習環境	264	 25.8%
(6) 思いっきり運動できる体育館やグラウンド	381	 37.3%
集 計 数	1,886	






(1)～(6)の他に学習環境として望むもの

- 適正な人数の教室人数（多すぎず少なすぎず）と教師の配置（学年・教科などの考慮）
- 清潔さ
- 退校後の学習支援施設等（学童の学習部分に重点を置いたもの）
- 学校は苦手・得意を探す場でもあるので、多種多様なコト・モノを修得出来る場なんかあればよいと思います。
- いじめのない環境、差別のない環境
- エアコン、空気清浄機などの設備
- 職員の資質向上
- 教師や子供たちの人的環境
- 安全に通学できる環境
- 学童を学校の敷地内にしてほしい。
- 快適な学習環境（冷暖房等）、安全な通学環境（歩道整備、学校までの距離など）
- 特別なニーズがある子が過ごせる学習環境。例：個室の設置（特別支援学級の教室をフレキシブルに使えるように）
- 特別支援が必要な子に対する必要な援助の充実（人、物、場、時間）
- グループディスカッション等で自主性や各々が考える場を積極的に取り入れてほしい。
- 少人数学級にして子供たち一人一人の才能を伸ばしていける学校になることを望みます。
- (5)雨漏り、すきま風のない校舎 (6)子どもたちが夢中になれるたくさんの遊具
- 現状の教育以上のIT教育、金融教育を望む。（中学生になれば金利等お金の仕組みを学び、それを町外に発信すれば教育力で人口増加につながるのでは）

- 動物の飼育環境
- 1クラスの人数が多いので学年が上がるにつれて教室が狭くなってしまうのではないかと不安です。
- 一人一人に合った学習の教室
- 気軽に保護者でも学習環境を見学できる場（授業参観ではなく）
- 田舎ならではの自然の遊び、体験をさせて欲しい。大人になった時、子に同じ思いをさせたく戻ってきたり、残ったりと。
- 主体的に学べる環境と、教員の関わり。
- 夏、冬の適切な室温
- 選択肢の多い環境
- 自然との関わりを身近に感じられる環境。朝のニュース番組で取り上げられていた長野県伊那町の小学校が理想。
- 自然と触れ合い、生き物や植物を身近に感じることが出来る環境
- 小学校区を単位とした地域づくり。多様な教育(学習)活動ができる教室環境（与えるだけでなく自ら考え作り出す力の育成）。
- 外国語の入り口となる環境（英語に限らず）
- 防犯や災害対策を最優先にしていきたいと思います。
- 他学年との食事スペース。給食を食べながらの交流（食育）。週1回4年生と2年生、4年生と5年生など交流があれば楽しそう。
- 専門分野、知識への興味が出てくる教材の充実
- ランチルーム（全校で給食をいただく）多様な運動ができる設備
- 語学教育の充実（英語、日本語、他外国語1つ位）言葉は様々な人達をつなぐ重要なツールの1つであるとともに、自分の考えていることを自分の言葉で伝えられる人になってもらいたいため。
- 安全な通学環境、小学校までスクールバスでしたが、それより遠い中学校まで自転車になり車だけでなく変質者など心配です。
- 登校しなくても自宅で学習やタブレットを使用した授業への参加ができるといいかと思います。
- 多様な学びを受け入れる環境であってほしい。大人の考える多様な学び、子どもの考える多様な学び。子どもの考える多様な学びを知ることから始まるのではないかと思います
- 暑いときには我慢させずに冷房をつける。寒いときには暖房を・・・と設備だけでなくこういったことも（体調管理）望む。現在、暑くてもクーラーをいれないこともあるようで倒れた生徒もいた。
- 庄内町は公園等が鶴岡、酒田と比較しても使いやすいが設備があればいいというものではない。運営が最大の課題に思える。まして子供たちが外で遊ばないのは、その環境を無くしている市町村の方針を考えるべきと思う。
- 今現在教室が余っているようなのでゆとりのある環境で学べる教室にしてほしい。
- 登下校時のスクールバス（距離が遠いので、雨天時は送迎している）雨天時の自転車は心配。
- 探究科なるものを取り入れている学校があるので、参考にしたら良いと思う。
- 学ぶ場は学校の校舎内に限ることはないと思います。特に庄内地方には豊かな自然やこの土地ならではの歴史があるにも関わらず、それを知らずに大人になってしまっていると感じます。学びの場を外に求めることも一つの考えではないでしょうか？
- 分からない勉強など質問しやすい先生。話しやすい先生。聞いたことに対して嫌味な言い方をする先生がいる。
- 立川中の体育館側でWi-Fiが入らない。バリアフリーが進んでいない。段差が多い。エレベーターがない。車いすで動けない。トイレが故障したまま。
- これから先、英語必須と言われる時代に対応出来る様な学習環境、設備、A L T等が今より充実して欲しい。
- どんな子でものびのびと、いろいろなことを学べる環境。（物的も人的も）
- 車いす等でも上階にあがれるようにエレベーターを設置する。（非常時用として）
- トイレ環境の整備

問3-2：学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。（〇は2つまで）

「多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会」（73.9%）、「同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場」（29.2%）、「子どもの希望に合う部活動」（28.0%）の順となっています。

(1) 学校と保護者・地域社会が連携した教育活動	276	 27.0%
(2) 子どもの希望に合う部活動	286	 28.0%
(3) 同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場	298	 29.2%
(4) 同学年少人数で深い人間関係を築ける場	173	 16.9%
(5) 多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会	755	 73.9%
集 計 数	1,788	

(1)～(5)の他に教育活動の場として望むもの

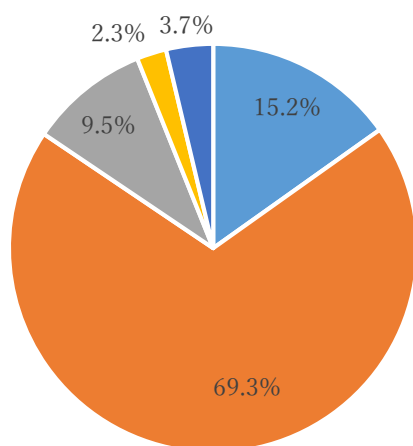
- 安心して居られる場所
- 教職員の資質向上、学童における有資格者の設置、施設の充実
- バリアフリー、ジェンダーフリーな教育環境
- 発達障害があってもみんなと同じように学び教育がうけられる場、偏見な目がないような教育を望みます。
- 農業や自然にふれあうことや庄内藩や戊辰戦争のこと、庄内の歴史や人間性を知る機会をもっとつくってほしい。
- 3←そこまで多くは望まないが、せめて2クラスあり、クラス替えを体験させ、様々な人間関係、環境や経験を積んでほしいと思う。
- 他の市町村では、中学校でパソコン部などあるようです。運動以外の部の見直しを希望します。
- 発達障害のことを子ども達自身も学ぶ機会があれば良いと思う。違いを認め合う教育。
- 地域とのつながりを持ち、ふるさとを好きになる、誇りを持てる、自慢できる等、愛着、郷土愛を育てる場。
- 地域社会との連携は必要だと思う。ただ保護者はこどもがどの様に過ごしているか、見守りたいと思うが、学校のことで仕事の休みを使ってしまうと自分を休める時間がなくて疲れてしまう。地域の方の連携割合を増やしてほしい。
- 他学年とも人間関係を築ける場
- 保護者を含め小学校高学年から講演会等に触れるべき。
- 小学校では1クラスしかないため、考えが片寄りがち気がする。もっと多くの同年代との関わりを持たせたい。
- いじめのない環境
- 同学年多人数に加えてほかの学年も含めて広い人間関係の中で切磋琢磨できる場
- 些細な事でも、学校から電話が来る時代になり、それなら、もっと密になる環境を作るべき。
- 子供自身が学びを自由に選択できる場

- 1クラスだけだと視線がせまいと思うので、色々な人と触れあい、意見を聞き、器を広くさせる環境がいい。町内で小中は1ヶ所がいい。
- 小学生のうちには特に1クラス、少人数が望ましいと考えます。(20人台くらい)
- 他の人のことを尊重できる、周囲に対する思いやりを持った対応ができるといった人としてあたり前のことを身につける場であってほしいです。
- 小学校に望むのは(4) 中学校に望むのは(3)。年齢に応じた環境を設けてもらいたい。
- いじめのない場、選択肢を多くもてる場
- 異学年との交流
- 将来になりたい職種につく為の方法、資産形成の為のお金の知識
- モラルという言葉が失われているように感じる昨今、発達障害など、人も多様化しているが、モラルについての学び、伝え方、受け止め方など学べる機会がほしい。
- 立川中学校、余目中学校両校で活動を一緒にしているスポーツ少年団が多いので、庄内中学校という名などで、合同で新人戦、総体の団体チームを組めるようにしてほしい。東北、全国大会などにも参加できたらうれしいです。せっかく小さい頃から仲間として時間をすごしてきたのに、学校を変えなければ出れないというのはおかしいと思います。
- 部活動ではなく、町と一体となって外部から指導者を呼ぶなどした課外スポーツ活動みたいなものを構築して取組んで欲しい。あと、社会に触れる場(職場体験みたいなもの)を生徒に積極的に学ばせ、この地域の雰囲気に触れて自分達がより住みたいと思う街づくりみたいなものを提案してもらい、町作りの一翼を担ってくれるような人材育成をして欲しい。
- 学びに興味をもたせる環境、子供一人一人の能力を伸ばせる教育方針
- 学校は将来、大人になって様々な職業に就くための基礎的な知識を学び、習得するための場と考えます。その様な事から様々な職業の情報に触れる体験学習等も必要と思います。
- 余目に柔道場を作ってほしい。
- 学校でふれあっている先生の質を上げる事も必要なのではないのでしょうか。あまりにもひどい先生もいます。
- 道徳にも力を入れてほしい。
- 1に対して先生方には大変感謝しているが、不要な「日P」「県P」の様な不要な組織が多すぎる子どもの教育以前に大人が立ち位置を学んだ方が良いと思う。
- この先子どもの数が減るので余目立川を合併してはどうでしょう。
- 団体競技ができるくらい的人数が集まるような部活になるといいです。
- グローバルな教育(英語以外の言語など)
- 行事の一環として、もっとボランティア活動をして欲しいです。(地区、町、県・・・)
- 生徒数・学校の規模でできる事は違うと思いますが、立川学区のような少人数地域ほど、さまざまな機会を与えてほしい。
- 立川中は人数が少なく、運動会、文化祭、部活動全てが充実されていない。
- のびのび学びながらも、将来を見すえた教育

お子様が通っている学校種に関わらずお答えください

問4-1：小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

「2学級」（69.3%）、「1学級」（15.2%）、「3学級」（9.5%）の順となっています。

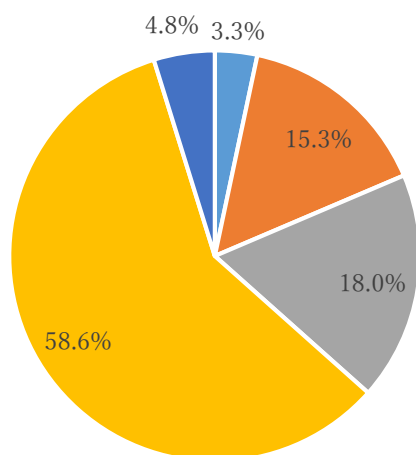


	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 1学級	155	15.2%
■ (2) 2学級	708	69.3%
■ (3) 3学級	97	9.5%
■ (4) 4学級以上	24	2.3%
■ 不 明	38	3.7%

※選択した学級数の理由は、
報告書（その2）P13へ記載

問4-2：中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

「4学級以上」（58.6%）、「3学級」（18.0%）、「2学級」（15.3%）の順となっています。

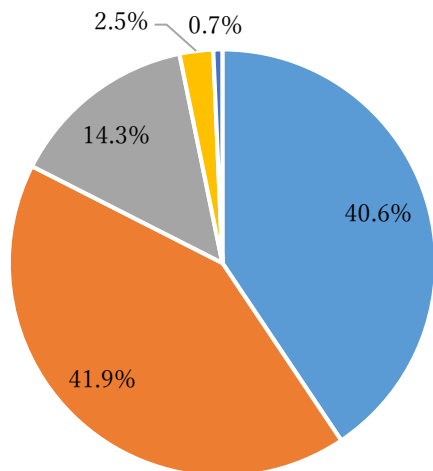


	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 1学級	34	3.3%
■ (2) 2学級	156	15.3%
■ (3) 3学級	184	18.0%
■ (4) 4学級以上	599	58.6%
■ 不 明	49	4.8%

※選択した学級数の理由は、
報告書（その2）P24へ記載

問5：本調査票を持ち帰ったお子さまの片道の通学時間に○をつけてください。（○は1つ）

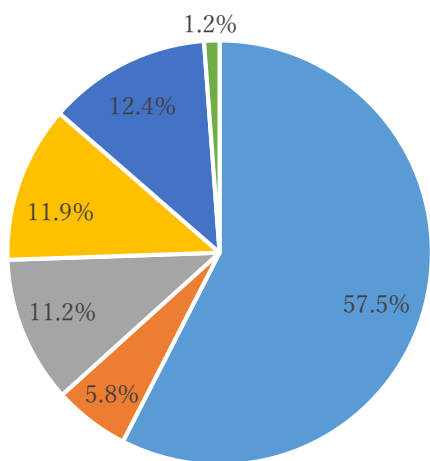
「15分以上30分未満」（41.9%）、「15分未満」（40.6%）、「30分以上45分未満」（14.3%）の順となっています。



	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 15分未満	415	40.6%
■ (2) 15分以上30分未満	428	41.9%
■ (3) 30分以上45分未満	146	14.3%
■ (4) 45分以上	26	2.5%
■ 不 明	7	0.7%

問6：本調査票を持ち帰ったお子さまの通学方法に○をつけてください。（○は1つ）

「徒歩」（57.5%）、「その他」（12.4%）、「徒歩又は自転車だが冬季のみバス」（11.9%）、「通年バス」（11.2%）の順となっています。



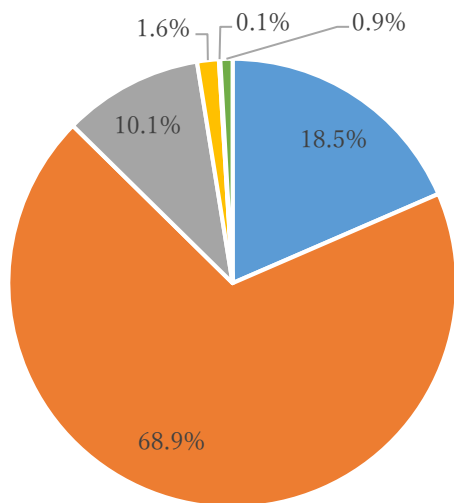
	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 徒歩	588	57.5%
■ (2) 自転車	59	5.8%
■ (3) 通年バス	114	11.2%
■ (4) 徒歩又は自転車だが冬季のみバス	122	11.9%
■ (5) その他	127	12.4%
■ 不 明	12	1.2%

(5) その他への記載事項

- 自家用車での送迎（119件）
- 徒歩か自動車（2件）
- 朝のみ徒歩、帰りは学童利用し親の送迎（1件）
- 徒歩だが冬季の帰りのみバス（1件）

問7-1：小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。（〇は1つ）

「30分未満」（68.9%）、「15分未満」（18.5%）、「45分未満」（10.1%）の順となっています。

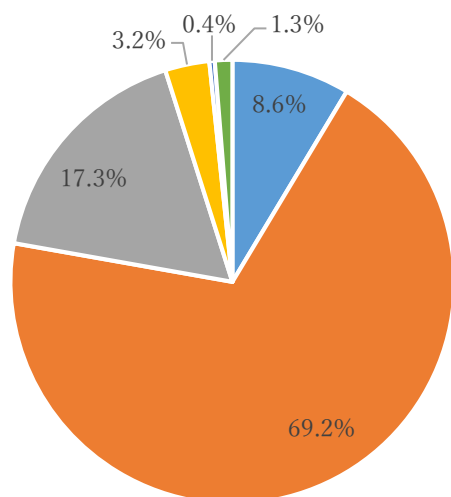


	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 15分未満	189	18.5%
■ (2) 30分未満	704	68.9%
■ (3) 45分未満	103	10.1%
■ (4) 60分未満	16	1.6%
■ (5) 60分以上	1	0.1%
■ 不 明	9	0.9%

※選択した通学時間の理由は、
報告書（その2）P32へ記載

問7-2：中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。（〇は1つ）

「30分未満」（69.2%）、「45分未満」（17.3%）、「15分未満」（8.6%）の順となっています。



	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 15分未満	88	8.6%
■ (2) 30分未満	707	69.2%
■ (3) 45分未満	177	17.3%
■ (4) 60分未満	33	3.2%
■ (5) 60分以上	4	0.4%
■ 不 明	13	1.3%

※選択した通学時間の理由は、
報告書（その2）P40へ記載

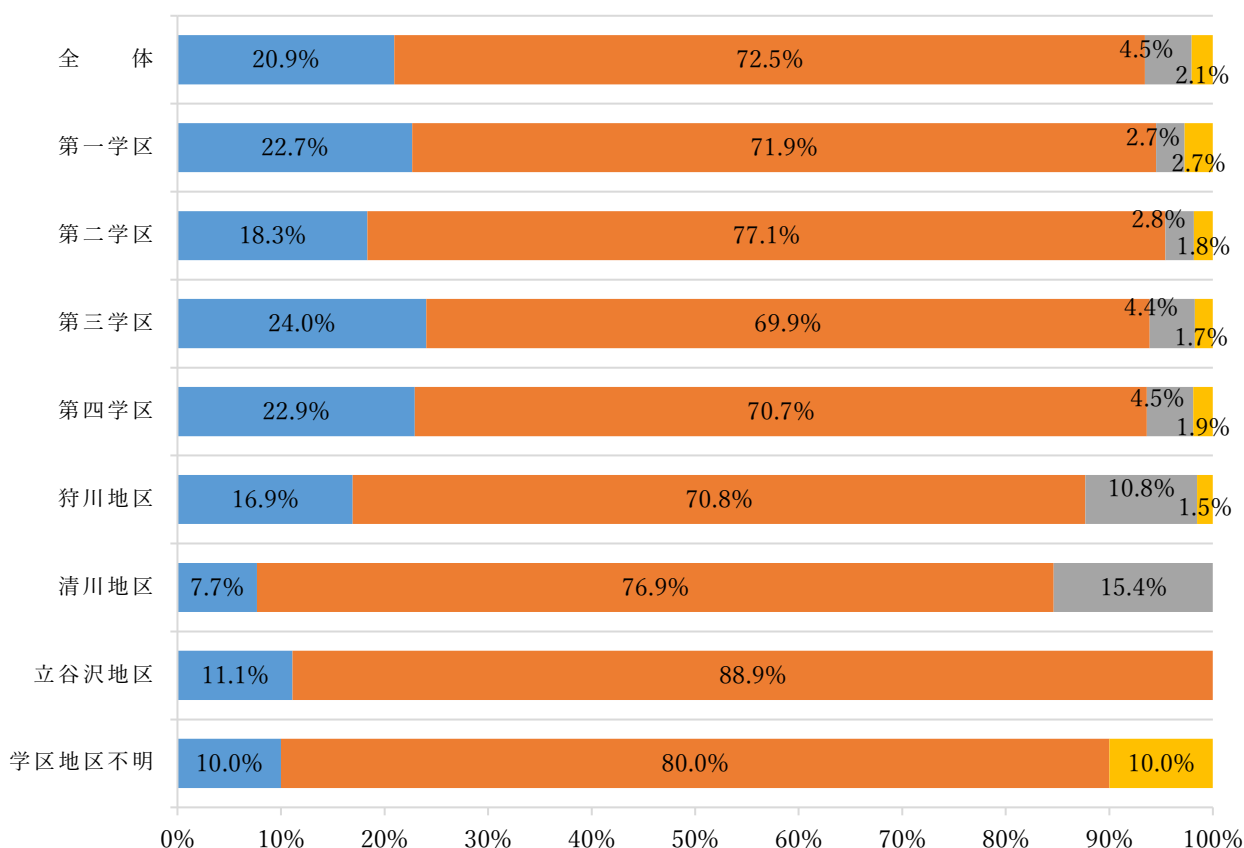
問8-1：【小学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。（〇は1つ）

「学校数を減らして、重点的に投資して建て替え」（72.5%）、「小学校5校をすべて建て替え又は全面改修」（20.9%）の順となっています。

「学校数を減らして、重点的に投資して建て替え」の項目では、立谷沢地区（88.9%）、第二学区（77.1%）、清川地区（76.9%）の順となっています。

「小学校5校をすべて建て替え又は全面改修」の項目では、第三学区（24.0%）、第四学区（22.9%）、第一学区（22.7%）の順になっています。

	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 小学校5校をすべて建て替え又は全面改修	214	20.9%
■ (2) 学校数を減らして、重点的に投資して建て替え	741	72.5%
■ (3) その他	46	4.5%
■ 不 明	21	2.1%



(3) その他への記載事項

- 壊れたところがあれば直していけばよいと思う。
- 建て替えをせずとも外装一部、内装一部、耐震等リフォームしてほしい。
- 将来の人数に合わせて現在のような大きな建物でなくても必要、不必要な部屋の見直し、部屋の大

きさも人数に合わせて建ててもよいのでは。

- 設備投資を1カ所のみに。小学校中学校一貫校かつ庄内町に1校のみ狩川地区等遠い場合は通学バスの設置で対応。
- 福祉等からの財政補填、全て力を注ぐのは無理だと思います。
- 庄内町の小学校は1校として建て替える。
- 学校を減らすとかより上記の額の多さにただおどろく!
- 余目と立川で分けて投資して建替え。
- 分からない。
- 中高一貫校 中学校の空き教室を有効的に使ってよいのでは。
- 5校すべて建て替え。建設費の見直し。
- 小学校までのルートをつなげてほしい。例えば一小の保育園、幼稚園とつなげてほしい。
- 町内1つ
- どちらともいえない。
- 小中一緒の校舎はいかがか。
- 中学校になったら、どのみち4校が集まる。小学校と中学校合併。
- 老朽化の度合いで順番に建て替え。
- まずは財源の確保。無駄を減らす。
- 学校数は減らさず、改修が必要なところだけ改修。
- 校数を減らして別の土地に建てる。建て替えは解体費も要る。ほかに利用方法。※別の土地の購入費も要るが・・・。
- その時に応じて必要なことをしていけばいいと思う。
- 全ての学区の真ん中あたりに新たにたてる。
- 部分改修等
- 何とも言えない。
- 現状のまま。
- (2)の考えで、使わなくなった学校の新しい建物は残す。例えば四小の体育館・クラブ活動のため町民体育館のような形で残す。
- 他の考えはないが自分の子どもの学校がなくなることは抵抗がある。
- 必要な部分(学校)のみの改修。
- 合併
- 空き教室が多いので規模を縮小して建て替え。
- 建て替えるなら規模を小さくするか、もしくは高齢者も利用できる通いの場を併設する。
- 1校に集約
- 学校数を減らす、余四、立小との合併。
- 地区の区切りを再編し、5つの小学校均一にする。
- 音楽室や家庭科室等を共有施設として、教室、体育館等必要不可欠な施設のみ改修を行う。
- 分かりません。
- それぞれの良さがあるので何とも言えない。
- 建替えて資金運用せず、現行の学校施設を利用、修繕が必要なところはリフォーム対応。
- 特になし。
- 小・中学校のトイレ洋式にしてほしい。
- 学区編成は見直せないか。

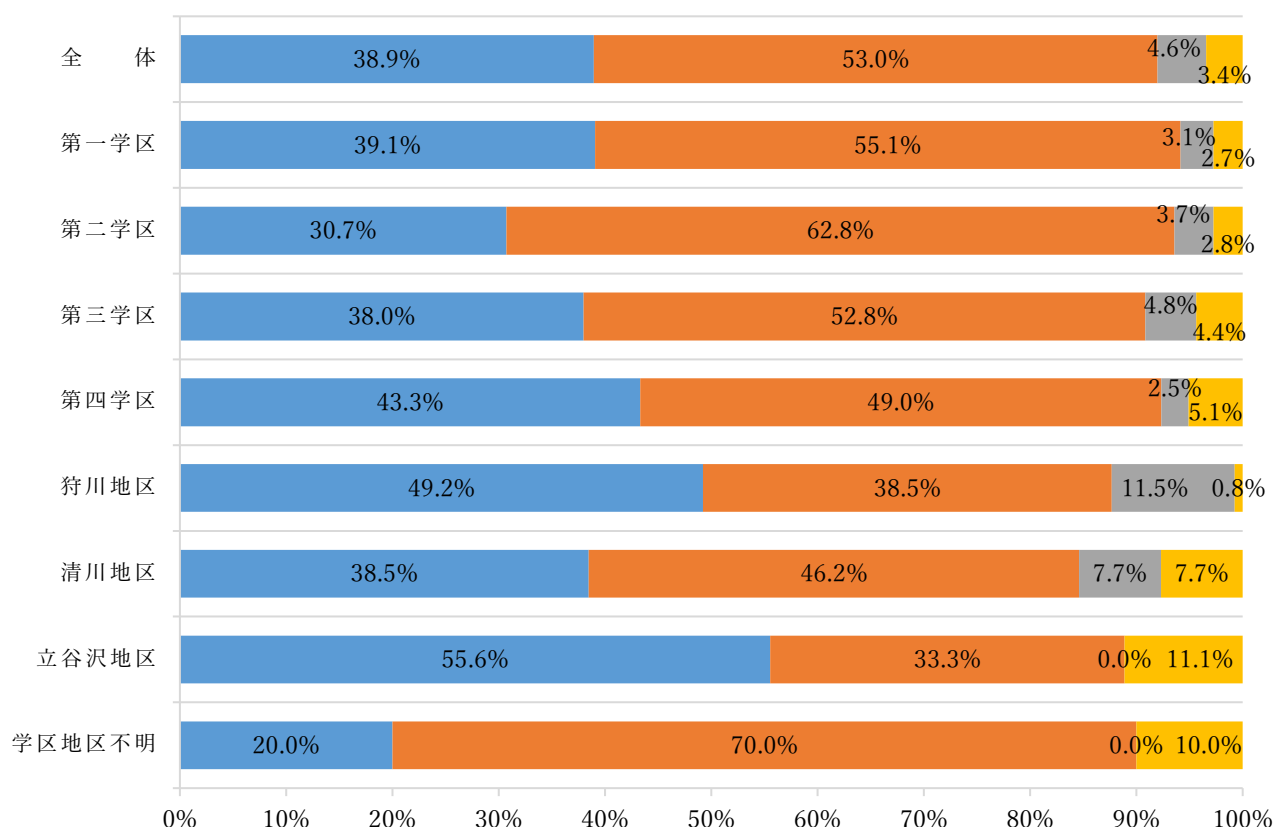
問8-2：【中学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。（〇は1つ）

「学校数を減らして、重点的に投資して改修」（53.0%）、「中学校2校をすべて改修」（38.9%）の順となっています。

「学校数を減らして、重点的に投資して改修」の項目では、第二学区（62.8%）、第一学区（55.1%）、第三学区（52.8%）の順となっています。

「中学校2校をすべて改修」の項目では、立谷沢地区（55.6%）、狩川地区（49.2%）、第四学区（43.3%）の順になっています。

	集計数	構成比
全 体	1,022	100%
■ (1) 中学校2校をすべて改修	398	38.9%
■ (2) 学校数を減らして、重点的に投資して改修	542	53.0%
■ (3) その他	47	4.6%
■ 不 明	35	3.4%



(3) その他への記載事項

- 壊れたところがあれば直していけばよいと思う。
- 建て替えをせずとも外装一部、内装一部、耐震等リフォームしてほしい。
- 将来の人数に合わせて現在のような大きな建物でなくても必要、不必要な部屋の見直し、部屋の大

大きさも人数に合わせて建ててもよいのでは。

- 設備投資を1カ所だけに。小学校中学校一貫校かつ庄内町に1校のみ狩川地区等遠い場合は通学バスの設置で対応。
- 福祉等からの財政補填、全て力を注ぐのは無理だと思います。
- 財源が心配である。
- 一番新しい立川中学校は使用し他は人数を見て重点的に投資。
- 分からない。
- 時期をずらし時代に合った建物を。
- 中学はそのままがいい。
- 町内1つ
- 老朽化している所、学校のみを改修すれば良いと思う。
- 2つしかない中学の数を減らすことはできないと思います。費用にかかる額も大きいので、子供の数が少なくなる一方でも問題があるので、人口の減少を減らすことも大切だと思います。
- 小中一緒の校舎はいかがか。
- 特になし
- 2番が一番良いのかもしれないが、通う距離を考えると…。小中を一緒に出来ないか？体格的に難しいか？
- 中学校は小学校に比べてまだ新しいので。
- まずが財源の確保。無駄を減らす。
- 必要最低限で行えばよい。
- 校数を減らして建替え、余目地内に。
- その時に応じて必要なことをしていけばいいと思う。
- 年数を考えて考える。（建て替えもあり、新たに）
- 現状維持だが、立川、4学区を一緒にすべき。
- 立中のみ改修。
- 老朽化への対応もですが、今使っていない施設もあるのに．．．と思うのですが。〇億の改修をする必要はあるのでしょうか。新しいのはうれしいですが。
- 2校しかないので何とも答えを出せない。
- 空き教室が多いので規模を縮小して改修。
- 減らしても良いが今の場所だと反対。町全体から見て中央へ。
- 中学校を統合し立川から余目へスクールバスで通学する。
- 1校に集約。
- 必要などころだけ改修。
- 4小学区と立川中の合併。
- 部活、習い事など、スクールバスを利用して活用する。
- 余目と立川中学校を一緒にするというのは、少し難しい様に感じるので、改修しながらで良いのではないかと思う。
- 分かりません。
- 建替えで資金運用せず、現行の学校施設を利用、修繕が必要なところはリフォーム対応。
- 立川中学校舎を小中一貫校として利用する。（第四学区を入れる）
- 悪い所だけ改修。
- 学区編成は見直せないか。
- 現時点で改修が必要ないのであれば、必要な部分のみで、様子を見る。

問9：少子化による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化への対応方針を検討するため、庄内町学校適正規模・適正配置審議会を設置しています。検討するうえで、特に配慮する必要があることは何だと思いますか。以下の欄に自由にご記入ください。

<p>第一学区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 役場職員を減らせばいいのでは？金もつたいないです。 ● 余目の事ばかりで立川地区の事はそれほど考えていないような気がしています。もう少し平等に考えてほしいです。 ● 少子化を防ぐのが難しいのであれば、子を持つ家庭が親世代になしても対策を早急に実施した方が良くはないかと思う。現状、町役場を新しくしたところで手続き等が以前同様でネットで出来る訳ではない、建て替えたメリットはあまりないと思う。高齢者にお金を使うか、これから未来ある子どもたちにお金を使うかは先を考えれば後の方がいいはず。 ● 建て替えにしても学校数を減らして合併するとなってもどちらでも大変だし難しい問題だと思います。いずれは必ず中学校になったら、1～4小が一緒になるのであれば、小学校は少ない児童数で先生方のできる範囲で手をかけ目をかけていただければありがたいし安心だなと思います。人数が多いとたくさんの人とふれあえて様々な経験ができるといういいところもありますか……。子ども達のためにありがとうございます。どうぞよろしく願いします。 ● 学校側と保護者、子供がお互いに情報を共有できること（学校が家庭での様子等）。子供一人一人をよく見てもらえるよう、1クラスあたりの人数を少なくしてほしい。個性をいかせる選択枝増やしてほしい。 ● 老朽化は仕方がない部分もあると思いますので、学校の耐震等を検討頂く為にも校舎内の危険カ所のピックアップ、調査のうえ該当カ所の修繕にあたってほしいです。 ● 40歳未満の若年層意見を積極的に取り入れるべき。老人層は小、中学生それ以下の子どもへの配慮に欠けるため、まずは町全体の若者の人数を増やすことに注力すべき。給付金を増やすなどしてPRすると良いと思う。 ● 学生が少なくなれば部活動など選択枝が少なくなることが懸念されます。子供の選択枝が少なくならないよう対策してほしいです。通学にかかる時間が地域にとって格差が生まれるのは子供、親にとっても負担になると思います。小学校学区の割り振りをもう一度検討した方がいいのではないかと思います。 ● 他学区の人と合併するにあたっての子供親への対応、地域柄が強いと疎外感を感じなじめない。子供が生き生きと過ごせる環境。閉校する場合は、その準備を早めに進めてほしい。心のゆとりがほしい。登下校の安全。親の負担が多くなってはいけない。 ● 統廃合による整った環境の整備 ● 学区を合併し町内に集めてほしい。中学校と小学校が近くにあると互いに交流する場を設けることができ良いと思う。 ● 通学に配慮してほしい、バス等で。 ● 全国的に少子高齢化が深刻な問題ですが、庄内町において過疎化も進んでいます。特に立川・立谷沢は顕著ですが、ハードを点々とおくのではなく例えば余目地区に集中的に施設整備し立川・立谷沢地区は自然豊かで歴史・文化的価値のあるものも存在していることから、フィールドワークの場として整備してはどうかと思います。もしこのまま児童数が減り続ける中、小中学校の数が変わらなければ、各校での人数の偏りやコミュニケーションがとりにくい（人数が少ないため友達が増えない）、いろいろな見方、考え方を学ぶ機会が相対的に減り、かつ施設の維持経費もかさんでくると思います。立川地域に学校を残したいのであれば小中一貫校として現在の小学校か中学校を改修・整備するのも一つの手だと思います。 ● 1学年あたりの人数が減少する中で、文科省の指針が変更にならなければ今後も30～40人1クラスで学級運営をする事となると思います。昨今、教員の労働時間に対し警鐘が鳴らされている通り、教員の負担が重いことは現状かと思っています。それにより児童生徒に対して手をかけづらくなり、教育の質の低下に繋がる懸念もあると考えます。現状を鑑みると本町では1学級の人数を減らすべく1学年あたりの人数を増加させることが選択枝の一つになるかと思っています。その為にも学校の統合や学区の再編成を考えることは今後の為には価値あることだと個人的には考えます。 ● 施設の数のことはよくわかりません。施設にいる大人たちが何を大事にして子供たちをサポートケアしていけるのか考えて欲しい。子どもたちの未来のための場面にしてほしい。
-------------	--

- 町の財政-学校数を減らしても良いので後世に借金を残すな。教育環境の維持・向上-教師の数、IT環境、広い教室、体育館、グラウンド。全てのトイレを洋式ウォシュレットに。災害はいつ来るかわかりません。早期の判断・予算化・着工をお願いしたいです。
- 子どもがのびのび過ごせる環境であればいいなと思います。人間関係も校庭や体育館、校舎、教室広くなっても子どもにとって過ごしやすく活動しやすければいいなと思います。地震や火事などそういうものに強い施設にして頂きたいなと思います。
- こだわった作りよりも冷暖房や安全、バス通の整備し預かり保育や学童の設備を充実。幼稚園の設備を充実させてほしい。古いのは小中学校だけじゃないです。幼稚園・学童も併せて考えて欲しいです。職員室のみ冷暖房きいていて、子供も同じように扱ってほしいです。送り迎えの車の通行のしやすさ。
- 中学校の数に対して小学校・幼稚園が多すぎる。保育園と幼稚園を一本化するべき。
- 少子化が進んでいるので学校数を減らして建替えた方が良くと思う。
- 学力の前に、体、命を守るために、教室の設備エアコンなどと通学の安全を一番に検討してほしい。気候は年々暑くなり、通学も熱中症が心配。冬は除雪で歩道もないところを歩くのは危険だと思う。高齢者の運転での事故も心配なので、車での送り迎えをOKにするか、バスの運行を早く検討してほしい。
- 老朽化によってケガをしたり危険を伴うことのないよう早目の修繕又は建て替えを考慮してもらいたい。子どもたちの様子が先生方の目が行き届くような施設であってほしい。
- 少子化で一学年の学級も少なくなっているので、学校ごとに多い学校、少ない学校が出てきて、学校活動の差が生まれることもあると思います。学校全体の人数をそろえたり、学校の数を減らしたりすることでより多くの生徒が同じ教育が受けられて人と人との関係も深まると思う。
- 全ての小中学校を建替えるのはムダ使いだと思う。小中をそれぞれまとめて良い施設にしたり、送迎バスや運転手の確保などにお金を使ってほしい。
- 統合、スクールバスの増台
- 町内の子どもたちが平等に学習したり部活動に専念できる環境が必要。理想としては響ホールの隣に小中学校を作りそこに町の子どもたちが全員通えたらと思う。町外から見ても魅力的な学校環境づくりをしてほしい。少子化の中で、小学校、中学校を分ける必要はない。すべて建替え全面改修は絶対無駄。
- 規模：総人数でも先生の目が届くようであればなおさらいいと思う。配置：自宅から小学校まで徒歩40分かかると聞いている。子供の足でその距離は大変だと思う。特に夏・冬の期間はバス通学にしようと言うような対策を取ってほしい。昔と今では夏の暑さは違うが例年通りと毎年行うのは時代遅れではないか。規模縮小となれば尚更必要になってくる。
- 通学に際して住んでいる地域によって家庭や子供に負荷がかからないような学校の配置、通学バスなどの補助も検討してもらえればと思います。
- 1人1人にあったこまかい教育ができるようにしてほしい。
- 少子化に伴い学校数が減るのは仕方ないかと思う。それによって通学が遠くなる場合は、バスも検討してほしい。今でも冬期はバス送迎を検討してほしい。
- スクールバスなど交通難民にならないようにしてほしい。
- 大人数でいじめの見逃し。今少人数でさえある。今の財政で長期運営ができるのか。給食無料や庄内町の子育てに魅力を増やし、集客力を上げ人口を増やす。収税も増やす。
- 子供を沢山産んで安心して育てて行ける環境を作って少子化にストップをかけて行くこと。
- 学校数を減らして合併するのも良いと思いますが、フルタイム、共働きも多いため、安全に家に帰宅できる登校、下校方法を考えていただきたいと思います。改修費をあまりかけず、そのお金を子供たちの他の活動に使ってほしいと思います。
- 校舎は安全でなければならないが、きれいである(新しい)事は必須だと思わない。審議会での事ではないが、庄内町での仕事(雇用)を増やし、若者が子供を育てやすい環境づくり、移住しやすく定住しやすい町づくりが必要だと思う。
- 我が子には老朽化している学校より、新しい建物の学校で勉強させたい。
- 学校施設の老朽化については、子供達の安全を優先するために、早急に取り組むべき課題ではないでしょうか。話は別となりますが、第一小学校の学童保育場所について、他の学区は小学校から近い場所、又は敷地内にありますが、第一小学区だけは、なぜ何十分もかけて行

かなければならないのでしょうか。特に冬期間心配です。バスも出していただけるとありがたいです。

- 子の数は年々減少し、それに伴って学校数を減らす…という選択が無難だという結論に達するのだと思いますが…何億円という額が適切なのかの検討も必要かと思う。材料も値上がりしている現在において、高齢者のみとなっている本町にその力があるのか？アンケートを取ったからには、本腰を入れて取り組むのだと思うが、あまり現実的ではない気がする…。また、審議会の設置とは別に、今現在の学校設備にも目を向けてもらいたい。
- 小学校の統廃合
- これから少子化が進む中で、予算を大きく使っていく事の必要性がどの程度あるのか。ただ、登校下校に30分以上かかるのは児童、学生のためにはならないと思うため配慮が必要だと思う。
- 冬期の下校時の安全性確保
- 子供達の安全。
- ・バス通学 ・部活動
- 1学年が20人以下になってくるとすれば、学校数を減らして…と思いますが、令和10年を見ても下回ることはないのでは、良いのではないかと思います。
- 余目は中学校になると、1小～4小まで一緒になります。小学校も4校一緒でも良いのではないかと思います。校舎も古いので新設してはいかがか。
- 難しいかとは思いますが、例えば全面改修後に小学校を統合はしないでほしいと思います。遊佐町と同じように言われたくありませんし、思い出の場所がなくなるのは悲しいです。
- 校数を減らし、時代やニーズに応じた学びができるような充実した環境を整えていければと思います。重点的に投資することで建替えを行うよりも必要に応じて改修を行った方が予算も抑えることが可能かと思えます。現在まで教室として使用していたが、児童・生徒数が減ったことにより使用しなくなった→そのまま自習室として利用する、改修して別の用途に利用する等。
- ・災害時の避難場所として役割もはたす為、寝とまりの出来る体制が整っているか、公衆衛生が保たれる環境があるか、等。バリアフリーかどうか。・建物として学校としての機能の他にも、多機能としての建物であってほしい。数十年後、子供の人口や地区の人口などを見込んで計画を立てていくべき。
- 子どもの人数の推移を見ると、複式学級ができるほどの減少はないようです。そのため、第一・第三小学校は建て替え、その他は改修し、今後、学校数を減らすことになった場合、建て替えた校舎を活かしていくのはどうかと思います。子ども達が自分らしく、学校生活を送ることができるよう、もうしばらくは今の学区でいくのが妥当だと考えます。また、小中学校の改修のほかに、幼稚園や学童のことも考えていただきたいです。特に幼稚園ではトイレが暗い、古いためか清潔感が感じられない様子もありました。第一小学校の学童は古民家ですが、地震などの災害時は安全なのでしょうか。庄内町は「子育て日本一」とうたっていますが、もう少し子どもたちの生活面へも直結する町の施策を講じてほしいです。町役場が新しくなっていますが、子どもたちに関わる面へも…と、子育て世代としては思っています。
- ・財政的に、全てを建て替えは難しいと思うので、学校数を減らして集約するのであれば、バス通学にする必要があると思います。・人口が減り続ける中で、この膨大な学校建設費の捻出は非常に困難と思われます。もしやるのであれば、人口が少しでも多いうちにやってください。この資料によると、8年後の人口は、今よりも3,000人減るようですが、その頃は今よりも実行できる可能性が低くなっているでしょう。早急な実行力を期待します。
- 少子化に合わせて、学校数を減らしてなど、させても良いかと思えます。高校も同様にしても良いのかなと感じました。
- 学校数を減らすこと。（合併する小学校があっても良いかも）
- 学校数を減らすと人数が増えるので、今度はいじめとか人間関係や親のごちゃごちゃも増えるので、そこはきちんとしてほしい！！別なのですが、子育て一番の町なのに、鶴岡・酒田がやってる高校生の医療費は別なのはなぜでしょうか？お金がかかるから医者に行かないとか聞こえてびっくりでした。
- 自分の子どもは発達障害グレーゾーンと診断されています。1つの教室に大人数でみんなと同じペースでが難しいこともあります。しかしグレーゾーンだと支援学級にも行けません。特別専門の先生を付けてもらえるような制度もありません。先生も足りていません。学校数

を減らすことで、そういった中身の充実を図ってほしいと切に願います。みんな1列に並ばなくてもいい。違いを知って、認め合えるような教育をし、それぞれの長所をのばせるような環境作りを是非お願いしたいです。

- 子どもたちが通学に不便なく、部活なども人数が少ないのであきらめてしまう状況にならないよう、学校を統合すれば今後少子化が進んでもなんとか対応できるのではないかと考えます。
- 学校数が減った場合、バス通学になる地域もあると思うのですが、歩いて学校に行く事が減った場合、体力が低下しないか心配です。また、時代に合った教育をすることも大事なのかなあと思います。子供自身が考える力を伸ばしてほしいです。
- 子どもたちが安全そして安心して通える環境作りに努めてほしい。
- ・学習環境を整えるために学習がおろそかにならないように。・子どもが不安にならないように。
- ・考えすぎないこと。配慮すべきことはあっても決断力をもってどんどん進めてほしい。地域の声を拾うのもいいが、拾いすぎると大変。・スピード感、町民への周知、情報開示（時代に合わせて）そのうち子どもが成長していってしまう。・学区編成で想定されることを洗い出し、通学から何から考えられることを周知していく。
- 少子化の事を考えると、小学校の数も中学校の数も減らして統合を考えた方が良いと思います。例えば、小学校の場合、第1、2、3小を1つの小学校、第4小と立川小を1つの小学校にしてはどうか。中学校は余目中と立川中を1つに統合しても良いのではないかと思います。
- 子どもたちが安全・安心して学校生活を送れる環境づくり。
- 色々な意見の集約は大事かと思いますが、より良い環境づくりよろしく願いいたします。
- ・ジェンダーレスに対応した施設づくり。・少人数で指導や授業ができるフリースペースや小空間。（個別支援にも使える場所）
- 少子化だからこそ、一人一人に合った教育の進め方、学習が遅れている子に対するサポートの充実。配慮が必要な子どもの教育のサポート、一人一人がしっかりと学べる環境を作っていくこと。学校の今の数を今後残していくのは、少子化もあり難しいと思う。改修も必要で、老朽化により建て壊すにも、財政負担があるが、それがこれからの今の子どもたちが負担をすと思うとかなり不安もある。今後の授業のために検討が必要だと思う。
- 通学手段。バス通学の生徒が増えるようであれば、バスの増車、通学路の整備。
- 年々、自然災害の発生数や規模が大きくなっており、また、児童数減少による登校班の人数も減ってきています。現状のままの部落ごとの班編成や冬期間のバス通学利用に関し疑問に思います。
- 学校を集めて学校を減らすのも悪くないが、人数が増えることでデメリットもあると思う。せめて学校はゆったりとした教室で一人一人がのびのびと過ごせる事を望みます。
- 第一学区を無くして、分散して学校数を増やした方がいいと思います。
- 一番は子供達の事だと思います。いじめの面でいえば1人1人きちんと先生方が見ていける事が大事だと思います。
- 役場を新しくして、体育施設等の使用料が上がり、減免率が下がったことでクラブの会費を倍近く値上げすることになってしまった。会員も増やしたくても減る一方で困っている。学校施設への対応により、一層このようなことがあっては困る。以前は「役場を建て替えずに町民に寄り添う良い町だよ」と他市民に言われてそれが庄内町民である誇りでもあったのだが、今はとても自慢できなくなってしまった。
- 小学校を1つにして幼稚園の先生数も減らせます。学校の教育にもっと手厚くしてほしいです。
- 学校数を減らすと、1学年あたりの人数が増えて、人とのトラブル等も増えると思うので学校も注意深く見てほしい。
- ・子どもの数は少なくなっているが、付け焼刃の改修は意味が薄い。・今後も長く安全に、移り変わる時代に対応できるような校舎が理想。・経費面から町の中で集約して、新規の校舎を1棟ないし2棟を新築してほしい。小学校が耐用年数の面より明らかに優先と考えます。
- 学校数を減らし建て替えるのであれば、安全な通学方法（極端に遠い児童がいないよう配慮）の検討。今でも冬場は特に大変です。
- 1小学区に在学中です。町全体で幼・小を隣接してあるにもかかわらず、1小学区の学童保育

施設のみかなり離れた場所にある事が、他の学区と比べると不公平とってしまう。利用児童はほとんどが低学年なので冬の吹雪の時などバス利用もできないので、心配です。（他の保護者からもよく同じ話を聞きます。建て替えの際は配慮してほしいです。

- 幼稚園と保育園を一本化にしてほしい。兄弟がいる場合の送り迎えなど親の負担が大きい。
- 少子化は問題ですが、学校をすべて建て替え、全面改修は町民の方にも税金が高くなるのか不安だし、子供達が大きくなった時、生活が大変だったらかわいそうです。無理なく少しずつ改修できないでしょうか？新しい校舎はうれしいですが、古くても勉強はできます。安全面では改修工事しないといけません。
- 第1小学校の学童保育が離れている事が心配だったので、敷地内などにほしいと思う。
- 通学する生徒において、学校統合するとなれば、通学時間の問題があります。通学時間や身体的負担に偏りが無いよう、十分配慮する必要があると感じます。
- 各小中学校共にそれぞれの学区や地域での色が違うと思います。個人的な意見で申し訳ないのですが、昔から住んでいる方はどう思うかわからないのですが、新しく住みついた者としては、土地を選ぶ際にそのあたりもリサーチして住む学区・地域を選んでいるので、学校数を減らすという事は、どこかの学区と統合という事だと思ってしまうので、ちょっと抵抗があるのも正直なところでは。
- 限られたお金の中で、なぜ町はもっと早くこの問題に取り組まなかったのか？役場と学校、図書館と学校、病院と学校のように併設する事でコンパクトな町づくりが必要だったのではないかと2028年をみても4小、立川小、立川中の統合は仕方がないと思う。このような検討をする時は庄内町の借金、お金がどのくらい余力があるのかを示さないと、ここまでOK、ここまでNGとならないのでは？これ以上、町民の借金を増やさないと頂きたい。
- 通学時間、1クラス当りの人数に配慮してほしい。
- 今後人口減少化により子供はおろか住民も減少が考えられ、近い将来、どこかの市町村と合併が考えられます。合併するのが確実なのであれば、使用しない公共設備への投資は検討するべきだと思ひ、配慮するべきだと考えます。
- 1クラス41人の制限を変えてほしいです。（小学校）コロナ禍で密にならないようにと言われているのに密すぎます。人数少なく2クラス、あるいは教室をもっと広く作っていただきたいです。
- 児童生徒が安心して勉学に励めるように安全な学校施設で学べるように配慮して検討してもらいたい。
- 小学校はバスがないので数を減らすというのは想像できなかったですが、老朽化した校舎で不安に過ごすよりは安全な校舎の方が子ども親も安心できると思います。
- ・子どもが減少しているのだから統合するしかないと思うが。長い長い将来を見据えて場所を決めてほしい。（将来的に人口がふえる地域に造るしかないのでは…） ・人口の減少によりゆるやかにするには、子育て世代や若者に定住してもらうことが必要。そのためには働く場が必要。”庄内町”というより”庄内地域全域”で考え、働く場を増やしてあげると良いのだが… ・余中の部活の件。今はスポ少からの経験者が多く、スポ少をしてこなかった子にとっては中学から始めるのは難しい状況。特に男児は合唱、吹奏楽、美術（どれも女子が多く）選びづらい。でするので、せめて他校にもあるパソコン部があったらいいと思う。
- 小学校1校（余目キャンパス、立川キャンパス）、中学校1校（余目キャンパス・立川キャンパス）もしくは新庄のように小中一貫校を建設し、閉校後は介護施設で利用できるように平屋で建設する。
- 子どもたちの事を第一に考えて、よりよい学校生活過ごせるよう、快適に過ごせるように配慮してほしい。
- 人数が少ない部活に対して、余目、立川、合同でできる環境を作ってほしい。
- 少子化、老朽化だから単純にまとめて建て替えるという意見には賛同できない。大切なのはそこでの子供たちの学びそれぞれの地域とのつながり、ゆとりのある環境教育が教師と子供を豊かにする。まとめることで建て替えの経費は減るが、マンモス校になったことで出てくる問題が多いはず。現場の教師たちに丸投げするやり方には反対。保育園、幼稚園、小学校、中学校・・・人を育てるには人が必要。いろいろな課題を抱える子供が増えている現状から目を背けないでほしい。
- 少子化による児童の減少となるとすべての小中の建て替えは経費の無駄になると思う。合併し耐震等重点的に投資してほしい。

- みんなが納得するのは難しいと思うが、今回の様に人口推移や費用等の資料が添付されているとわかりやすかった。さまざまな考え方があると思うのでアンケート結果を公表したうえで再度アンケートや検討を重ねてほしい。
- 少子化が進んでいるが学校数を減らすことにより、1クラスあたりの人数が増えてしまう。1クラスの収容人数を少なくするべきだと思う。
- 余目1-4小、立川小を廃校、1つに集約（現在の立川小中を利用）。余中・立中を廃校1つに集約（現在の余中を利用）。20代～40代の声を特に反映させて欲しい。
- 児童・生徒が担任の先生と1日1回は必ず話せる（勉強以外）時間があればいいと思う。1クラスを少人数制にしてクラスを多くし先生と子どもがきちんとコミュニケーションが取れるようになればいいと思う。
- 地域拠点の学校がなくなると・・・複式授業になった時、1学年1学級しかない現状で行事が上手に行えない（合唱コンクール、運動会、球技大会等クラス対抗ができない）本当に少子化が深刻化してきた現状を感じています。
- 子ども達の意見も聞いた方が良くと思う。
- 少子化というのが日本は人口が多い。以前は現在の学校数が必要だったのかもしれないが、学区の整備、学校の建て替えはその次を見通さなければ同じこと。また、建物だけが問題なのではなく、雑多な道路事情は全国同じだが、計画性、将来性のあるインフラ整備、合わせて学校等のハード整備、庄内町の規模だからこそできる計画を希望する。
- またいつ大きな地震が来るかと思うと、早く安全な学校を着手することが望ましい。今回のコロナでオンラインでの授業が盛んになってきており自宅だけでなく公民館に集まり、先生の授業を聞くことが可能です。悪天候時の授業の方法等に対応できるようにしていけばいいと思う。遠い学校でもバスなど交通手段の充実に投資することもよいと思う。今後庄内一貫校への通学生徒もいると推測していくことも考慮必要。
- 学校数を減らすのは仕方がないと思うが、1クラスが25～30人くらいでいいと思う。40人一クラスに入るのは多すぎる。少人数のクラスが良いと思う。子ども同士で合わない子もいると思うので2クラス以上あればクラスを離すことができ、かわりも少なくなると思う。勉強が苦手な子を差別してグループでの離し合うときに苦手な子の意見を聞こうとしない生徒、児童がいた。子どもが学校を選べると良いと思う。授業参観でその姿を見たときにびっくりした。同じ中学校に行くことを不安に感じたので。
- 一小の学童だけなぜあんなに遠くて古いのでしょうか。最近では2小の学童は新しくしていた。一小も公民館のスペースに新しく建てたほうが良いと思います。
- 避難所としての機能への備え。地域住民も活動できる共有の場。
- 少子化による統合は、仕方ないにしても、それ以上に若者の定住を進めて行けば、少子化によって1学級や統合を防げるのではと思います。施設の老朽化は、建て替えもそうですが、子供達が有意義に使っていただければ、良いと思います。
- 小学校は、出来れば少人数でも、地域の近くに複数あるのがベストだと思う。中学校は、部活等の事を考えると、1校とし、1学年のクラス数は、増やしたほうが良いと思う。いずれにせよ、バスなど通学の問題は出てくる。
- ある程度的人数があつまることで学習面だけでなく、部活動の幅もひろがるし、人との関わり方や、色んな人と出会う事ができるので小→中になっても、クラスも、人数もかわらないという状況より、バスなどを使って、新しい環境にしていくこともいいと思う。クラス替えなど無いと、あの人はこういう人、あの人は合わないなどはじめの印象がずっと続いたり（例えばいじめなども・・・）と思うのである程度的人数、クラスは必要かと思う。現在、人数不足で大会に出られないという事もあるので・・・。
- 部活動（ある程度人数があつまるように）
- 学区割を変更するのに、昔ながらの確執や、土地がら等は、考慮しないでいただきたい。学校からの通学路や距離で決定すべきです。これからの子供たち優先で親、地域はその次でも、良いと思います。1人の権力者の意見が通るのはやめてほしいです。
- RC造にする。木造×
- 現在の学校数のまま改修するのであれば、生徒の人数に応じた予算組をするべき。人数が少なく、使用する教室数も減っているのに全ての学校に同じ予算を使い、同じ様な改修は必要ないと思う。
- 余中と立中の併合

	<ul style="list-style-type: none"> ● 大人になるまで沢山のひとと出会い学び、失敗し…ところが我が子かわいさに自分都合な意見を多々申す保護者がいるもので、学校側も気を使わなければいけない状態が腹立たしくもあります。色々あるかとは思いますが、古い校舎を長く長く修復しながら使うのも良いと思いますし、子供は大人が思うより従順していくんじゃないかとも思います。 ● 少子化によって生徒数の減少は致し方ないと思うが、学校合併も含めて子供達の活動が制限されないようにしてほしい。 ● 少子化による児童、生徒の減少と、限られた財源を考えると、問8の2問は(2)を選ばざるえない状況であることは明らかです。ただこれは教育委員会単体での選択、回答なのではないでしょうか。町全体として、税収を増やすために産業の誘致、起業、就農支援、移住者の受け入れ等をもっと積極的に行うこと自体が不足していると思えてなりません。また、近隣の酒田市、鶴岡市、三川町等と比較して、”庄内町での教育が1番充実してるよね”と思われるような施策を取り入れるためのアンケートをとった方が、庄内町の教育委員会にとっても町政にとっても有意義な内容になったのでは？と思うと残念でなりません…。 ● 通学時間、通学手段 ● ・統廃合時の登下校（スクールバス）対応、ルール（運用）・多様化する児童、生徒に対応したハード整備・対費用を全面に押し出さない・通学路の安全対策・個の尊重を加味しながらも適性な集団規模の確保
第二学区	<ul style="list-style-type: none"> ● 20代、30代の結婚と子どもの一世帯の人数をふやすためには、親たちの収入を増やさないといけない。 ● 立川、狩川方面の少子化が顕著な為、統合する場合のしわよせに配慮が必要。冬期にかかわらずバスを利用できるようにする。学校の配置を考える。統合時の立川・狩川の子のクラス分けの配慮。 ● 通学距離や学区編成など難しい点が多いと思うが、大人の都合で安心安全や快適に学習できる環境を失うのは最も避けたい点なので、現在の体制の維持は不可能だと思うのでゼロベースから考えてお金の使い所を間違えなければ良い教育環境は作れると考えます。（例えば学校数減少分を通学環境向上に充てるなど） ● 子ども達がのびのびと過ごせるような学校であれば良いなと思います。 ● 小学校の学区割を再編成し学校数を減らす(1～3小学区を2つに分割する等) 小中一貫校を設置 ● 子どもたちが通学・学校内での生活において安全に過ごせることが第一だと思います。予算や人数の調整などいろいろ検討課題はあるかと思いますが、子どもたちの命が何よりも大切であると思いますので、その点を特に配慮していただきたいです。保育園の送迎や通勤時に車を運転しているとあまりに危険な箇所が多いと感じており、子どもを徒歩、自転車で通わせるのは怖いです。老朽化についてより安全なほうを選択してください。 ● 保育園から幼稚園に入園するシステムですが小学校入学まで保育園でも良いと思います。（少子化ならなおさら） ● 1番は子供のことを考えることだと思います。すべての学校を建て替えるというのが1番安全なのかもしれませんが生徒数が減少しているなら重点的に建て替えが良いと思います。それによって通学時間が長くなる子供がいたらバスの運行などをしていただきたいです。 ● 少子化でだんだん児童も減るので4学区あるところを2学区くらいまで減らして小学校を合併するのもありなのではないかと思います。4校建て替えとなるとかなりお金もかかりますし2校に減らし子供達がより快適に生活できるようにしてあげたいです。 ● 児童たちの生活のしやすさや学べる環境 ● マイノリティに配慮した学校を。リモート出席など多様な学び方を受け入れられる環境であると良いと思う。古くからの「学校はこうあるべき」という考えは捨て、新しい考えのもと子どもたちに学んでほしい。 ● 家族が住みやすいまちづくりを迫る。 ● 少子化でだんだん児童も減るので4学区あるところを2学区くらいまで減らして小学校を合併するのもありかなと思います。4校建て替えとなるとかなりお金もかかりますし、2校に減らし子どもたちがより快適に生活できるようにしてあげたいです。 ● 子どもが安心安全に勉強できる環境づくりが大切だと思うので、速く決定すべきだと思います。学区割も大切だと思う。 ● 子どもは欲しいのですが金銭的に不安はあります。

- 子どもの通学時間
- 通学時間、距離の考慮。庄内町というくくりだが、まだ立川は別という感じがあるように思う。（中学校を選べつとか）
- 親の負担を減らして欲しい。周辺の市町村では園からの連絡や写真の配布等アプリで管理している園が多数の中、庄内町ではまだプリントを配付している。子どもたちの勉強法も変わっていく中（タブレット学習等）学校の決まり事で簡素化できる業務やルールがないのか見直して欲しい。子育て世代にやさしい町を目指すのであれば、夫婦共働きが多い中そういった負担を減らすことも考えて欲しい。もっと子育て世代が住みやすい町になれば少子化も少しは緩和されるのでは？私は、園の決まり事ルール等での提出分、用意するものが多いと感じるのでもう一人子どもを産もうという気持ちにはなれないほど負担です。
- 学校数・学級数に加えて各学級の人数も検討してほしい。多すぎず少なすぎず担任の手がかかるようにしてほしい。市町村の財政状況等により、子どもの教育環境に差が出ることはよくないと思うので、優先的に取り組んでほしい。何かあってからでは遅いので安全な校舎を与えて欲しいです！
- 大切なのは意欲ある良い先生がそろい、子どもたちがゆとりのある安全安心、清潔な建物で学習でき、パソコン英語といった将来必須となる知識や技術の学びができること。そして多くの友達や仲間を作りケンカしたり仲直りしたりしながら、たくさんの思い出を作してほしいと思います。
- 統廃合による1学年当たりの適切な人数、学級数の設定
- 少子化なので、全面的に改修してお金を使うのではなく、必要などには改修をし、子どもたちの未来のためにお金を使って良ければ良いと思います。これから子供が増えることは考えにくい。
- 生徒数の減少、施設の老朽化は問題だが、子どもたちが社会に対応していける設備の投資を優先して欲しいと思う。今の時代、いろんな職種があるので、小さいうちから学校でもコンピューター等の機器に触れさせて、いろんな知識を積み重ねてほしい。（デジタルの危険や不安など、子供に降りかかるであろうことなど、学校でももっと教えてほしい。今学校でも行なっていること以上に）
- 少子化により、各市町村で学校統廃合が進んでいると思いますが、今、自分の子供のクラスは36名で1クラスですが、とても教室が狭く感じます。（コロナ禍により広めに間隔を取っていることもありますが）また、週休2日制のなか、5日間の学習はとても進むのが速く感じることもあり、多人数に対して、担任1名では、とても対応しきれていないような気がします。今の子どもたちは発達障害も多く、ひとりひとりに適した対応も必要と思われ、少人数で深い関わりの中、教育して頂きたいと強く思っているところです。また、複数の小学校から、中学校で出会うことでの仲間づくり、心の成長も私の人生経験上、とても大切な時期だったと思います。今の子どもたちにも、人数が少ない中でも、友達との出会い、先生との出会いなど必要な時期に必要な経験をさせてあげたいと思います。
- 施設の環境整備、教職員の生徒人数に合った十分な人員
- 少子化で子供のやりたい部活動に制限がある。やりたいものをさせると親の負担も大きい。少しでも改善できる環境になればと思います。
- どうやって子供を増やすか。
- 少子化だからといって子どもたちが使うものを削るのはやめてほしい。将来日本を背負っていく子供たちが困らないように精神面、勉強面などを十分考えていただきたいと思っています。一人一人の才能を伸ばして成長できる学校づくりを期待します。例えば小学校の内から1教科専門的な教科を（いくつか選択できるように）選んで、勉強して資格を取るなど。
- 学校は統合していく方向に行くと思うが、通学方法には配慮してほしい。1クラスの人数は、現在の適正人数マイナスα位で。
- 少子化による学校数減は仕方がないと思う。一つの学校の設備を充実させた方が将来的にいいと思う。
- スピード！耐震改修のときも同じ話題になった。いつ、新しい学校はできるのか。
- 学校数を減らす等して、重点的に建て替えを実施した場合、不満を訴える人が出てきますが、財政面から考えるとやむをえない選択になるかと思っています。そのため、いかに不満を減らすかが大切になってくるとも思います。
- 1つのクラスの人数は少ない方が子どもたちも発言力や個別性を発揮できると思う。様々な

体験もできる環境も必要と思います。

- 中学校もすべて一つにする。(中学1つで良い)
- 通学時間が長いのは大変。徒歩15分以上はバスなども検討。
- 少子化はどこでも大きな問題となっているので、難しい問題だが、どれだけ食い止められるかが大事だと思う。(幼稚園も3年保育にする。何かあった際の子育て支援を手厚くするなど)そして、今後も少子化は進んでいくと思うので、何十年も使う校舎は学校数を減らして、建て替えをしていった方が良いと思う。その際、もう一度地区の区切りなど見直していった方が良いのでは？(響ホール裏の地域の人たちは2小の方が近かったりする)
- 通学方法、時間
- 施設の老朽化問題には現実的で無理のない答えを出していただきたいと思う。少子化の反面発達障がい児(と思われる子どもも含む)から起因するクラスのトラブルは増加しているように思われます。教員や支援の先生方のスキルアップが求められるように思います。
- 通学時間→学校までの距離も考えての町外からの移住でした。例えば余目中へ徒歩で通学の生徒も生徒数が減り自転車置き場のスペースがあるのであれば町内希望制として自転車通学が許可してもらえたらありがたい。
- 児童、生徒の安全。のびのびと学習できる環境整備、少子化であっても、手のかかる児童は増えていると聞く。講師、特別支援学級講師、学習支援員など支援する側の人数は増やして、手厚く指導し学力を定着させてほしい。
- 中学校は統合できれば多様な価値観に触れるという観点からそれが望ましいと考えるが、送迎に関する問題がネックになるものとする。実際は、中学校は全面改修かと思っています。
- 子どもたちが快適に過ごせる場であると良いなと思います。
- 学校がなくなると地域に活気がなくなると思う。今の数はあってほしい。改修といっても立派ありきでなくとも教室数も余裕を減らして作る等して程よい大きさがあればいいと思うが。余目の作る建物はすべてが半端な感じがする。必要最低限な大きさという考えではなく平屋で大きく作る。凝った作りにならないで大きく作る等、少し知恵を出して欲しい。皆が”さすがだな”と言ってしまうような考えを出して欲しい。
- 少子化が進んでいくことはしょうがない面もあるので、その中で教育レベルの向上が絶対に必要と思う。学校を統合してある程度の生徒数を確保したうえでITや金融教育を行って町としての教育に特色を出していくべきだと思う。
- 学校は同年代の子たちとたくさん関わり学べる場です。少子化が進むと見込まれているならば、小学校の数を減らして欲しいです。
- 少子化はこれからも進んでいくと思います。現在の校舎だと子ども達は古くていやだ、虫が出る。等と不満を漏らしています。子どもたちが安心安全に学べる場所を早急に検討してほしいです。近隣の市町村でも統合はしているので、統合しても問題ないと思います。小学校数が少なくなれば、中学校まで一緒というメリットもあります。クラス数も多くなれば苦手な子と一緒にいる確率も低くなります。少人数の良さもありますが多数の良さもあるので統合に賛成です。
- 合併することで歩いて登校するチャンスが失われる。歩く距離は課題があるにしても歩くことも学ぶと思う。少子化の年代が教師になるわけで指導側の課題もあると思うので改修は慎重に判断してほしい。
- 小学校余目町内2校程度、立川1校(四小とドッキング)※希望地 町の中はなくなったので、町に近い校外(響ホール近辺病院付近、向陽台奥、払田と島田の間等)※スクールバスの完備、学童併設
- 生徒が安心・安全で学習、スポーツに向かえる環境、施設。ゆとりある学習に向かえる支援。
- 多少の統廃合は必要と考えるが、あまり長い通学時間はこどもの負担になる。学校の老朽化に関しては、子どもたちの安全のためにも早急に対応が必要だと思う。
- 子供たちの意見
- 大きくしすぎて子どもたちに目が行き届かなくならないようにしてほしい。
- 少子化を理由に学校を減らすと逆にゆとりがなくなるのではないかと心配になります。(教員数やクラス数)
- 子どもの通学方法(スクールバス、自転車通学)に対する配慮
- 理想としては各学区ごとに小中学校を建替えまたは全面改修が望ましいが、財政や今後の少

子化のことを考えると学校数や規模を縮小して運営せざるを得ないと思う。その際、遠方の登校になる部落に関しては完全バス通学にしてほしい。また各学年のークラスの人数を現在のような36人に教諭1人ではなくもっと少人数にして1人ひとりに目を向けてもらえるような人事配置にしてほしい。（個別に配慮が必要な子もいるため）

- 三川町の小学校の多くは、建物自体が魅力的で学校の周辺の道路も広く安全そうです。二小の周りは道路が狭く保護者用の駐車場もなく不便です（まちづくりセンター駐車場も離れていて）。第一～第四→2校位に減らし（一小+三小、二小+四小でいいと思います）、広い校外に建替えませんか。災害時の避難もしやすくなると思います。
- 児童発達支援センターを作ると町長は選挙のとき書いていたが、いつできるのかそっちの方が先です。恥ずかしい限り。
- 子供達への負担にならないような学校づくりをお願い致します。うちも3人通わせて頂きました。ありがとうございました。
- 少子化が想定されるため
- 学校数を減らすのであれば通学時間、方法について検討してほしい。
- 統合するしかないと思います。
- 子供達が快適に勉強、部活ができる環境を整えてほしいです。生徒の人数が減っているので、今現在ある学区割などは気にせず、適正な人数の学校にすればいいと思います。
- 登下校の安全性に配慮をお願いしたいです。
- 社会に出た時のことを考えると縦のつながりは重要だと思います。それを学べるのは中学での生徒会活動や部活動だと私は感じています。できれば、体育館やグラウンドなどは現状維持できたら良いのかなと感じています。
- ・建ものを減らし、小学校、中学校を一つにまとめるといい。 ・現在、小学校、中学校で目が行きとどいていない状況なため、小、中がお互いいいしげきがあっても良い。 ・もう少し先生を増やして、しっかり先生と保護者などいろんな視点でみてほしい。
- ・施設のバリアフリー化 ・統合になった場合の子供達のケア等
- 学校を減らすという事はバス通学者が増えるという事になる。バス適用地区、バス財源等は慎重に決定する必要がある。
- 安全に通学、とにかくリスクを少なく、元気に学習出来る学校であればよいかと思います。自分の頃とは違って家から一緒に学校に行く子はおらず、町中まで20分もひとりで自転車、しかも田んぼだけで車はスピードが出ている自転車が渡ろうとしていても止まってくれるはずもなく、自分が気を付けていても事故や事件にまきこまれる事もありうると、いつも心配しています。ちなみとなり村はスクールバス通学、何かおかしいと思います。
- ・地域住民の意見を聞くこと。 ・学校は地域づくりの拠点であるため、これがなくなることは地域づくり、まちづくりのあり方そのものに関わってくる。
- 新たな固定資産への投資は今後の施設の維持管理費も含めエンドレスになる。施設の統廃合を進めるとともに、これまでのサービスを低下させない様に新たな施設の建設にこれまでの人材を投入し、地域への投資は減らさず庄内一の学習に対するサービス向上。
- 学校施設だけではなく児童の安全、安心な登下校を第一に考えてほしい。
- 予算だけにとらわれないで欲しい。子供達にとって最善の学びの場を広い意見を聞いて熟考してほしい。
- 子どもたちの未来の投資であり、子どもたちが明るい未来を自律的に自主的に捉えていく力をつければ、統廃合でも、建て替えでもいずれでも良いのではないかと思う。遠い場合はスクールバス（またはオンデマンドタクシー）にするなどの方法で対応。
- 学校数を減らすことを前提にすれば、設置場所については熟慮が必要だと思う。通学手段としてスクールバスが考えられるが、すべて無料ではなく受益者の負担があっべきと思う。
- 通学に関して遠くなる可能性が高いため今の許可している距離よりもバス通学の範囲は大きくしてほしい。夏は徒歩、冬はバス通ではなく、どちらもバス通に。長距離の小学生の徒歩は行き帰り様々なことが起きやすくとっても心配です。（いじめ、いたずら、寄り道、犯罪）
- 小学校中学校ともに統廃合が必要な時期に来ていると思います。特別に支援の必要な子に対する加配や適正な環境（音をさえぎれたり、板書が困難な特性を持つ子へのタブレット使用等）を整えてあげられればいいなと思います。先生方の負担も軽減しなければならないので、

部活動は外部へ移行していてもいいと思います。

- 学校統合した場合は教師の数を減らさないでほしい。
- 少子化ではあるが学校数を減らして通学時間が長くなっては子どもの負担が大きいの、通学時間が長くないようにする必要がある。小学校、中学校ともに荷物が多すぎです。中学生の荷物を背負って20分以上歩いてみてください。腰痛になります。
- 小学校の統合
- 立川は小学校でマーチングバンドがあるのに、中学校で部活がないのはもったいないと思います。ほかの部活も生徒数が少なく続けたくても続けられず、あきらめなければいけない部活もあるようです。余中・立中一緒に活動できればもう少し、自分が希望する部活に入れるのではないのでしょうか。
- 老朽化に伴う危険性減らし事故防止・防犯対策の面でも安全性の向上につとめる事。少人数授業、グループ学習、学年一斉授業、異学年交流等、多様な学習活動に対応できる事。
- 建物も大事だと思いますが、そのためにどうするかではなく、部活、学習すべて考えて欲しいです。余中、学習面は無理なく丁度いい環境です。が、部活はチーム組めない部活もあり、県大会にいけないところもあるそうです。合併したら学習面衰えたら困ります。社会に出たときにやっていける子供になってほしいです。
- 学校数減少した場合の通学方法。教員の人数、統合して減らされると教員1人の負担が増えるため。
- 地区に学校がなくなると、子どもを持つ世帯が住みづらくなるため子どもが少なくなる。また学校を1つにすると若い世代が学校がある地域に集中してしまうと思われる。今後の町の財政を考えると今の小学校の数を維持するのは難しいと思うし、かといって学区再編するにしても話がまとまらないような気がします。できれば今の小学校の数を維持できればいいのですが。
- 現状、子どもが分散していることで、スポ少や部活を含めた学校活動が非効率。子どもが望む活動ができないという事が起きていると思う。子ども達のことを一番に考える必要があるのでは。学校を集約し効率的な運営ができると良いと思う。
- できるだけ多くの町民に参加してもらおう取組が必要。そのためには多職種、多組織がつながる機会を増やし連携していく雰囲気、環境づくりがまずは大切だと思います。
- 子ども達の可能性を広げて、縛りすぎず楽しい学校生活を送れるようにしてほしいです。各学校良いところがそれぞれあると思います。良いところを集められる統合ならやった方が良いでしょう。
- 小学校は地区内だが、中学校は魅力ある教師や部活動がないと、外部（県内、県外）への流出が今後増えていくと思う。庄内町は、子育て日本一を掲げているようだが、子供第一というより予算や教師の働き方といった所にばかり重点を置いていて、子供たちがやりたい事を思いっきり出来ているのか疑問である。ここで子育てしたいと思える環境を大人目線ではなく本当に子供のために考えてもらいたい。
- 自然災害に強い学校。子供達がすごしやすい学校。
- コスト等考えると小学校は2校程度。中学校は1校にしぼり、その分厚い教員配置、PC等1人1台の充実した設備投資を行うべき。
- 合併することで、人間関係が心配なので、学校数は、このままが希望です。スポ少で、他学校との交流がありますが、イジメなどもあるので、しっかり向きあってほしい。
- 今の時代に合った、学校づくりを目指して欲しいです。庄内町（余目中）は、グラウンド、体育館が2つあり、恵まれた環境なので、この先も、のびのびと運動が出来る場所は、維持して欲しいです。
- 通学方法について、きちんと納得のいくきまりを示してほしい。立川と余目と差が生じている。今の形には納得がいかない。冬季のバスについても同様、特別とするならば全町民に理由を示してほしい。
- 地区・学区にこだわらない学校区の再編。一町二中学校の生徒数の均衡。通学時間と親の送迎に適した駐車場等の確保。
- 通学への配慮が必要だと思います。
- 小、中学校の建て替えを検討するなら、特別支援学級や療育に対応できる校舎にしてほしいです。普通学級に支援が必要な子がたくさんいて、困っています。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 四小は、かなり前から生徒数が減っていると思います。立小か二小に分けてバス通学にした方が良くと思いますが、旧余目町なので、当事者の方達は、どう思っているのかは分からない所ですが、議員さんの方々も四小学区の方々が多いため、議題にあげるべきだと思います。 ● 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、同学年が多人数の環境下で、多くのことを学び、認め、支えあうこと。
<p>第三学区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1クラスの人数、登下校のバス ● 安全な通学路の確保 ● 安全性（耐震化、バリアフリー化）教育環境の充実 ● 学校数を減らした場合、先生たちの役割がさらに専門性や児童へのケアなど、先生の労働面も良くすることに繋がらないだろうか。仕事に余裕ができれば子供たちに向ける学びの時間にも密度をあげることができ、スキルアップの時間にも使うことができる。 ● 父親です。〇〇として小学校を訪れますが、自分が子供の頃に比べて児童とクラスの減少を感じています。上記のアンケートの通り、学校数を減らし遠くなる地域ではバス送迎を行う等が良いのかなと思います。また、根本が庄内町の少子化にあると思うので若者世帯が移住しやすい町づくりを望みます。子育て世帯の負担をなるべく軽減してくれるとありがたいです。 ● 庄内町の学区ごとに幼稚園、小学校があるというのはすごく良いことだと思うので（子供達も友達を作りやすかったり、親同士もなじみの関係になれる）そのままだと良いと思う。鶴岡市内の子供達だと、小学校でなかなか友達ができないや色々問題もあつたりするので。将来の人数を想定して小規模な建物にするのもありだと思う。子供達にとって友達との関係、過ごしやすい環境であることが1番であると思います。 ● 学区が広くなり通学距離が長く・・・という心配もあるが、スクールバスで対応できる場所もあると思うので、人との関わりを重視してほしい。 ● 少子化で子供が少なくなってきたので全ての小中学校を残して改修して維持するよりは学校を合併してみてもよいと思う。 ● 適正配置場所。 ● 施設等の快適さや利便性も大切かとは思いますが、何よりも教職員の育成、増員に重きをおいていただきたい。 ● 余目と立川を1つの学区にするのは距離的に無理があると思います。現在の中学校の区分が小学校と統廃合するにしてもギリギリのラインだと思います。町民感情にも一挙集中するにはまだまだ壁があると思う。 ● 昔の庄内町の様子しか知らない方ばかりで話し合うのではなく、今、子育てをしている方、これから子育てをする方、今学校に通っている子たちの意見もどんどん聞いて出た案をもとに決定権も町民にほしい。 ● 子どもたちがのびのびと学べる環境、広さ、温度など。 ● 同じ町内なのに老朽化で、できないことできることが各校でばらつく不公平になるので、なるべく公平にしてほしい。雪の影響による登校のしづらさを考えてほしい。 ● 学校数を減らし新しく建て直す学校は、しっかりと設備を整えてほしい。 ● インクルーシブ教育を行ってほしい。行える環境を整えてほしい。 ● 今は学習室で勉強している子も多いので、みんなに合った学習の場を希望したい。 ● 子供達が安全に学校生活を送れるように老朽化が進んでいる所を早めに直してほしいです。 ● 子供達が安全に学校生活を送ることが大事だと思います。 ● クラスを増やし、先生を増やし、すべての生徒と向き合える環境を作って欲しい。接し方が上辺だけの様な気がする。何か起きて、保護者に電話して済ませているように思える。実際は色々考えてもらっているのかもしれませんが、そこまで感じれません。 ● 子どもたちの環境変化 ● 親の負担を減らすor増やさないこと。学校数を減らすことにより送り迎えのことや今後温暖化で登下校もキケンが増えることもあると思う。町民みんな無料で使える循環型バスとかがあれば高齢者も使いやすく免許返還もしてくれるだろうし、人が集まる？今酒田にくらしている子育て世帯や夫婦からも庄内町色々いいねと言ってくれるので、その声を大事にしてほしい。私もうれしいし、誘っています。頑張りましょう。いい町へ。

- ・子供がのびのびと、不便と感ずることがないようにしてもらいたい。（学校数を減らすにしても、そのままとしても）もし、学校数が減ってさらに登校距離が長くなるようなことがあれば、冬期のみでなく常時バス対応にしてもらいたい。・できれば、学校数を減らしては欲しくないが減ったとしても、学級数を増やして不便なことをないようお願いしたい。
- 子育て支援日本一とうたうならば、子供たちの意見をどんどんとり入れてほしいです。閉鎖的な所があるように感じてしまうのはなぜでしょう…町外からくる方々に温かい目を向けてほしいなと思います。もっと外へ目を向けられる視野の広い子どもがもっともっと増えますように。
- 冬期間のバス通学を12月からではなく、11月からにしてほしいです。11月に入ると風が強く、天候も荒れることが多いので親としては安心して登校させたいです。
- 生徒数が減少する事で学校を減らすと、通学時間が長くなる事で子供の負担を増やしたくない。少子化のため、建て替えをするのであれば、教室数を少なくしたり、規模を小さくする等、検討してもらいたい。
- 小・中学校は子供達が勉強や社会性を学ぶ為の場である事から。校舎の安全性、人間関係、勉強を含めた学び易さを特に考慮する必要があると思います。
- 子どもの学びの保障
- 10年後、20年後の児童数の予測。校舎は新しいのに児童が少ないから閉校ということになるともったいない。
- 支援学級の子の学童施設の設定
- 統合について、可能であれば今の学区数、状態で維持して頂きたいです。共働き、核家族なので自宅から離れた所に小学校や学童があると負担増になると考えるためです。
- 少子化に合せた改修を希望します。少人数に対応した教室や設備をしてほしいと思います。無理に立派に改修しなくとも、小さくとも安全で子供達が学習しやすければそれで良いと思います。
- 小中学校は学習だけでなく、人との関わりなども学びます。財政健全化に重点を置きすぎて、1人1人の学習や心、人間関係に目が届かなくなるのは避けてください。1人1人を見守ること、育てることに対しての投資でもあります。単に建物に対してのみの投資ではありません。合併することで通学に時間をとられ、本来ならばその他の活動にあてられる時間が移動時間に変わることで、子供たちが様々な体験から得られる学びをうばうことのないよう配慮下さい。
- 生徒数の減少、建物の老朽化を踏まえ、もし、学校数を減らすのであれば、通学時間も増えるので、バス通の範囲を広げてほしい。また、通学路も危ない箇所が多い。（信号がなく、交通量が多い、歩道がないetc）道路整備も視野に入れてほしいです。
- 長年の学区編成にこだわらず、今後のこと、財源のことをしっかりと考慮し、検討していくことが大切だと思います。例えば4小と立川小を合併するとして、地域の方の中には「ここは余目ののに」「立川なのにな」とこだわる方もいると思います。そこを柔軟対応していくことが必要であり、地域の方ではありますが、高齢者の意見より子育て世代の声を聞いて欲しいです。もちろん説明は必要だと思います。そして、実際にすごし、学校生活を工事で大きく左右される子どもたちへの配慮を希望します。
- 当学年はクラスは1つだが人数がたくさんあり、教室にぎりぎりである。保護者として人数が多くなると先生の目が行き届かなくなるのではないかと心配してしまう。授業にもばらつきなどでそうである。
- 少子化はもうどうしようもありません。少人数での教育を充実できる環境にさせていただきたい。昔よりもいじめやコミュニケーション不足等の問題解決も多様化している為。空いている教室等を利用し、カウンセリング等できる場所もあるとよいのではないかと。
- 上の問いでは学校数を減らしてとしましたが、庄内町はたてに長く、冬季通学は吹雪でバスが遅れるなど、大変な面もあります。今の旧町のくくりを見直すことも考える時期かもしれません。その際、住民等の意見をきくための会も開いていただきたいと思います。
- 支援学級、ジェンダーなどの配慮。ちゃんとした性教育。
- 町の財政の出せる範囲の中での都合ではなくて子ども達のためにはどうするのがベストかという視点でやってほしい。
- 児童、生徒数の減少を考えると学校の統廃合は必要になってくると感じる。そう考えていた時に地域の広さから通学といった点で距離の問題は必ず配慮が必要になってくると思われ

る。施設の老朽化については、費用面での問題があるのは理解できるが身体面で障がいのある児童生徒も地区の学校に通うことができる環境を整えていただけたらと思う。(その子ども達も将来的には地区で生活することを考えるとこの世代の時間の共有は大切かと思っているため)

- コロナ時代になり、子供達が体力、学習力が弱くなっていると思います。なので、学校では、いろんな遊び経験を多くとってもらい教育環境のいい広びろとした学校整備をしてほしい。
- 公共施設の適正化を考えると、学校の統合はやむをえないと考えるが、小学校については地域の密着の度合が中学校より高く、現状の数を減らすことは慎重に考えないといけないと考える。近隣市の状況をみても、小学校のなくなった地域の衰退は著しいものがあると思われる。学校数は減らさなくても、ダウンサイジングして、改修していくと考えてはどうか。プール一つにしても、必ず一校の一つではなく、防災の観点もあるかもしれないが、ランニングコストを考えると町の一つとかにして、複数校でつかった方がいいのではないかと思う。統合ありきの議論にならないようにしてほしい。
- 1人1人の個別性を大切にしてもらいたい。
- 少子化というなら、そもそも保育園が少ないという理由で庄内町から出ていく人もいるため、まずはそこから見直すべきでは？
- このアンケート自体がネガティブだと思う。都会や合併の成功例だけを参考にしている、根本的な解決やよりよい教育環境につながるとは思わない。地域に根づいた特色を生かした庄内町にしかできない教育環境を大人がアイデアを出し合う必要がある。地域の子どもたちは地域で育てていく気持ちを大人が考えることに視点を置くべきだと思う。子どもたちは家の近くで知っている顔ぶれの中、温かく少人数でも明るく育てていく方が幸せだと思う。
- 子育てしやすい町なので、これから未来のある子供たちのことを第一に考え、検討してほしい。
- 学区割り、通学時間など
- 立川地区については小・中の義務教育一貫校のモデルとしてはどうでしょうか。
- ・学校施設の構造建築物耐震強度の検討 ・少子化対策での予算見直し(増額、方針の検討、急務！)
- ・思いきって他校にはない魅力のある学校へと整備していただきたいです。屋内プールや2階建体育館など。多様なスポーツを経験できるように。・少子化ならば、先生方が子供達一人一人に目を向けられると考えます。少人数学級にして、先生方がじっくりと子供達に教えられる環境が良いと思います。今こそ学力を上げるチャンス。学級数ではなく、1学級の人数をもっと減らしても良いと思います。
- 子育てしやすい町づくりや財源確保など
- 安心・安全に学校生活を送れることを希望します。
- ・子供達が安心、安全な環境で学べる設備の設置 ・地域の人達も集える場(コミセン機能の集約)も作って、先生だけでなく地域の大人も自然と学校に関心を寄せるような取組もありだと思ふ ・怪我、事故はあってはならないことだが、子供達の五感をくすぐる遊具や”物”を設置し、安全なこと危険なことの区別を体験(学べる)できるような取組があってもいいと思う。
- 保護者、地域住民の合意
- 児童の少子化で、今までのような広さの学校の必要性はどうかと思います。規模を小さくして、今現在ある学校を生かしていくべきか、合併して学校数を検討すべきか…どちらにしても、子ども達が、十分な環境の中で、一人ひとりをしっかりと見て頂ける学校施設であってほしいです。
- 少子化と思うのは団塊の世代に対しての言葉ではないでしょうか。人口推移の予測は随分と前からわかっていたはずですが。まだ現存の団塊世代の皆様、子、孫のためにできることをしていただきたいと思います。どこの経済を見ても団塊世代の多い人口の為に…の型になっていることに気が付いていないのではないのでしょうか。もっと資本主義の原則に若い人材がやる気を出させていただきたい。
- 立川と余目を一緒にするのはやめてほしい。今より学校が遠くなるのは反対。
- 工事の期間中、短期間でも他校舎へ引っ越しはできないか。(余目一小の工事期間中、1-3年は三小へ、4-6年は二小へ、などスクールバスなどを活用して他校舎を間借りしてでも将来を見据えてしっかりと校舎はお金をかけてでも残すべきだと考える。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校数を減らすと学校までの距離が長くなってしまふのはどうしようもないと思うので、バスや雨の日の送迎等、いろいろ課題はあると思いますが、地域や家庭で協力できることは協力したいと思っています。 ● 建て替えに多額のお金がかかること＝良くない事ととらえず、新しい設備による質の良い教育を子どもたちに施して欲しい。町内業者にも恩恵があると思う。 ● 生徒のことをきちんと見守れる環境 ● これから先、中学校へ進む現幼小の保護者の意見を第一に考え、子どもたちにとってできるだけいい環境で進めてください。そのための費用や労力は町民全員で負担する。子育て応援日本一になるように、町議の方たちも当選したらきちんとやってください。 ● 審議会で検討している事案について、その内容や進捗状況について、定期的に広く町民や、保幼小中保護者へ知らせていただきたいです。決定事項だけを一方的に知らせるのではなく、検討段階でどのように話し合いが進んでいるのかこのアンケートなどがどのように活用されているかなどなど、自分事として捉えてもらえるような進め方を期待しています。 ● 生徒一人ひとりに目を配れるような先生方の配置にしてほしい。学力の差やいじめ問題などに配慮してほしい。 ● 少子化に伴い学校数を減らし、その分環境や内容を充実させるのは良いと思う。学校数が減ることで通学が大変になる子供も増えると思うので考慮してほしい。 ● 生徒数が減っているから大丈夫と考えたのか知らないが、老朽化をこれだけほっといたのかと、検討するのが遅すぎる。そもそも新しい役場にお金かけすぎ。なぜ、このお金で先に学校を建てかえなかったのか。庄内町国保、住民税高い。これ以上上がったら庄内町に住めない。このお金はどう確保するのか。お金があるなら早急に対応して結果につなげるべき。当然ながら、子供達の身の安全と、学ぶ環境に配慮する必要がある。検討して動かないと意味がないので、ぜひ行動にうつして下さい。 ● 未来の教育活動に対応できるように教育環境を充実させていく事は、とてもいいと思います。ここ数年コロナによって、今までの教育環境を新しく変えなければならなくなったので、学校関係者の方々は、本当にご苦労されていることと思います。いつもありがとうございます。学校施設の老朽化が進行している状況は、学校に通わせている保護者としては、安全面に関してとても心配なところです。（地震や大雨など）特に配慮する必要があることは、子供たちだと思います。子供たちの変化や様子、多感な中学生活、環境の変化があったなら、生徒1人1人変化見てほしいです。保護者である私も同じ事言えますが。 ● 20年くらいで建て替え易い低予算の学校でもいいのではないのでしょうか・・・。（人口が増えても減っても同じでもその時に合った建物で替えられるように） ● お互いを認め合って学び合える場を確保すること。子供にも財政や人口減少について考える機会とすること。施設だけでなく、学ぶ内容に軸足を置いた対応。 ● 子どもが少なくなるのは確実、町内で長時間通学などにならないようにしてほしい。小中一貫校なども検討できないか。 ● 通学時間が長くなるということは、子供たちの生活を大幅に変えることになる。家を早く出て、遅く帰るということになると、睡眠時間、学習時間、自由時間、習い事など、時間の確保が難しくなるし、生活のゆとりがなくなるので、安易な合理化で学校の統合やバス通学はして欲しくない。 ● 通学時の安全を確保できる。 ● 通学が困難になる家庭への対応をどうするのか。
<p>第四学区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 少人数学級にも良いところは沢山あると思うが、その限られた児童の中で自分の居場所を見つけれなかった時を考えると、ある程度人数いたほうが自分の思考が合う人を作れるのではないかと思います。長い学校生活でただの同級生ではなく友人を一人でも多く作って欲しいと思います。 ● もし、学校数を減らすことになったら旧立川町、旧余目町は一緒にしないでほしい。別々に学校を建ててほしい。 ● 庄内町の学校でもある強み、ストロングポイントを捉えるべきでは。現住民の子だけでなく学校施設のストロングポイントで他市町村、県からの流入を狙ってはどうか。庄内町の魅力向上にも繋がるのではないだろうか。 ● 自宅から遠い生徒に対して不自由のないバス等足を用意できるといい。デジタル化か置き勉を可にして荷物を減らし通学の負担を減らせるといい。

- 少子化、生徒数の減少→余目町内のアパートや新築建売などをもっと増やすと町外からの人がもっと庄内町に来てくれて人口も増えると思う。学校の老朽化→建て替え、修理を全ての学校一つ一つにしていくと、とても多くの金額がかかるのは承知の上ですが、それで2つの学校を1つに合併する、というのには反対です。だったら一つの学校全ての建て直しや修理の方が良いと思います。
- 様々な意見があり全ての理解を得ながら決断するのは難しいと思います。児童がよりよく教育を受けることができる点に重きをおいて検討していただきたい。
- 大きな学校ではなく小規模でも生徒一人ひとりに目が行き届く学校であってほしい。なるべく近くがいい。
- 小学校6年間1クラスでなく、2クラスあってほしい。中学の場合、長期休みの場合のスクールバス、部活動の場合あってほしい。
- 「子育て日本一」をかかげていますが、幼稚園はまだ未就学児なのにあんなに冷える建物は生まれてはじめて訪れました。すぐに立て直しをしてあげてください。酒田市は日本海病院の病児⇄保育園の無料送迎や看護師が病院で診察また付き添ってくれる制度があるのに、庄内町にないのが不思議。
- これから庄内町がこれまで以上に発展していくために何が重要かを考えることが大事かと思えます。子育て日本一を掲げるならもっと重点的に政策を進める必要がある。もっと役場職員がきめ細やかに仕事をするべきだと思う。
- 子どもたちの安全と生き生きと生活し学べる場で会ってほしいという願いだけ。
- 審議会に関わる方は、なるべく現役の子育て中の方や、小中高高校生であってほしい。コロナうんぬん関係なくこれからは毎日学校に行かなくてもよい選択肢（リモート授業）も設けてほしい。
- どの地域においても、現在の小学校が地域の中で重要な役割を果たしていることは事実としてあると思います。人口減少は今のところ避けようのないことで、効率化を図っていく必要があることも理解できますが、統合などの際、廃校となった建物の活用という問題も新たにあるだろうと考えます。現在の学区（第四）は市街地とは言えない立地上、学校でなくなったら一体何になるのか？何も無い更地？と想像が難しいし、町外出身としてはエリア分けが意見し難いです。
- 学校数を減らして重点的に投資して建て替えが良いと思う。特に古くなった体育館を建て替えたりとか…。
- 子どもたちの希望も聞いてみる。（可否は別として）
- ①通学について、集落が点在している地域では、登校班編成がままならないほど子供の数が減少している。現状でも安心して徒歩で下校することが難しいことを認識してほしい。家に帰れば大人（高齢者）はいるが、一緒に帰る子どもがいないので、学童に行かざるを得ない。学校に相談しなければならぬことがないようしっかり考えて欲しい。②統廃合したときの長所・短所を明確にして、短所をどのようにカバーしていくのか、具体的に示すと理解を得やすいのではないかと。③統廃合するにあたり、学校経営の折り合いがつかない、教員の負担が増えるということがないように、また、学校の約束などが急激に変わり子供たちがついていけないということがないようにお願いしたい。
- 庄内町公民館のコミュニティセンター移行基本方針にもある通り、庄内町の7つの学区地区ごとに、それぞれの歴史や文化がありますので、それぞれの地域のまとまりを尊重し、児童数生徒数の減少から学校の統廃合による経費削減だけでなく、地域に根差した対応を検討していただきたいと思えます。また、「子育て応援日本一の町づくり」を掲げるということも踏まえ、積極的な対応を希望しております。
- 地球規模の災害に対しての安全性第一と考え、心のいじめのない学校生活を送れることと考えます。
- 子どもたちがのびのび体を動かしてストレス発散できる施設は減らさないで欲しい。
- 学校数を減らした時の児童に係る交通費などのことまでわからないと全面改修なのか学校数を減らすのかはまだわかりません。クラスが多い方が社会に出たときに役立つことが多く学べると思いますが、でも学校数が減っても先生数は十分にいてもらうことが親としては安心につながると思っています。
- 体育館の設備内容の統一。ギャラリーを作ってほしい。
- 少子化なので、学校数が減るのは仕方ないことだと思うので、合併もアリだと思う。通学バ

スなど配車してもらえれば、多少遠くなくても構わない。クラブ活動や地域の集いの場として利用できる施設は残してもらいたい。

- 地域づくり、通学距離
- 庄内町は広さがあるので学校数を減らすとほとんどバス通になってしまうと思うし、バスも天候によって遅れたりするのでなるべくなら、学校は近くにあった方が良くと思います。
- コロナや物価の高騰ばかりで、金銭面の負担ばかり増えるのは生活の困窮の悪化につながると思う。
- 1クラスの人数が少なくなったから悪いということはない。むしろ少人数で教員を増やし、一人ひとりへの対応を細やかにして欲しい。多人数でのかかわりは小→中→高→大とこの先いつでも学べる。今しかできない少人数での深い関わりも大切だと思う。学校施設は5校すべて建て替える財源がないし、必要ない。だからとって学校数を減らすのではなく、子どもたちの安全を第一に必要な改修のみで良いと思う。
- 愛校精神をいつまでも持っているのは個人の自由だが、あまりにも閉鎖的で時代にそぐわない困った規則なども「自分の時代はそれでもやったから子どももやるべき」とせっかく意見を言っても無駄になる。小学校区を全面的に変えて欲しい。
- 登下校の安全面、効率、負担減を確保すること。（現在でも徒歩距離が長すぎる印象をもっており不満があります。学童にも預けることにも配慮し、送り迎えの負担が増えないようにすること。今後の児童数の推移を適切に分析し、過剰に校舎を持つことで、税金の負担が増えないようにムダな建て替えが行われないようにご検討お願いいたします。一方で子供が増えていくような魅力的な政策、学校づくりの検討も必要だと思います。
- バリアフリーであればエレベーターなど設置すれば車イスの人やおじいちゃん、おばあちゃん等不自由な方も参観しやすいと思う。統一すると地域によっては通にくい場所も増えると思う。
- 幼稚園から小学校の計8年間を単学級で過ごすことに不安を感じております。子どもの可能性を広げるためにも、たくさんの仲間とのかかわりの中で成長して行ってほしいと願っています。地域の方々の反対はあるかと思いますが、できるだけ早期に統合していただきたいです。
- 学級数が多い方が良くということ、学校数を減らさないで欲しいというのは、矛盾しているのだと思います。統合も避けられない状況になってくるかもしれませんが、学校が遠くなってバスになったら歩かなくなります。毎日自分の荷物を自分で持って、歩いてほしいです。特に配慮すること、という程ではありませんが、1つの意見・親の思いとしてお伝えしておきたいです。
- 残る学校と無くなる学校（＝納得するのか）。通学手段・・・もし統合するなら、かなり遠くなる子も出てくるのではないかと。
- 生徒数の減少により、授業や活動などに制限がかからないようにしてほしい。問8-1(2)とした場合、バス通学になる可能性が高いため、徒歩通学（歩く機会）が少なくなるのではないかと、心配。
- 生徒数が少なく、行事などの開催、友達づくり（同学年）に影響のない環境を整えて欲しい。
- 生徒数、学校までの距離が適当であること。
- 校数が減るとしても新しい学校で他地域の児童と出会うことが出来る。同じ町として地域は違うとしても町の事（地域の）を知ることができると思う。地域差別があるかわからないが、地域性が強く残る庄内町といえるから。その分特別クラスとの交流や児童数が増えることで、考えや思考など多様性があり柔軟な考えが生まれるのでは？と思う。さらに、町中から外れた地域に商業施設等できたら、町中の方も外れの方へ来てくれることもできて交流もあり学校教育のみならず活性化するのではないかと思います。
- 少子化と学校施設の老朽化において、学校数を減らして建替えした場合、通学時間が長くなり子どもたちの自由な時間が減ってしまうのではないかと感じます。財政の健全化を考える必要があることもわかりますが、子供たちの生活や、環境への影響も配慮が必要だと思います。
- 未来に向けた投資、少子化の流れは止められないので収入と支出、維持管理の観点を大事にして欲しい。
- 1クラスの人数が多いと授業中に先生の目が行き届いてないと感じています。学校数を減らして、クラスを増やすのは良くと思いますが、1クラス20人程度で先生がきちんと一人一人と向き合える環境を望みます。特に苦手分野は分からないまま授業においていかれないよう、

分かるまでしっかりと向き合ってもらえる環境になると良いです。

- 場所、通学路の安全性
- 庄内町らしい自然豊かな地域での学び、地域の人々との交流、のびのびと子どもの声が響くような社会と教育の場を大切にしてほしいと思います。
- 適正規模適正配置も重要な要件ですが、一番は通学する児童生徒の意見も重要なのでぜひ幅広い意見を聞き今後検討をお願いします。
- 庄内町は他市町に比べても徒歩児童の通学距離が長いです。基準の場所から学校まで○km以上がバス、と決められているが、基準から自宅までかなり離れている場合もあり、そこを毎日雨風の中でも徒歩で通学しているわが子を見ると何とかならないものかとずっと考えてきました。人数を理由にというよりも老朽化を理由とするならば、安全最優先で建替え、改修を早急にする必要があるので、これを機会に学区の再検討すべきだと思います。その場合通年バスになる地区の基準も改正して頂きたいと思います。（安全第一で）
- 学校数減少はさげられない。充実した教育環境実現が最優先と思われる。学力向上も考慮すれば他県の成功ケースも参考してほしい。
- ・通学時間 ・1学年複数学級
- ・子どもたちには不びんな思いはさせたくないです。（凍結トイレが使用出来ないとか） ・新設備の学校施設の見学などをしたいです。
- 学校の建物規模を小さくしても、現在の学区をそのまま残すことが理想です。ただ、財政の問題もあるので、現実的に考え、学区の割り方を変えていかないのであれば、対象となる家庭への丁寧な説明が重要になってくると思います。
- ◎小学校、中学校共に単学級編制では社会的なコミュニケーション能力を身に付ける事が難しいと思われる。少人数のクラス編制にて、心の成長をサポートし、多学級編制にて社会的能力の構築が重要と思われる・◎将来、過疎化が進み人口減少が予測される中、魅力ある庄内町となります様希望致します。
- 授業料の無料化をお願いします。
- 1度に5校は現実的ではない。5校→4校→1校など、立川・4小は児童もすくないのに加え、3世帯同居が多いので核家族の子より少々おっとりめな気がします。体験的に合同で授業をしたりと交流を深めて1校にする事を目標にしていったらいいのではないのでしょうか？中学校・小学校も余目の総合体育館あたりにもって行き、保・幼・小・中・体育施設、全部が1度にあつまれば、設備費用もおさえられ、充実した教育環境になると思います。
- 学区の再編成（合併し人数調整して欲しい）
- 多様性を受け入れるそれぞれに合った教育ができるように検討して頂きたいです。
- 大人だけの意見ではなく、子どもの声もしっかり聴いてほしい。大人の思っていることと子どもの思いは違うと思います。
- 子どもの数がバランスよくなるように学区の再編
- 耐震性、安全性、広さ（余中を整備してほしい）、全住民の意見も必要
- 第四学区と立川地区の合併が必要だと思います。中学校も同様の考えですが部活動が各校ある部活、ない部活もあるので再検討が必要だと思います。
- 子どもの減少で学校数を減らすのは、先のことなど考えれば賛成です。小学校・中学校に対してもそのようにした場合今より通学距離が長くなる・・となると子どもが大変だろうなとも思う。また親の負担も増えると思うので、慎重に話をして検討して欲しいと思う。学校、子ども、親、地域の方々にわかりやすくたくさん意見を聞いて今後につなげてほしいと思います。
- 行事がある際の駐車場の確保
- 老朽化のため早急な対応。教職員の負担をなるべく減らしていただきたい。➡学校数を減らしてほしいです。
- 学校数を減らすことで1クラスの人数がもっと増え、全体的に庄内町の学校教育にかかわる先生方が減らされるのではないか。1クラスの人数は今少なく、担任と子どもたち、近い距離で手厚く学習面でも学力の向上につながっていると考えられる。学校数を減らすことに反対です。
- スポ少、部活も考え、小中一貫にし、建物も1つにし財政も抑え、友好関係も広がるようにした方がよい。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 余目地区(小学校)については、学区の再編を行ない学校数を減らす事は出来ると思います。中学校については、防災、災害時の避難所的な考えもあり、余目地区、立川地区の両方にあつた方が良く考えます。 ● 子供達がストレスを感じず安全で安心して学校生活を送れる事。出来れば同級生の顔、名前をすべて覚えられる位の人数がいいかとも思います。3年間で関わる先生の数も限られると思うので、すべての先生と関われるくらいが良いと思います。 ● 地域との関わり方。登下校の安全性、時間。 ● 安全面。 ● 少子化で合併も仕方ないとは思いますが、それぞれの地域も無くしたくないとは思っています。地域に根づいた活動をしてきたので。 ● ・少子化だけでなく核家族も多くなってきている。・部活動や勉強がのびのびとできる、子供の思うようにできるような学校づくり。・学校に来ることができない児童に対する学びの場の検討。・様々な立場の人が意見を出せる審議会にする。 ● 少子化により学校の数を減らしていくのは当然の事だと思います。できれば小学校は2~3学級、中学校は多くなってよいと思いますが、登下校の安全、冬の通学について、学校から遠い人への配慮、支援なども同時に考えて欲しいです。広範囲になる事での子供間での差が出ないように。
狩川地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学校の建物を建て替えた場合、その建物は50年程度使用できるものになると思うので、今後50年の人口推移や児童生徒の人数の推移の想定を踏まえ、最も学習環境を整えられる規模にすることを特に配慮する必要があると思います。 ● 余目、狩川両方にとって通いやすい場所にあること、安全な通学路 ● 学校数を減らした分の財源で子ども達のために何かできればいいと思う。個人的には子どもがまだ小さいので広い芝生がある公園があつたらうれしい。(藤島体育館の横にあるような)遊んだりピクニックしたりマルシェなど企画したり色んなことができそうだと思う。マスクを外して思いっきり遊ばせてあげたいし、以前まちづくりセンターに行つたら外で喫煙している職員がいたので・安全にのびのび遊べる所がもっとあつたらうれしい。 ● 合併した場合の子供達のケア ● 庄内町は町村では高島町に次2番目の人員。高島は米沢・南陽市の市2つの間にはさまれた町。庄内町とは地理位置が違う。庄内町の良いアピールをどんどん発信していければ良い方向に思う。大型出合いパーティー ● 学校数を減らし、一緒にできる所は一緒にしてほしい。地域の意見も大事だが、お年寄りの意見よりもこれから学校に通う子供や保護者の意見を多く受け入れてほしい。 ● 町に小児科と産婦人科が無いので検討して頂きたい。狩川地区にスーパー、ドラッグストアが無く、買い物するのに遠出しないといけないので、何とかして頂きたい。おむつなど近くで帰れば便利。余目の図書館に比べ狩川の図書館がショボすぎる。子どもも利用するのに格差がありすぎて不公平! ● 通学バスを満足すること。 ● 不要な意見に対応しない。 ● 小児科や耳鼻科が庄内町にはない。子育てしやすい町ではないのですか?酒田、鶴岡で働いていると一度庄内町へ行き、子供を連れて酒田、鶴岡の医者へ行かなければならないのは庄内町の少子化の原因の一つでもあると思う。 ● 余目の小学校は全部でなくても統合できないのでしょうか? ● 遊佐町の出身ですが、過去に学校の建て替えをした際に当時は町内に6校の小学校があつた為、プールの授業はほかの小学校を借りる。校舎も一部取壊して立てていくなど、教室の移動は大変でしたが、何とかしていた記憶があります。 ● 各所の連携がうまくいけば対応できるのではないのでしょうか。 ● 鶴岡に中高一貫校ができることから、庄内町からも流れ出ることが予想されるので、それに負けないように何か特徴のある学校を(とくに中学を)つくってほしい。 ● 少人数での学級活動の良さもありますが、今コロナの時期ということもあり、地域活動も減ってきている中、子供達を見て感じる事は、人と接する時間が減り、コミュニケーションのとり方がわからない子、他人への関心が無い子ちらほら見える気がします。授業や教育は、先生の話聞いて、ちゃんと学力が身につけている子はいると思いますが、地域の人との交

流を、もう少し増やし、人との接し方、話し方、社会に通用する礼儀正しさを身につけられるような環境が望ましいです。

- 町内1つ、バスでピックアップする。だまっけていても人は減るばかり。2065年には7500人くらいでしょう。少子化だけが問題でなく、人口減少は税収減少につながり財源がない。学校は町内一つにして多くの人数で学級を運営した方がよい。”便利”の悪い地域には人は住まなくなる。農家でなければ田舎に住まなくなるので、離れている地域はバス通をした方がよい。
- スポ少、部活動などもあるので、子供たちが通にくい学校にならないよう、前の方が良かったとならないよう配慮していただきたい。
- 庄内町で注目している、清川、立谷沢地区をどのように考えているのかが大事かと思ひます。立谷沢を考えると、立川小・中は、はずせない学校と考へます。「少子化と老朽化」だけを考へるなら「余目中学」とその近くの学校一校のみをいじすればBestかもしれませんが、立谷沢の小学1年（6歳）の子に、片道1時間近くの車通学は正直かわいそうです。それなら「立谷沢～添津間の道路開通を考へ、交通の改善を考へることも大事です。故に私は、余目1, 2, が余目へ、余目4、立川が立川への2つの小、中を望みます。
- どうしても1校のみを生かすと考へるなら、余目第4小とその近くに新しい中学を建てて庄内町のすべての地域のまん中に学校を置くべきと考へます。そうしなければ、学校まで遠い不便な地域は、過疎化（立川地域、特に清川、立谷沢）が進むのが目に見えてわかります。私も生まれ育った地なので、何年も前から真剣に考へており、守りたい気持ちがあるので、強い文章になってしまい申し訳ございません。是非、参考にしていただけたら幸いです。
- 旧余目地区の小学校を統一し、新校舎の建設。
- 幼稚園施設の新築
- 子供が勉強しやすい環境を作ってあげることが一番大切。
- 保護者や地域住民への説明、交通機関の充実
- このアンケートが役所に都合のいいように使われないことを望むと共に、審議の経緯がオープンに町民に公開されること。
- 通学方法。不審者や何か事件、事故が発生しても逃げ込める場所が通学路にない地域は距離ではなく、安全面でスクールバス通学をすべき。何かあつてからでは遅いと思ひます。
- 学校の統廃合はやむを得ないと思ひますが、少人数の方が先生方の目も届くと思ひるので30人以下のクラス編成がいいと思ひます。
- 小学校と中学校分けて考へるよりも、合わせて考へた方がよいのでは？たとえば、校舎1つに小、中どちらも入れるなど、立川地域は、人口が少ないので、比較的新しい中学校に小学生も入れてはどうか？小中合わせて、余目地域に2校、立川地域に1校で対応できるのでは？
- 子供たちが伸び伸び学校生活を送れる事を考へてほしい。立川地域の生徒が、余目中に通うのは大変だと思ひます。
- 立川地域に、小学校も中学校もなくなるのは反対です。立川地域は、幼・小・中と立地が近く、それぞれの学校へ行来があるのは、とても良い事だと思ひます。そのつながりは大事にしてほしいです。少人数の良さもあるので、そこにも目を向けてほしい。お金だけの問題でしょうか。
- 全てを旧余目地区にするのは無理だと思ひます。立谷沢から通っている子供たちの気持ちや親の負担を考へてほしいです。
- 町民減少に歯止めをかける、郷土愛の醸成。
- 学校数を減らしても、バス対応など増えるのであればいいと思ひます。だが、親の送迎など負担が増えるようなら庄内町にいる必要はないと思ひます。元々不便なところだと思ひますので、町外に行、市内に出たほうが便利であり、たくさんの補助に巡り会えると思ひています。子供を増やしたいのか、年寄りを増やしたいのか、町の求める年代がどの年代なのかでの的がぼられてくると思ひます。少子化にしているのは町自体が原因です。まず子供、子育て世代を増やすことを考へるべき!!学校がなきゃ子供もこねーよ!!
- 中学校は、立川・余目2校で良いと思ひし、改修しながら建物は利用すれば良いと思ひし、建替えの必要があるならしなければいけないと思ひます。ただ、部活動に関しては、立川・余目合同で行えるような工夫が必要だと思ひます。現に、立川中においては、子供達が部活動の種類が限られており、合同でやる事で視野が広がると思ひます。その為、バス送迎など町で対応し

てやってもらえたらありがたい。

- 町の財政運営も大事ではあるが、何よりも中心になる子供たちの事、立場、環境の変化等を考慮して進めてほしいです。
- 四小と立川小を合併し、立川小を使用してほしい。人がいなければ何もできないので合併は必要。
- 教育の環境や内容に格差があってはならないと思います。平等であってほしいです。クラブ活動や部活、学校により異なり、選択肢がありません。やりたいことができるよう柔軟な考えを求めます。仮に全ての学校が余目拠点になった場合、立川の子たち、親の負担は増大します。現状、高校生も電車等も交通の便がなく、不便です。小規模校でのメリットもあると思いますが、デメリットについても検討が必要かと思います。小中一貫校や他の公共施設との複合化、共用化はいかがか。保護者や大人だけではなく、実際に通っている子供たちや卒業生（高校生や大学生）から意見を聞くというのも。
- 年々人口が減っていて、学校も減る可能性があるかと思いますが、登校時間も考えてほしいです。立谷沢方面の方々は今より大変になるのはかわいそうです。
- 子育て日本一の町づくり見える化。目標と内容が見えない。
- 中学校は2校残すべき。生徒数については、調整するべきだと思う。
- 少子化により、将来的には中学校は一つに統合してもよいのかな…と思いました。
- 人の回答を求めるのも大事だと思うが、町としての対応が全く見えない。そのため、おかしなうわさばかりで他市町より、すべてにおいて遅れが生じていると思われる。
- 学区によっては合併（学校の）も考えるのは仕方ないと思いますが、生徒の通学（保護者含め）の負担を感じないよう、考慮していただきたいと思います。部活動（中学校）も少子化によりいろいろ大変かとは思いますが、なんとか工夫して廃部等ならないよう、選択肢を狭くならないように、存続できるものは存続していただきたいと思います。
- 地域に根ざした学校運営をしていくことで「地域の子」として子育てにたずさわっていくことができると思う。少子化や財政難を理由に簡単に合併させる方向で進めようとするのはよくないのではないかと？特に立川地域はすたれていくばかり…。「もっと、子育てしやすい、若者にとってみりよ的な町づくり」をしていくことが大切なのではないかと思っています。
- 各学区で学校を残したい意見は多くなると思いますが、将来、町民に負担になることは避けてほしい。通学時間の不公平感が大きくなるようにバランスを考えてほしい。部活動に関しては学校単位で複数抱えるのが難しいのであれば、もう少し柔軟に対応してほしい。
- 地元に残る様になれる環境が、整わなければ、庄内町に学校は無くなってしまおうと思う。庄内町に住みたい。住んで良かったという他で体験できない思い出づくりを大切にしてください。
- 旧立川地区、特に清川・立谷沢・大中島地域の児童・生徒の事。今よりも通学時間が長くなるのはかわいそうです。（立中と余中を1校にしてしまう、とか4小と立小を合併して立小を無くした場合。）
- 若者流出防止、人口増加も並行して検討する必要あり。
- 地域、保護者の理解
- 小学校低学年の体力に負担にならない登校距離を考慮して頂きたいと思います。
- 第4学区を狩川地区に含め、中学校の生徒数を増やして頂きたい。
- 小学校は学校数を減らす事は可能と思いますが、中学校は地理的にも2校の存在を維持して頂きたいと思います。
- 立川中は人が少ない割に部活動が多く、まんせいの人手不足の状態にあります。今後、現状の形のまま残ることはないと思いますが、できるだけ、多い人数でスポーツができる環境作りをお願いします。また、中学校までの距離が遠くなる生徒のことも考えて、手厚い送迎のサポートをお願いします。
- 子育て支援
- ・児童、生徒の通学時間・年々、児童生徒数が少なくなっている現状のため学校数を少なくし、児童数を増やし活気のある学校教育（小学校）→今が活気がないとは、言ってませんが…・中学校は、2校の方が良い。現在でも人数は減少しているが、小学校の統合、学区編成など今後を考えた方向性を模索する。
- ・子ども達のための学校・伸び伸びとたくさんの事にチャレンジ出来る環境・大人になって、

	<p>自分の子どもを、この町で育てたいと思える学校。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ・生徒一人一人に目がいき届く教育・そのためには、やはり規模が問題になると思う。・立川、余目で的人数が違いすぎる。 ● 生徒数が減少しているため、中学校から統合を考えるべきだと思う。 ● ・不公平にならないように・余目中と立川中が合併したと仮定してどちらか一方が通学時間が極端に長くなるなどしないように配慮してほしい・どちらかだけが有利にならないようにしてほしい！！ ● 生徒数が減少しているので、教員数が減るのは仕方がないことだとは思いますが、”人手が足りない”ことを理由にして、丁寧な教育がおろそかになるのはどうかと思います。支援学級に在籍していない子でも、個別配慮が必要な子はいるはずなので、現場をもっとよく見てほしいです。建物の検討の前にするべきだと思います。 ● ・運動部、文化部両方があり、選択できるようにしてほしい。・子供達がどうしていきたいか、きちんと気持ちを尊重してほしい。 ● 子供たちが、ずっと住み続けたいと思えるよう町が一つにまとまって活動を充実させていくこと。児童、生徒数が少ないことで、他市町へクラブに通っている人が多く、送迎の時間など負担が大きい。せめて、町内の同じ部活、スポ少などは、一元化してほしい。 ● 立川地域の児童数が減少しているので余目第4学区と統合するなどして余目、立川の児童数の差があまりないようにする。 ● 学区による差をなくしてほしい。中学校の部活が特に気になる。立川中は選べる部が少なく、クラブ活動となると、送迎の負担、活動時間の遅さ（夜間）など、同じ町内なのに不平等である。
清川地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校は1小、2小、3小を統合、4小と立川を統合、中学校も同様としてほしい。 ● 児童数を一定にすること。クラス替えがあること。今のままだと、進学時に他校の生徒と接した時に、とまどいを持つ子が多いと思っています。知っている子だけの付き合いが長いと、多様な場面で人付き合いの不具合が出ると思います。 ● 児童数が少ないと当然親も少ないのでPTA活動も大変かと思う。一定程度人数が確保されるような統合は必要と思う。 ● 検討するうえで、優先順位を明確にして進める事が重要。子供達の教育環境をどう整えるか？この事をブレずに進めていけば良い答えが見つかるのではないのでしょうか。
立谷沢地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 4学区と立川地域を統合できないのか。 ● 特にとということでもありませんが、子供を育てやすい環境を整えていけば、これからの若い人たちも庄内町で子育てしたい！！と思うのではないのでしょうか？Ex)小児科があるとうれしい、0歳～保育料無料ナドナド…。 ● 地域もあると思うので、立川小学校、中学校は残してほしい。 ● 少子化による児童・生徒数の減少と過疎地域が増えて、ますます人口が減っていき、住みやすい所への移住が進んで行っている中で、現在～20年、30年を見据えて学校の規模を配置していかなければならないと思いますが、ただ、人口の多い地区に中学校1つ、小学校1つという大前提となる考え方だけではなく、ほかの選択肢も考える必要があると思う。 ● 少子化による学校の統廃合は致しかたない事と思いますが、統合するからといい、不具合箇所をそのままにしたり、移行期間中の調整をしっかりとご対応頂きたい。(例)トイレの水が出ない。使用できるトイレが少なく休み時間ならんだりできなかつたりなど。 ● <部活動>希望の部に入れるように。送迎についてもできる限り保障してほしい。<学力向上、生活面指導対応>生徒数が増えても対応できる手厚い教育(人材を)

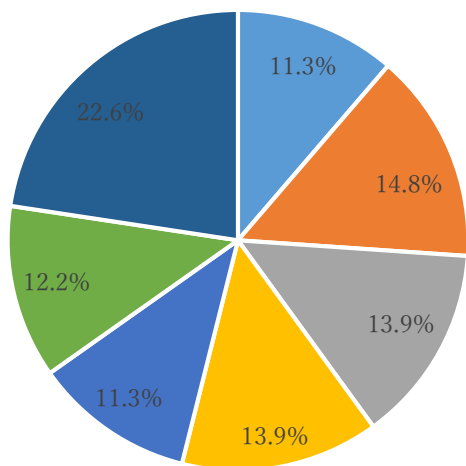
学校適正規模適正配置アンケート【教員対象】

調査対象 町内の小学校及び中学校に勤務する教員
調査対象者数 140人
調査方法 設問票によるアンケート調査（学校での配付回収）
調査時期 令和4年6月17日（金）～6月30日（木）
有効回答率 82.1%（115票回答／140票送付）

学校区分	配付数	回答数	回答率
立川小学校	17	13	90.4%
余目第一小学校	19	17	
余目第二小学校	17	16	
余目第三小学校	16	16	
余目第四小学校	14	13	
立川中学校	19	14	70.2%
余目中学校	38	26	
合計	140	115	82.1%

問1：あなたが勤務している学校名を選択ください。（〇は1つ）

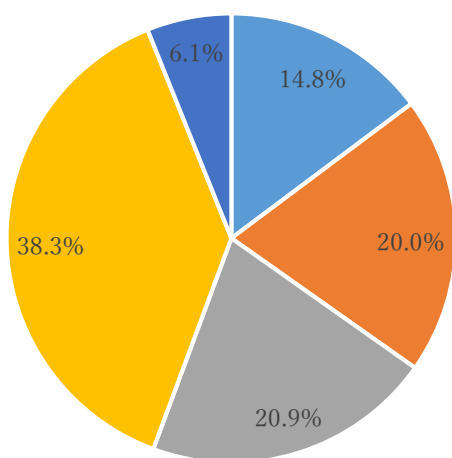
学校の構成は、「余目中学校」(22.6%)、「余目第一小学校」(14.8%)、「余目第二小学校」(13.9%)、「余目第三小学校」(13.9%)、「立川中学校」(12.2%)、「立川小学校」(11.3%)、「余目第四小学校」(11.3%)の順となっています。



	集計数	構成比
全 体	115	100%
■ (1) 立川小学校	13	11.3%
■ (2) 余目第一小学校	17	14.8%
■ (3) 余目第二小学校	16	13.9%
■ (4) 余目第三小学校	16	13.9%
■ (5) 余目第四小学校	13	11.3%
■ (6) 立川中学校	14	12.2%
■ (7) 余目中学校	26	22.6%

問2：あなたの年齢を教えてください。（〇は1つ）

年齢の構成は、「50歳代」(38.3%)、「40歳代」(20.9%)、「30歳代」(20.0%)、「20歳代」(14.8%)、「60歳以上」(6.1%)の順となっています。



	集計数	構成比
全 体	115	100%
■ (1) 20歳代	17	14.8%
■ (2) 30歳代	23	20.0%
■ (3) 40歳代	24	20.9%
■ (4) 50歳代	44	38.3%
■ (5) 60歳以上	7	6.1%

問3-1：あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。(〇は2つまで)

「ゆとりある広さの教室環境」(50.7%)、「多様な学びができる校舎設備」(33.6%)、「安全で快適に過ごせる学習環境」(25.7%)の順となっています。






(1) ゆとりある広さの教室環境	71	50.7%
(2) 充実した図書環境	10	7.1%
(3) 充実したコンピュータ等のICT設備	31	22.1%
(4) 多様な学びができる校舎設備	47	33.6%
(5) 安全で快適に過ごせる学習環境	36	25.7%
(6) 思いっきり運動できる体育館やグラウンド	12	8.6%
集 計 数	207	

(1)～(6)の他に学習環境として望むもの

- エレベーター完備。地域に開かれた学校のためにも、足の弱った来校者向けに必要と思います。
- トイレの数を1階、2階どちらにもあると助かります。
- 学校生活を念頭に置いた動線を意識した教室配置。例：1年教室の近くにトイレがほしい。
- トイレが少ない。遠い。
- 個別対応ができる人員配置
- 町の小学校は老朽化に伴い遊具が次々と撤去されており魅力ある遊具、遊びに欠けるところがある。維持費を理由に新設を避けているが、子どもを公園に連れていく理由を考えれば責任転嫁ではないかと考えている。
- 特別支援学級の教室の場所が子どもの学年や実態に応じて適した場所へ配置できること。
- 理科室と音楽室にエアコン。気密性の良い(外れない)窓。
- エレベーターのない学校は2F建て以上であればあり得ないことだと思う。障害の有無だけでなくけがのこともあるので。
- 全教室、特別教室に冷房設備を。トイレの故障(立中)は、現在進行形で生徒が生活しているわけなので、ぜひ直してほしい。
- 特別教室(別室登校生徒対応のための部屋を含む)へのエアコン設置
- グラウンドのラインの修繕
- 全教室、体育館冷暖房完備
- 今より多くの教員数増加(町内に限らず)
- 暑さ寒さに適切に対応した環境
- 理科室等の大きな部屋には、もう少し大きなモニターがほしい。又デジタル顕微鏡のデータ等を無線でやり取りできるようにしたい。
- 教室の数のゆとり(相談やちょっとした集まりに使える教室)

問3-2：学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。（〇は2つまで）

「多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会」（78.3%）、「学校と保護者・地域社会が連携した教育活動」（47.0%）、「同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場」（26.1%）の順となっています。

(1) 学校と保護者・地域社会が連携した教育活動	54	 47.0%
(2) 子どもの希望に合う部活動	9	 7.8%
(3) 同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場	30	 26.1%
(4) 同学年少人数で深い人間関係を築ける場	22	 19.1%
(5) 多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会	90	 78.3%
集 計 数	205	

(1)～(5)の他に教育活動の場として望むもの

- 3の多人数と4の少人数を合わせたものが理想。クラス替えがあり少人数。
- 職場体験の復活

問4：小規模な学校において教員が少なくなることによる運営上の課題について、あなたの考えにあてはまるものを選択してください。

小中学校全体の課題として、「(3) 一人あたりの負担が重く、課題が生じやすい」(8.39点)、「(1) 多面的に評価されにくい」(4.26点)、「(1) 多面的に評価されにくい」(2.48点)の順となっています。

中学校の課題として、「(4) 部活動の複数顧問体制が取りにくい」(8.13点)、「(5) 授業時間数に不均衡が生じやすい」(6.00点)の順となっています。

(上段：集計値、中段：評価平均、下段：構成比)

調査項目		そう思う	少し思う	も ど ち ら で も な い	思 わ な い あ ま り	思 わ な い そ う
評価点数		10点	5点	0点	▲5点	▲10点
(1)	子どもたちの良さが複数の教員から多面的に評価されにくい	28人	38人	16人	29人	4人
		2.48点				
		24.3%	33.0%	13.9%	25.2%	3.5%
(2)	教員同士が切磋琢磨する環境を作りやすく、指導技術の相互伝達(人材育成)がなされにくい(学年会や教科部会等が成立しない)	37人	45人	14人	17人	2人
		4.26点				
		32.2%	39.1%	12.2%	14.8%	1.7%
(3)	教員一人あたりの校務負担や学校行事に関する負担が重く、課題が生じやすい	88人	20人	5人	1人	1人
		8.39点				
		76.5%	17.4%	4.3%	0.9%	0.9%

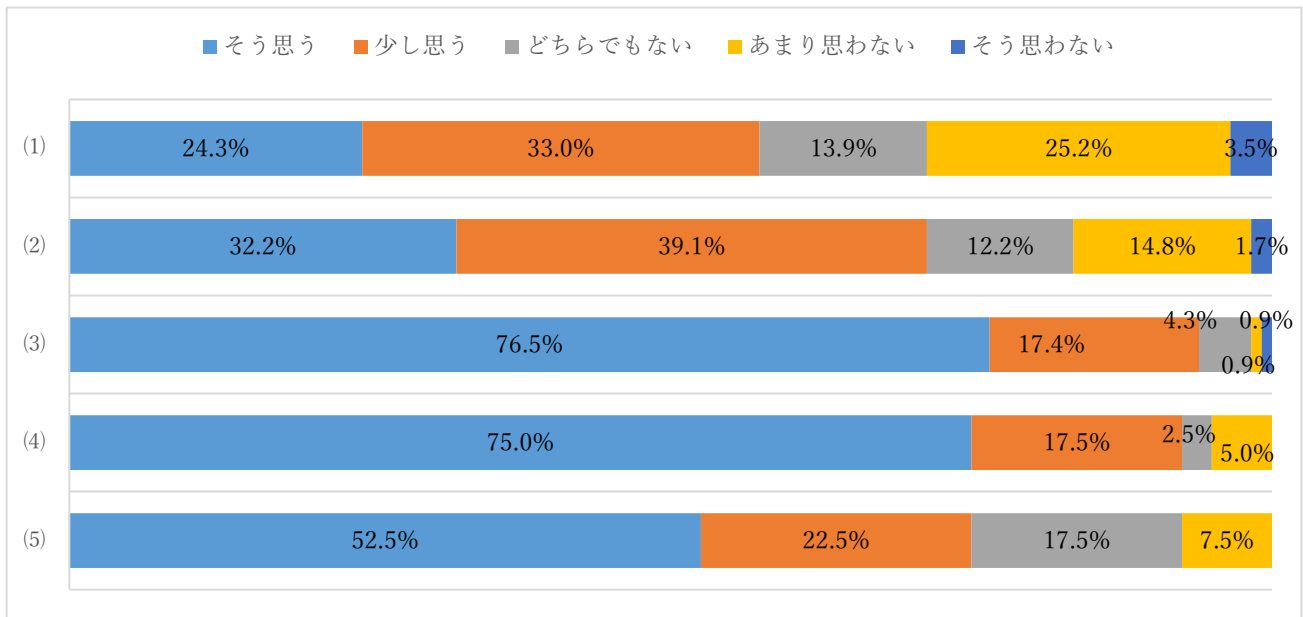
※(4)と(5)は中学校の教員のみ回答をお願いします。

(4)	中学校の部活動の複数顧問体制が取りにくい	30人	7人	1人	2人	0人
		8.13点				
		75.0%	17.5%	2.5%	5.0%	0%
(5)	中学校の教員定数上、教員ごとに受け持つ授業時間数に不均衡が生じやすい	21人	9人	7人	3人	0人
		6.00点				
		52.5%	22.5%	17.5%	7.5%	0%

※加重平均値による評価点の算出方法
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \left[\begin{array}{l} \text{「そう思う」の回答者} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「少し思う」の回答者} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらでもない」の回答者} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「あまり思わない」の回答者} \times \blacktriangle 5 \text{点} \\ + \\ \text{「そう思わない」の回答者} \times \blacktriangle 10 \text{点} \end{array} \right] \div \text{それぞれの回答者数}$$

評価点は10点～▲10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に▲10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。



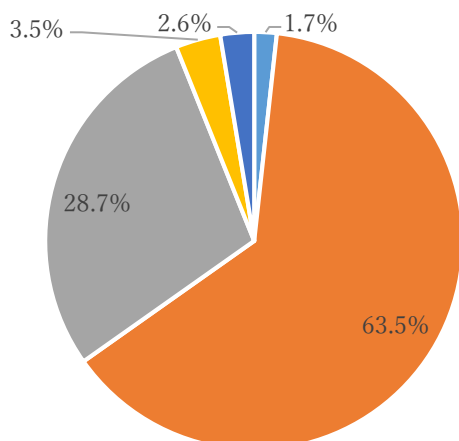
(6) その他への記載事項

- 分掌の負担が増え授業準備に時間がとれない。
- 小学校も教員数減も視野に入れ、教科担任制での教科指導の充実を図るべきである。
- (各学級が理想ですが、低中高に1名でも・・・) 副担任のような加配の先生がいてくださるとありがたいです。・印刷などをお願いできるスクールスタッフを配置してほしいです。(現在、全て印刷は分掌を持っている人が行っており、ものによっては負担を大きく感じます。)
- 教員を目指そうとする若者はいない。学校職場のブラック企業化している実態の早期回避をしないと希望職種として成立しない。採用倍率の低下、教育養成系の国立校からの志望者の減少が物語っている。
- 子どもに対する教育ニーズに応じて上げられない。教育活動に制限が生じてくる。
- 教員が休んだり特休になったりするとその仕事を少ない教員で行うので負担が大きくなる。よって休みにくい。
- 免許外の教科を担当する。
- 部活動を担当させられる教員とクラブの担当で大会引率のみでよい教員の間で日々の負担が大きく異なる。それにも関わらず均等に割り振られる校務分掌や学年持ち回りの業務の分散が考慮されていない状況に疑問を感じる。強く部活担当したい教員以外は公平になるよう調整や事前の相談が行われるよう強く希望する。3年担任が1人で執行部、行事、その他分掌、加えて部活動を担当するのは明らかに勤務時間内に処理できないのが明らかで、管理する側に問題があると感じられる。
- 免許外教科を担当しなければならない方は、かなり負担があると思う。新採は初任校として中規模以上の学校が良いと思う。
- 免許外の教科を担当せざるを得ない。
- 免許外の教科を指導するのが当然というシステムは異常。人はこんなにも減っているのに仕事の内容や分量は変わらず結果一人あたりの仕事の種類が激増。孤立、同じ仕事を担う人がいなくなり、相談できず一人で悩むことが多い。
- 特支の免許がある方、又は経験されてきた方が担任になりにくい。
- 部活の種目理事、時間割作成主担当、学年生徒会、体育主任、3学年担任と仕事が多くある。
- 教員定数を増やすこと＝働き方改革、教員個々の意識改革は限界
- 免許外の教科を担当する。
- 教員が少ないと特別に支援の必要なお子さんに手をかけられない。

※個人が特定できるもの等は、削除している場合があります。

問5-1：小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

「2学級」（63.5%）、「3学級」（28.7%）、「4学級以上」（3.5%）の順となっています。

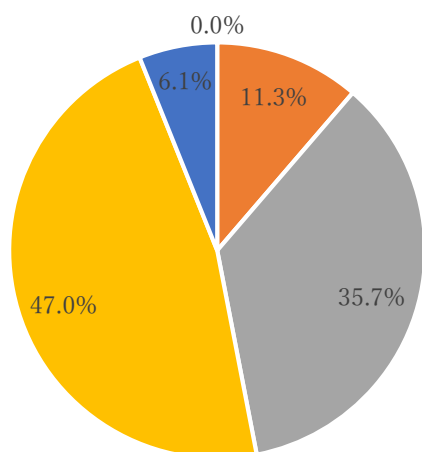


	集計数	構成比
全 体	115	100%
■ (1) 1学級	2	1.7%
■ (2) 2学級	73	63.5%
■ (3) 3学級	33	28.7%
■ (4) 4学級以上	4	3.5%
■ 不 明	3	2.6%

※選択した学級数の理由は、
報告書（その2）P46へ記載

問5-2：中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

「4学級以上」（47.0%）、「3学級」（35.7%）、「2学級」（11.3%）の順となっています。

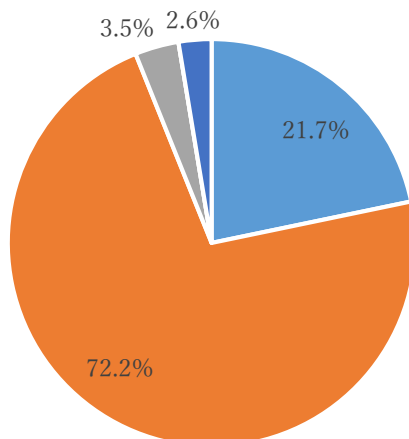


	集計数	構成比
全 体	115	100%
■ (1) 1学級	0	0.0%
■ (2) 2学級	13	11.3%
■ (3) 3学級	41	35.7%
■ (4) 4学級以上	54	47.0%
■ 不 明	7	6.1%

※選択した学級数の理由は、
報告書（その2）P48へ記載

問5-3：1学級あたりのクラスの人数は、どの程度がよいと思いますか。（〇は1つ）

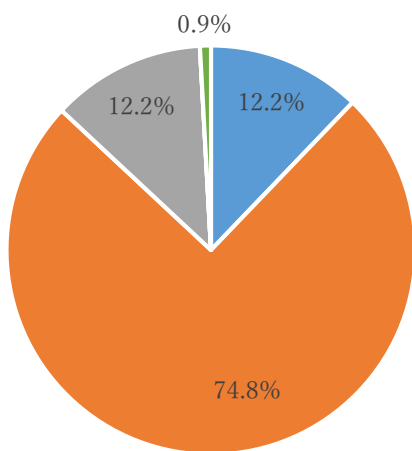
「21～30人」（72.2%）、「20人以下」（21.7%）、「31～40人」（3.5%）の順となっています。



	集計数	構成比
全 体	115	100%
■ (1) 20人以下	25	21.7%
■ (2) 21～30人	83	72.2%
■ (3) 31～35人	4	3.5%
■ (4) 36～40人	0	0.0%
■ 不 明	3	2.6%

問6-1：小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。（〇は1つ）

「30分未満」（74.8%）、「15分未満」及び「45分未満」（12.2%）の順となっています。

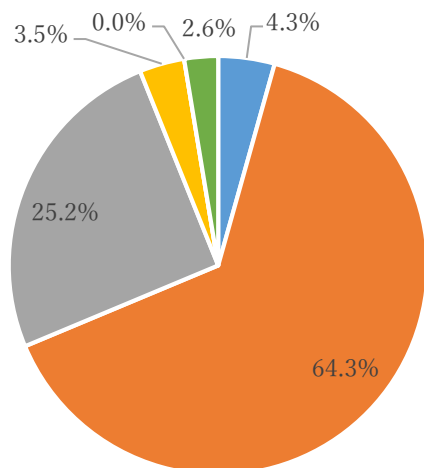


	集計数	構成比
全 体	115	100%
■ (1) 15分未満	14	12.2%
■ (2) 30分未満	86	74.8%
■ (3) 45分未満	14	12.2%
■ (4) 60分未満	0	0.0%
■ (5) 60分以上	0	0.0%
■ 不 明	1	0.9%

※選択した通学時間の理由は、
報告書（その2）P49へ記載

問6-2：中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。（〇は1つ）

「30分未満」（64.3%）、「45分未満」（25.2%）、「15分未満」（4.3%）の順となっています。



	集計数	構成比
全 体	115	100%
■ (1) 15分未満	5	4.3%
■ (2) 30分未満	74	64.3%
■ (3) 45分未満	29	25.2%
■ (4) 60分未満	4	3.5%
■ (5) 60分以上	0	0.0%
■ 不 明	3	2.6%

※選択した通学時間の理由は、
報告書（その2）P51へ記載

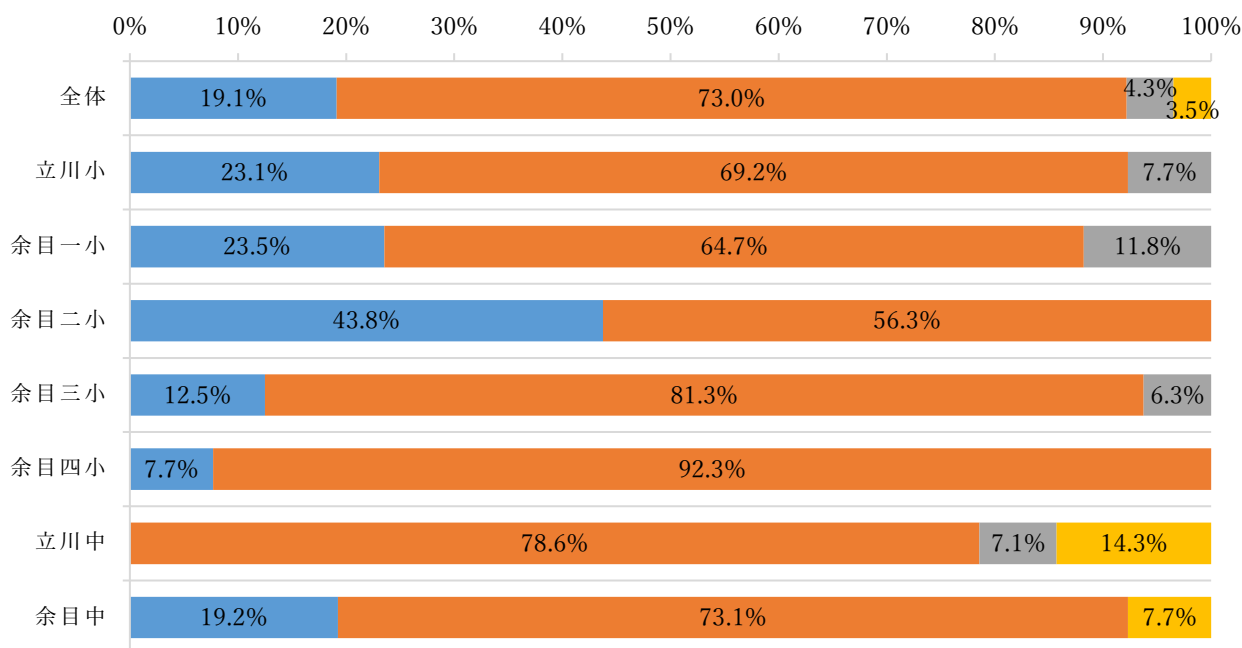
問7-1：【小学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。（〇は1つ）

「学校数を減らして、重点的に投資して建て替え」（73.0%）、「小学校5校をすべて建て替え又は全面改修」（19.1%）の順となっています。

「学校数を減らして、重点的に投資して建て替え」の項目では、余目四小（92.3%）、余目三小（81.3%）、立川中（78.6%）の順となっています。

「小学校5校をすべて建て替え又は全面改修」の項目では、余目二小（43.8%）、余目一小（23.5%）、立川小（23.1%）の順となっています。

	集計数	構成比
全体	115	100.0%
■ (1) 小学校5校をすべて建て替え又は全面改修	22	19.1%
■ (2) 学校数を減らして、重点的に投資して建て替え	84	73.0%
■ (3) その他	5	4.3%
■ 不明	4	3.5%



(3) その他への記載事項

- ランドセルの無料配布をやめて、お金を確保し、学校は四小と立小が統合し立小を使う。一・二・三については要相談で2つの小学校にする。
- 学区編成しかない。
- よく分かりません。
- 子どもの育ちを考えれば人間関係の固定化は避けるべきであり、そのためには学区再編を検討すべき。5小を2又は3小へ再編するのが望ましい。
- 少子化を改善する。

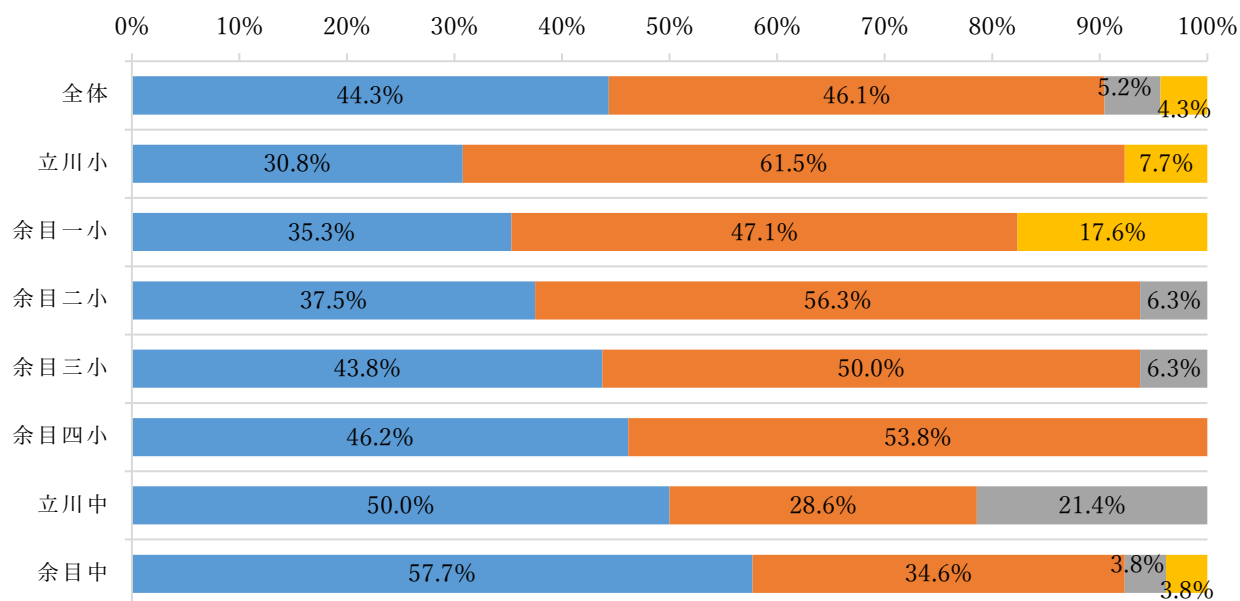
問7-2：【中学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。（〇は1つ）

「学校数を減らして、重点的に投資して改修」（46.1%）、「中学校2校をすべて改修」（44.3%）の順となっています。

「学校数を減らして、重点的に投資して改修」の項目では、立川小（61.5%）、余目二小（56.3%）、余目四小（53.8%）の順となっています。

「中学校2校をすべて改修」の項目では、余目中（57.7%）、立川中（50.0%）、余目四小（46.2%）の順になっています。

	集計数	構成比
全体	115	100.0%
■ (1) 中学校2校をすべて改修	51	44.3%
■ (2) 学校数を減らして、重点的に投資して改修	53	46.1%
■ (3) その他	6	5.2%
■ 不明	5	4.3%



(3) その他への記載事項

- 立川中の生徒数は既にデットラインを越えている。しかし、これだけ細長い町で余目中へというのは無理がある。両中学校を生かす方策を考える。（学区再編、教育活動に特色をもたせ選択できる制度やしゅくみなど）
- 学区を組み替えて2校に。
- 建替え
- 2校をそのまま残し改修
- まず職員数を増やす。一人あたりの仕事量を正常化してください。
- 中学校は1校にする。
- もう老朽化しているのであれば、小学校と一緒に年をずらして改修。

問8：少子化による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化への対応方針を検討するため、庄内町学校適正規模・適正配置審議会を設置しています。検討するうえで、子どもの教育活動（特別支援教育含む）や通学などの視点から配慮する必要があることは何だと思いませんか。

<p>小学校教員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ・教育環境の低下を防ぎ、充実を図る。・子どもたちに対し、丁寧に、ゆとりをもって指導できる学校体制。・通学時間がながくなりすぎないようにする。学区があまり広くなりすぎないようにする。 ● スクールバス30分圏内に小中を統合配置すること。統合に向けた地域住民への丁寧な説明。 ● 旧狩川庁舎の改修整備事業～4億6108万円がムダにならないよう地域文化の安定的向上や生涯学習の充実等とも関連づけて庄内町の小中学校の適正配置を考えていただきたい。 ● 学校施設の老朽化と同時に設備や備品についても様々な部分で老朽化が進んでいるが、予算の関係で毎年1品ずつしか備品の購入が出来ないため更新が追いつかない状況になっている。立川小は統合の際に一気にものをそろえていたり、それ以前から使用していたものを管理替えしているものが多く見られるので、だいたい同じ時期に壊れるのではないかとと思うが、今現状の配当予算では対応できないのではと思います。 ● 立川地区は、0才～15才までクラス替えのない人間関係ですごしています。過去の行いにとらわれて、成長がとどこおることがみえます。他人の評価を気にしすぎ、挑戦するのではなく、平穏な現状維持を望む傾向を感じます。周囲からの評価（いわゆるレッテル）が、ずっと続いてしまうこともあります。特に、支援対象のお子さんに多いと思います。社会で活躍する土台としての学校と考えると、一小学校一中学校が長期的な視点として妥当かと思えました。たぶん残念ながら、一小学校一中学校は、将来的には避けられないと思います。（2・3ページをみると・・・）今やるか後でやるか。・通学に関しては、できるだけ町の真ん中に学校を設置していただけたらと思います。こまわりのきくスクールバスを増やしたり、来校時の駐車場を充実されたり（冬の雪対策含む）も、お願いします。・小学校にプールは新設しないで、アクアの施設やコーチと協力する方向ですすめてほしいと思います。通年（5～10月）も視野に入るのではないかと。 ● 特別支援学級の先生が複数学年を担任すると、それぞれの学年に合わせたカリキュラムを作るが、それぞれの子どもの支援にあたるのは大変。できる限りの支援員の必要性を感じる。教育設備の充実。 ● 立川は保育園～中学校までメンバーが変わらず、人間関係で苦しむ子どもたちもいるため、中学校は1校にしてもよいのではないかとと思う。 ● 未来を生きていく子どもたちが、自分の人生を有意義に過ごすために必要な力を身につける教育活動になっているのかとみる視点をもつこと。 ● 地域の子どもの数が減っているところはあるが学校設置をする上で考えるべきことは子どもが通いやすいところに学校があるということだと思う。子どもが減っているから、学校を廃校・統合するのは、子どもにとってつらい時がある。 ● 2065年に12099人を確保できる根拠は何か。希望的観測としては甘い。日本総人口が減る中で、酒田、鶴岡からの移住者のみこす児童、東根スタイルではいずれ破綻する。人口は減るものと認め、どう維持させていくのがよいかを考え、学区編成にかじをきるべきではないか。建ててから使用しなくなった地見興屋小のような例も近くにある。現実を見据えるべきである。 ● 立地場所、学校教育のみならず多機能な学校。 ● 1つの学校にある程度の子どもの人数がいること。教員1人にかかる仕事が多くなりすぎないこと。バス通OK。 ● 市とは違った庄内町ならではのゆとりある、また個性的なのびのびとした教育できる環境づくりをめざしていきたい。 ● 40人弱の多人数で単学級のまま6年間を過ごしているが、30人以内で2～3クラスあるのが理想だと思う。学区が広がるとバス通学が増えるが、バスは旧学区の学童まで送り届け、そこから町ごとにまとまって帰るなど、学童のような施設と連携しながら学校数を減らしていくのもいいと思う。 ● 現在も様々な特性を持つ児童が同じ学級にいる。複数学級あれば特性を配慮してクラス替えができ、教育環境を整えることができる。学年の人数が少ないと下校時1人になる児童がお
--------------	--

り、安全面で心配である。(人数の少ない地域はバス下校、又は上級生の学習が終わるまで待つ。下学年を見る職員の配置など)

- 予算の面や通学時間からも考えて小学校5校すべてを統合するよりは、「一・二小」「三・四・立小」など分けた方が良いのではないかと思います。
- 幼、小、中とずーと同じ顔ぶれで過ごすより、多学級での学習、活動があると、競争心が生まれ伸びるところがあるのではないのでしょうか？(運動会、合唱コンクールも含めて)
- 各学区のことを考えることはもちろんだけど、庄内町の子どもを庄内町の住民みんなで育てるという意識を醸成することが土台にあることです。
- 通学時間を短くすること。又は安全に下校するためのバス通学範囲の拡大。
- 1学級に担任が2人体制だと1人は進める立場、1人は机間支援ができると思います。2人いれば教材研究や宿題チェック、分担できて仕事も割り振れる。忙しさの負担もお互いできます。教員配置についてですみませんが、未来の学校のために、どうかご検討をよろしく願います。
- 児童数のバランス(減少)を考えると、余目四小と立川小の統合が考えられるが、旧町内として異なるため、地域住民の賛同が得られるか？それとも、同じ庄内町としての意識を持ち気にしていないのか？
- 特別支援教育の課題が大きくなっているため、適正就学のすすめに学校と家庭が理解し合える関係性を保つことが必要だと感じます。
- 各校が持っているそれぞれの地域とどのようにれんけいしていくのか。
- 教員の確保
- 子どもの学びを優先させることができればいいなと思います。旧余目町、旧立川町の枠は超えて、適正な規模にすることやそれを大人が納得することが大切だと思います。
- 特別支援を要する児童に出来る限り十分な教員がつくようになるといいと思っています。
- 少子化だが教員の負担は大きい。教員の数は減らすのではなく分掌を軽減できるようにしてほしい。児童への対応、授業の充実をしたい。
- 少子化とともに庄内町の児童生徒の子どもの発達障害等でクラスにその割合が増えている。その環境面と共に人的配置を増やしていかないと担任する先生の精神面、身体面が大変であることを考慮してほしい。(昔の子どもの質とは全く違う。)
- 通常学級における支援の必要な子どものために、個別指導やクールダウンのための部屋、又はついたてのような設備はあるとよい。そうした子どものためにエアコンも必須。
- 近隣の市の統合を見てもわかるようにハード面を先に考えると失敗している。全く大人の都合で税金のムダ使いである。やはり学年の学級数、1学年の人数を第1義的に考えてほしい。近代日本の学制はまだ150年。時代に合わせて変えていくことが未来に生きる子どもたちを育てるには、外せない視点であると考えます。
- 1対1で対応が必要なお子さんがおおくなっていることで、通常学級で普通がんばっているお子さんへの支援ができない。特別支援学級が特別という感じがしてしまうため、入級するハードルが少しでも下がるとよいと思う。
- 安心安全を最優先としたい。1学級の人数が20~24人でありたい(1人1人への学びの保障)。豊かな人間関係を築けるような(固定化されない)複数学級体制。
- 長時間の登下校による負担の軽減。部活動や教育活動の選択肢の拡充。人間関係の固定化を生まない人数、学級数の確保。
- 現在、登下校(徒歩)に時間のかかる地区がある中で春から秋は子どもたちが毎日がんばって歩いているので、通学の時間については1つの学区が広いこともあり配慮が必要だと思います。
- 中学校の統合について各学区が広いので、なかなか難しいと思うが、立川中学校の生徒が部活動など制限(数が少なからざるを得ない)される現状はかわいそうな気がします(部活動のやり方も今後変わってくるとは思いますが…)。小学校5校もそれぞれ児童数の減少は止まらないと思うので、今の学区を一度解体して考えても良いのかなと思います。
- 児童数の減少で教員数も減ると、校務分掌の担当が多くなり負担も大きくなりそう。(小規模校でも校務分掌の数は減らない。非常勤の先生方が増えると授業中の負担は減るが、校務分掌の大部分は常勤の先生が担当している。)単学級で人数が少なくなるとグループ活動、体育など学習に支障が出る。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 庄内町の校内ICT化の進行が遅すぎます。例えば、遊佐町、山形市では学習ノート、思考ツールをタブレットに置き換える動きが進んでいます。プログラミング教材も充実しています。少人数を進める上でも、ICTの充実は必要だと思います。 ● 建物だけでなく設備等と一緒に整備していくといいのではないかと（ICTとか支援学級に必要なもの）。
<p>中学校教員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 最も学校から遠い生徒が何分かかるかという点、これが適切に定められないのであれば、適切な位置に学校を配置するようにはしなければならない。 ● 始めから「予算ありき」ではなく、そこで学ぶ子供たちの視点に立った議論をお願いする。また、統廃合を行う場合は、学区の保護者はもちろんですが、学校は地域の教育活動の拠点でもあるので、地域の方々にも十分な説明をお願いします。 ● 瀬場の生徒の通学距離は24kmあります。今でさえ通学距離が長く時間もかかっているので中学校の統合を考えた場合、今の余目中の場所は適さないと思います。今現在、壊れて使えないトイレが3か所、手洗い場が1か所あります。生徒の学校生活に直結するもので、修繕してほしいのですがなかなかできない状況です。しかし、今、学校生活を送る生徒のことを考えると、すぐ改善すべきことだと思います。「将来的に統合を考えているから」というのは理由にならず、今の生徒を大切にしなければ、町や地域に残る人口は減っていくばかりではないかと考えてしまいます。 ● 生徒・保護者の考えを吸い上げることが必要不可欠だと思う。現状どういった不満、不安があるか、もし統合され通学手段が変わるとしたらどういった不満、不安、問題があるのか。それを聞いた上で、どのような支援や対応ができるのかを1つ1つクリアしたうえで進めて行くことだと考える。 ● 生徒数に見合った大きさの学校。生徒の通学の負担がより少ないこと。 ● 庄内町に2校の中学校があるが、人数等も含めできる限り差がない方が良いのではと思う。部活動が地域に移行するならば町単位の活動にして部活数を増やしたい。スクールバスをもっと自由に使えたらいいと思う。 ● 他者との関わり方を学ぶ場面。幼、小、中と10年以上同じ人間関係で高校に行ってバラバラになった時、どう関わりを持つか、他学校とのキャンプや球技大会などの交流体験。 ● 通学時間については大きな重要ポイントだと思います。小中学生の発達段階や家庭家族に負担がかからないようあってほしいと思います。 ● 生徒の教育の機会、質の平等性を確保すること。（同種の学校間で施設、ソフトの面で差があってはならない。） ● 人口減少資料は「何も手を打たなければ」ということですね。今後、役所には人口減少に向けて対策をとらないのでしょうか？人口増に向けて手立てを講じるはずですが。その際、余目中心の考え方ではなく立川にも目を向けた改善策を願いたい（余目中心の政策が多いと感じる。）。学区の見直し（小学校の統合も視野に入れ）。一小よりも二小、三小に通った方が近い所がたくさんある。「〇〇地域とは一緒になりたくない」といった考えを持つ人々の説得。何を大事に進めなければならないのか。子供達の成長、学び、人間づくり＞地域のプライド ● 少子化で小規模校は子ども一人一人に目が届きやすく個に応じたきめ細やかな指導ができるのがメリットと思いきや1クラス40人は多すぎる。学力が伸びるはずがありません。建物を整えることも大事ですが、小さい学校は一人あたりの仕事の割り当てが多いんだから本当に必要な仕事なのか、生徒を良くするために生かされる仕事なのか、という観点で不要な仕事を削って行くことが急務だと思います。 ● 各小学校区独自の伝統文化や取り組みを大事にしていきたいが児童数の減少から適正配置、教育の充実を考えると小学校数を減らすことも考えなくてはいけないと思う。 ● 部活動の地域移行化、コーチ等の待遇の改善 ● 中学は1校にする。部活動人数不足も少し解消できる。1つにまとめ、庄内町スポーツクラブとして運営できるのではないかと。 ● 中学校を1校にしてよいのではないかと？あまりにも少ない人数の中学校は授業も部活動も充実したものにならないのでは。費用の面でも1校にした方が充実すると思うし、多様な対応が求められる現場により多くの教員を配置すべき。すると教員一人あたりの仕事量も減ると思う。 ● その場所がキレイだと子どもは清掃をがんばるので、床だけでもキレイだと拭き掃除も頑張

	<p>れると思う。</p> <ul style="list-style-type: none">● 通常学級にいる特別支援並みの子どもたちが増えている状況だと思う。適切、適正とは何か。おおもとのかんがえなのかが、なかなか理解できない。● 子どもの教育・成長にとっては、ある程度の多人数で学び合うことが重要だと考えています。● 子ども達の教育活動を充実させるためにも、多忙化を解消するためにも、職員を増やすための予算を付けてほしいです。（部活動の指導員、特別支援員など）● 生徒数、環境など昔と大きく異なる現状なので思い切った変更をおこなうこと。”これまで”にこだわることのない現状にあわせた意見。● 家庭や社会が多様化する中で様々な教育的ニーズに対応できる人員の確保をすること。
--	---

学校適正規模適正配置アンケート【共通項目】

●町民：問6-1 保護者：問3-1 教員：問3-1

あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。（〇は2つまで）

●町民：問6-2 保護者：問3-2 教員：問3-2

学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。（〇は2つまで）

●町民：問7-1 保護者：問4-1 教員：問5-1

小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

●町民：問7-2 保護者：問4-2 教員：問5-2

中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

●町民：問8-1 保護者：問7-1 教員：問6-1

小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。（〇は1つ）

●町民：問8-2 保護者：問7-2 教員：問6-2

中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。（〇は1つ）

●町民：問9-1 保護者：問8-1 教員：問7-1

【小学校】 少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。（〇は1つ）

●町民：問9-2 保護者：問8-2 教員：問7-2

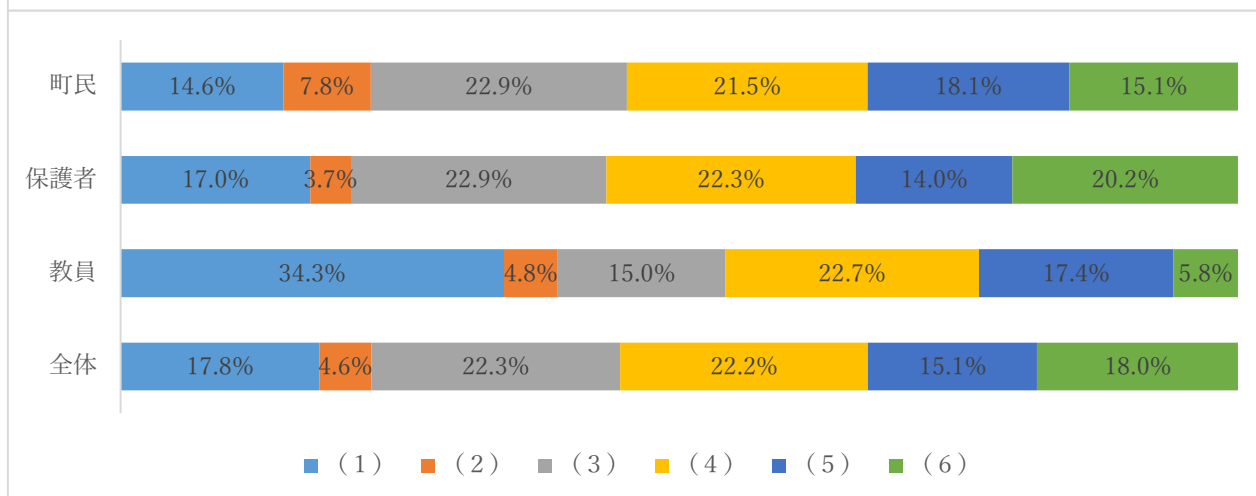
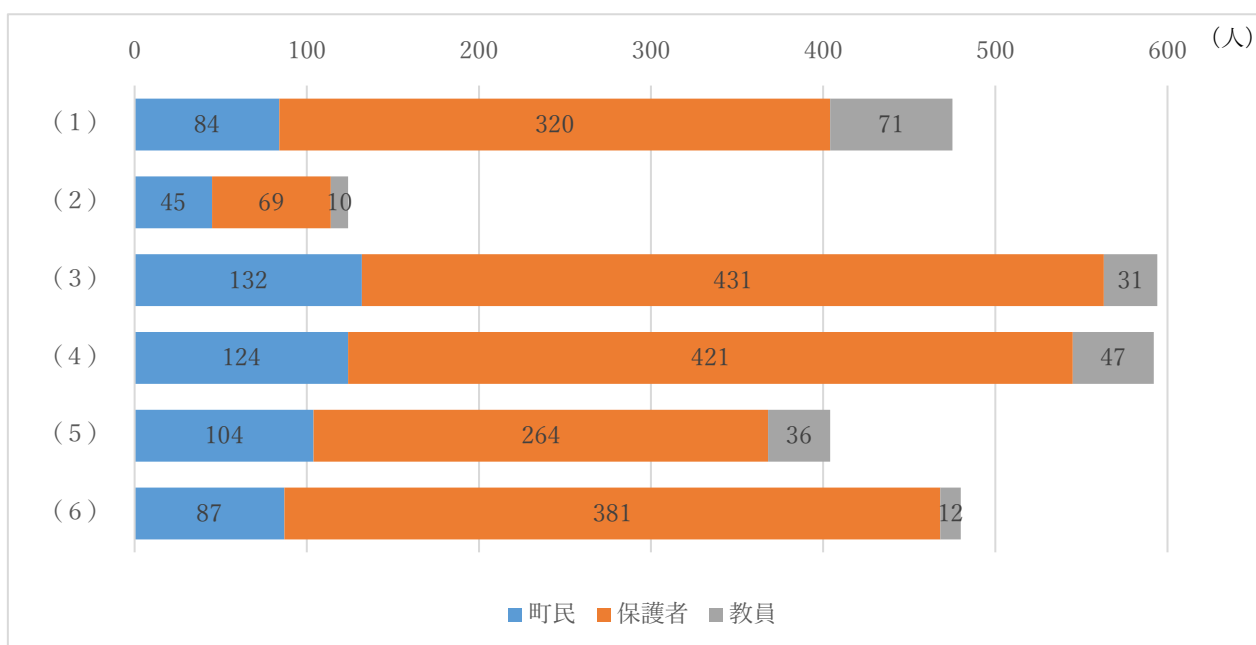
【中学校】 少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。（〇は1つ）

町民：問6-1 保護者：問3-1 教員：問3-1

あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。（〇は2つまで）

「充実したコンピュータ等の ICT 設備」（594 人）、「多様な学びができる校舎設備」（592 人）、
「思いっきり運動できる体育館やグラウンド」（480 人）の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計
全 体	576	1,886	207	2,669
(1) ゆとりある広さの教室環境	84	320	71	475
(2) 充実した図書環境	45	69	10	124
(3) 充実したコンピュータ等の ICT 設備	132	431	31	594
(4) 多様な学びができる校舎設備	124	421	47	592
(5) 安全で快適に過ごせる学習環境	104	264	36	404
(6) 思いっきり運動できる体育館やグラウンド	87	381	12	480

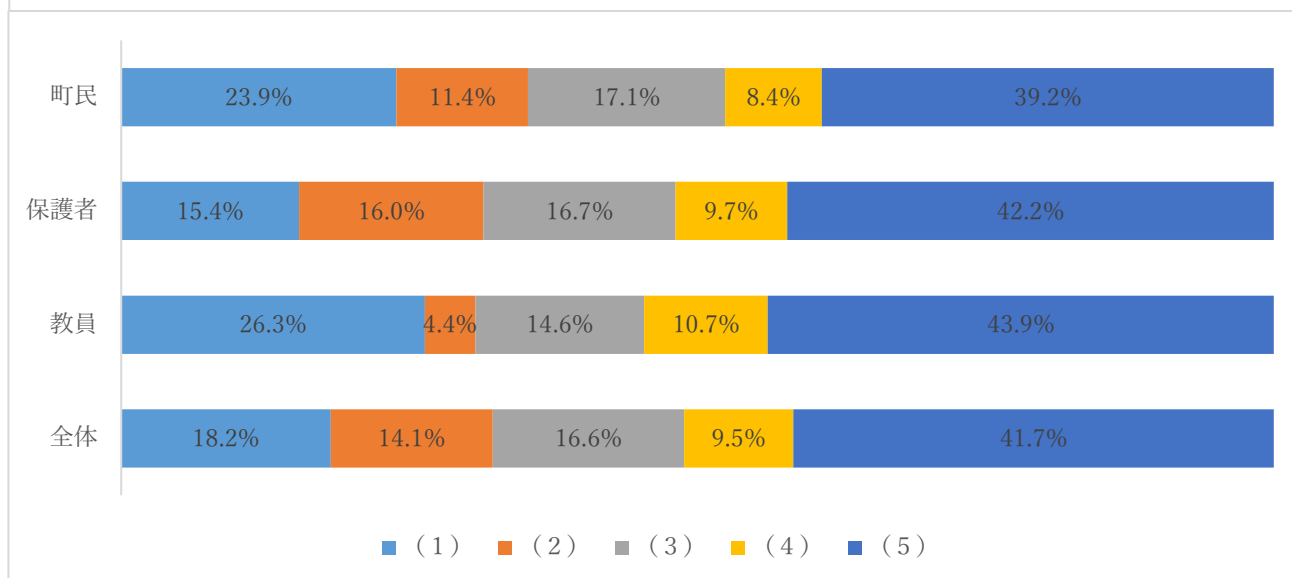
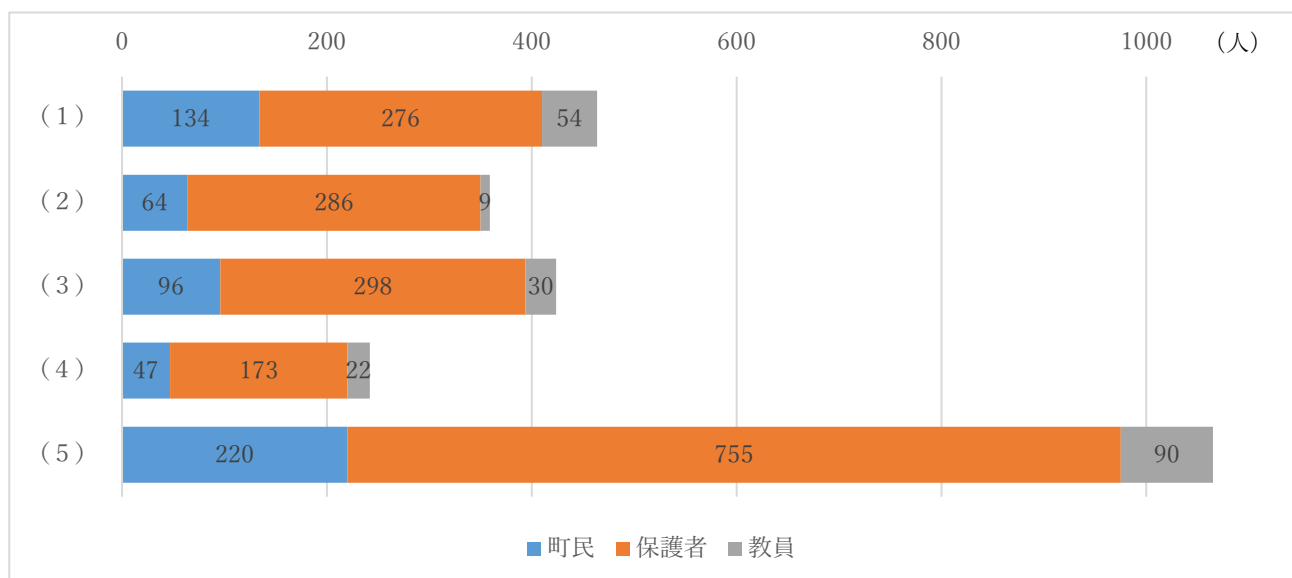


町民：問6-2 保護者：問3-2 教員：問3-2

学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。（〇は2つまで）

「多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会」（1,065人）、「学校と保護者・地域社会が連携した教育活動」（464人）、「同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場」（424人）の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計
全 体	561	1,788	205	2,554
(1) 学校と保護者・地域社会が連携した教育活動	134	276	54	464
(2) 子どもの希望に合う部活動	64	286	9	359
(3) 同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場	96	298	30	424
(4) 同学年少人数で深い人間関係を築ける場	47	173	22	242
(5) 多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会	220	755	90	1,065

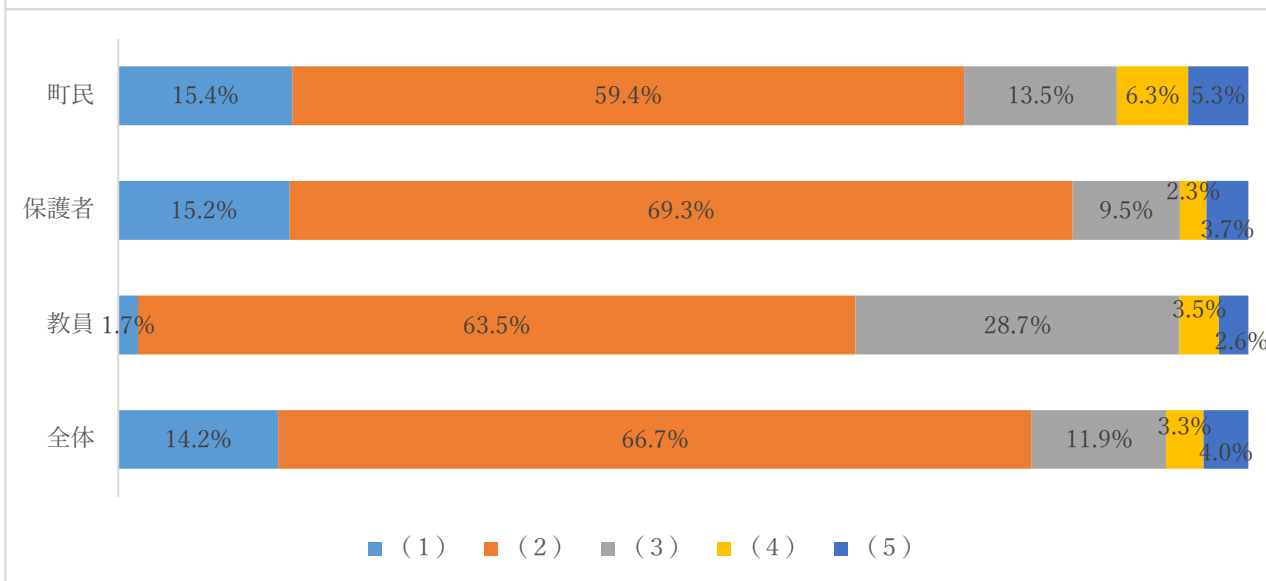
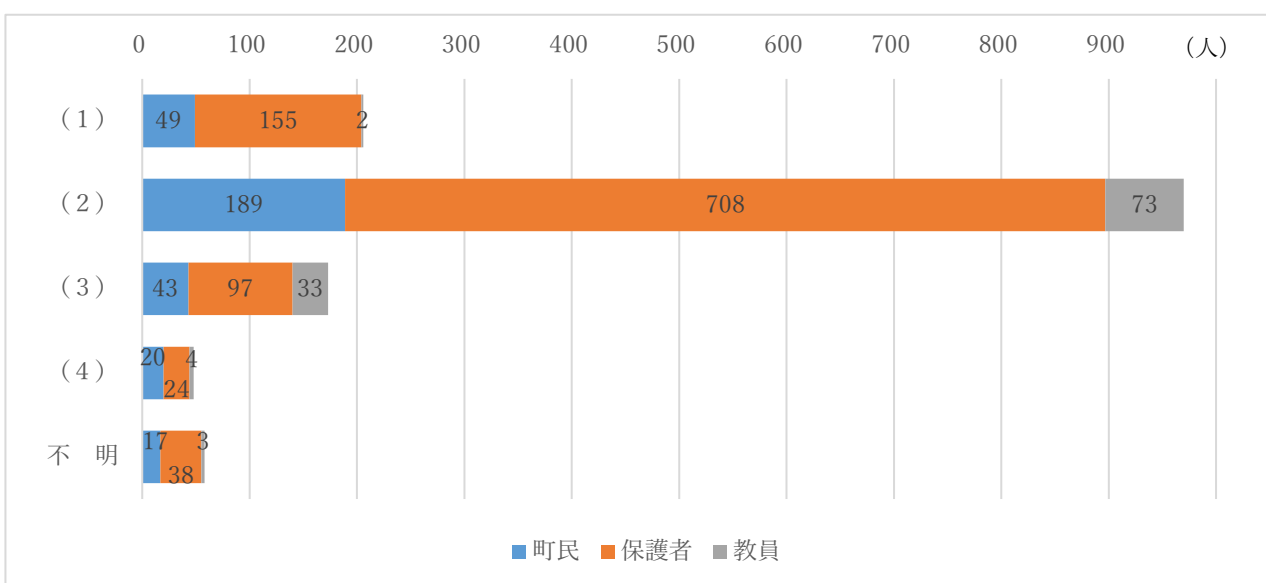


町民：問7-1 保護者：問4-1 教員：問5-1

小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

「2学級」（970人）、「1学級」（206人）、「3学級」（173人）の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計
全 体	318	1,022	115	1,455
(1) 1学級	49	155	2	206
(2) 2学級	189	708	73	970
(3) 3学級	43	97	33	173
(4) 4学級以上	20	24	4	48
不 明	17	38	3	58

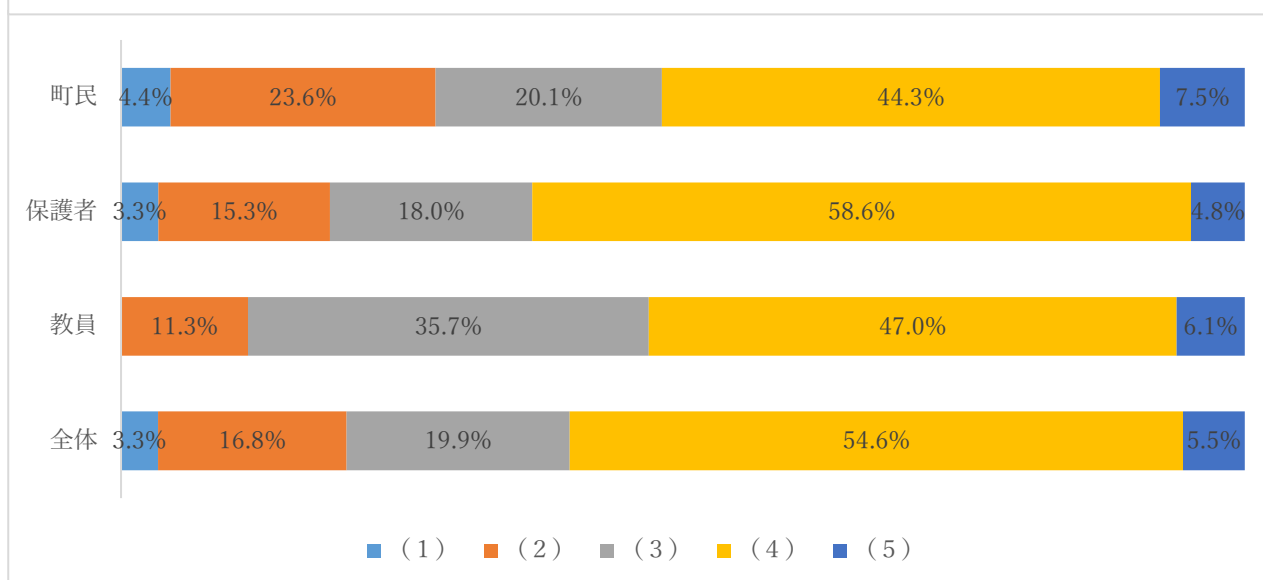
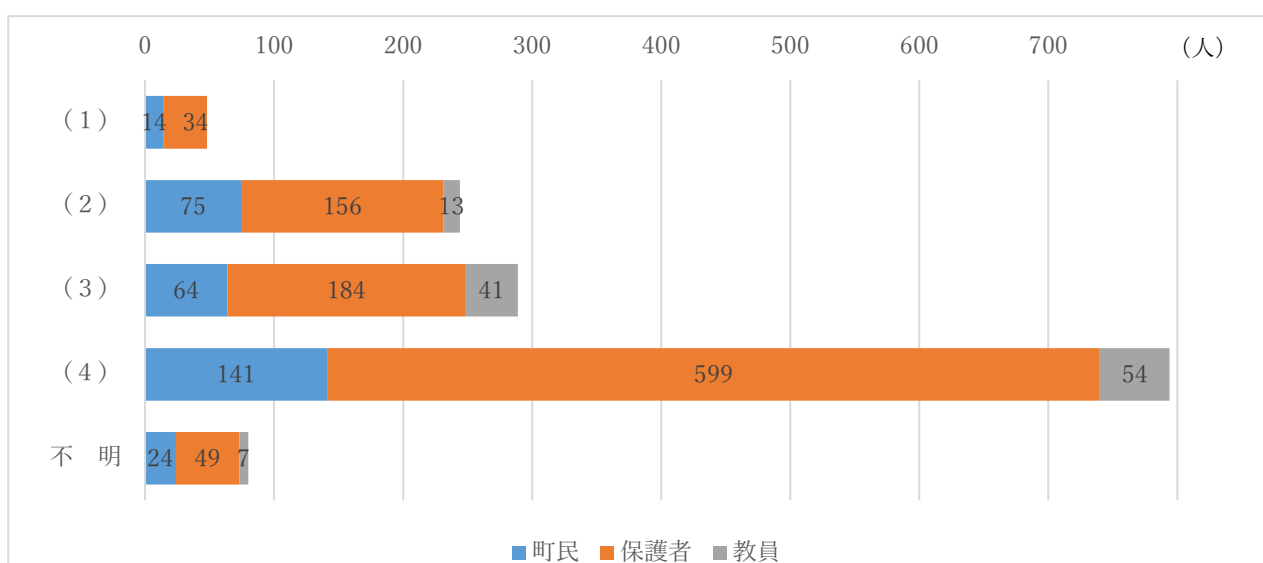


町民：問7-2 保護者：問4-2 教員：問5-2

中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。（〇は1つ）

「4学級以上」（794人）、「3学級」（289人）、「2学級」（244人）の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計
全 体	318	1,022	115	1,455
(1) 1学級	14	34	0	48
(2) 2学級	75	156	13	244
(3) 3学級	64	184	41	289
(4) 4学級以上	141	599	54	794
不 明	24	49	7	80

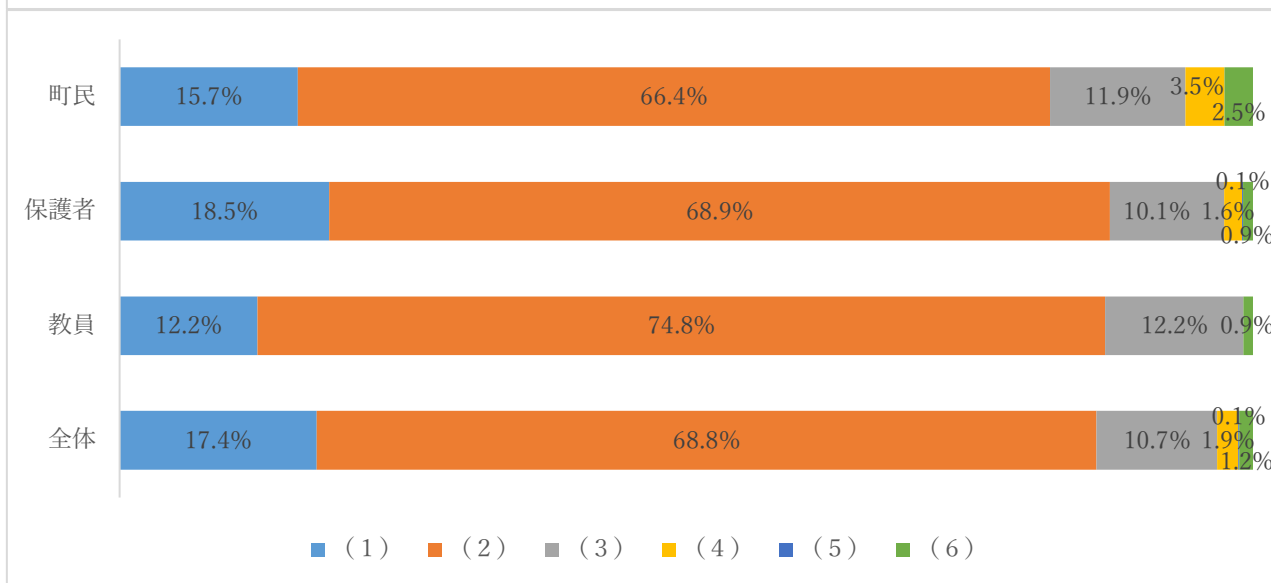
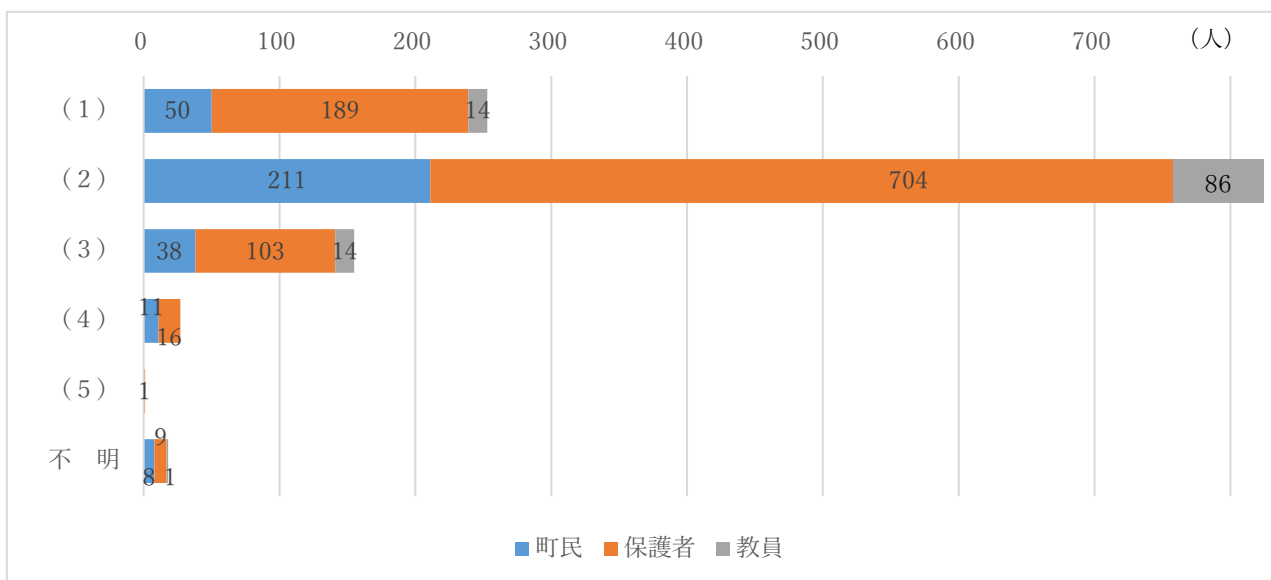


町民：問8-1 保護者：問7-1 教員：問6-1

小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。（〇は1つ）

「30分未満」（1,001人）、「15分未満」（253人）、「45分未満」（155人）の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計
全 体	318	1,022	115	1,455
(1) 15分未満	50	189	14	253
(2) 30分未満	211	704	86	1,001
(3) 45分未満	38	103	14	155
(4) 60分未満	11	16	0	27
(5) 60分以上	0	1	0	1
不 明	8	9	1	18

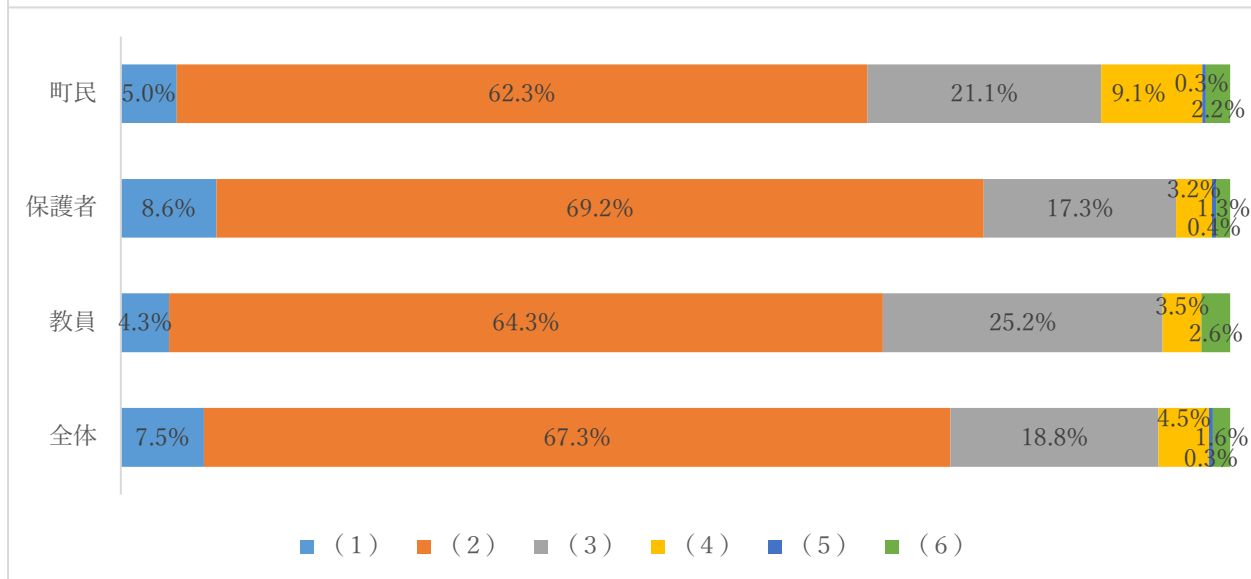
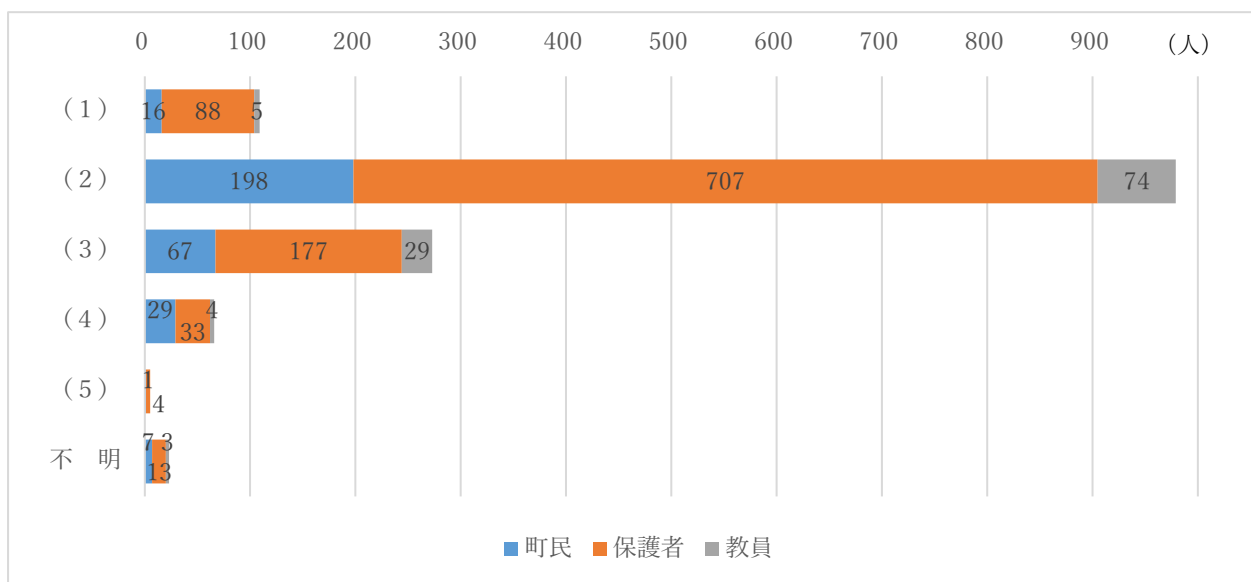


町民：問8-2 保護者：問7-2 教員：問6-2

中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。（〇は1つ）

「30分未満」（979人）、「45分未満」（273人）、「15分未満」（109人）の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計
全 体	318	1,022	115	1,455
(1) 15分未満	16	88	5	109
(2) 30分未満	198	707	74	979
(3) 45分未満	67	177	29	273
(4) 60分未満	29	33	4	66
(5) 60分以上	1	4	0	5
不 明	7	13	3	23



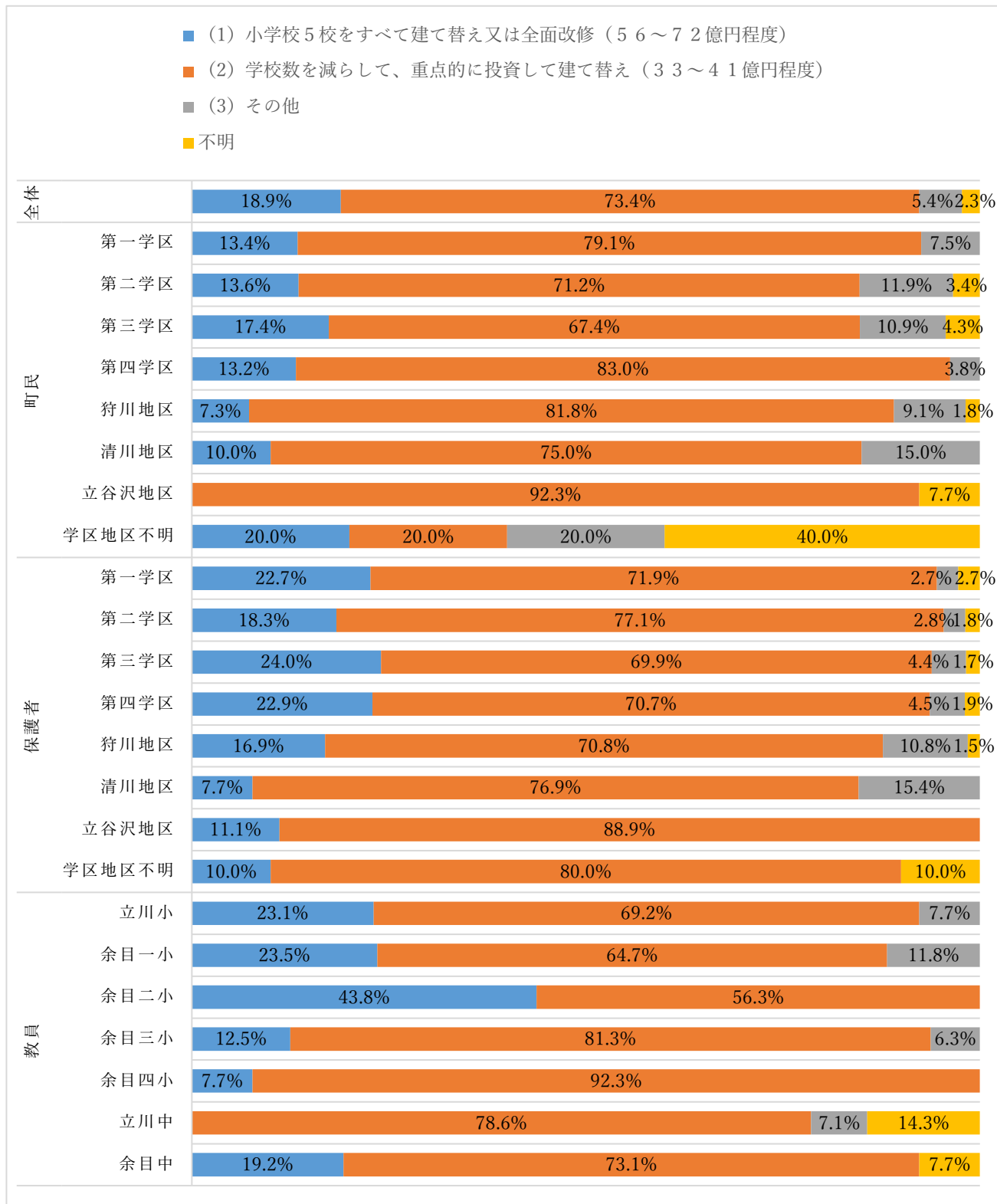
町民：問9-1 保護者：問8-1 教員：問7-1

【小学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。

(○は1つ)

		(1) 小学校 5校をすべて建て替え 又は全面改修	(2) 学校数を減らし て、重点的に投資して 建て替え	(3) その他	不明	総計
全体		275	1,068	79	33	1,455
町民	第一学区	9	53	5		67
	第二学区	8	42	7	2	59
	第三学区	8	31	5	2	46
	第四学区	7	44	2		53
	狩川地区	4	45	5	1	55
	清川地区	2	15	3		20
	立谷沢地区		12		1	13
	学区地区不明	1	1	1	2	5
保護者	第一学区	58	184	7	7	256
	第二学区	40	168	6	4	218
	第三学区	55	160	10	4	229
	第四学区	36	111	7	3	157
	狩川地区	22	92	14	2	130
	清川地区	1	10	2		13
	立谷沢地区	1	8			9
	学区地区不明	1	8		1	10
教員	立川小	3	9	1		13
	余目一小	4	11	2		17
	余目二小	7	9			16
	余目三小	2	13	1		16
	余目四小	1	12			13
	立川中		11	1	2	14
	余目中	5	19		2	26

「学校数を減らして、重点的に投資して建て替え」(1,068人、73.4%)、「小学校5校をすべて建て替え又は全面改修」(275人、18.9%)の順となっています。



町民：問9-2 保護者：問8-2 教員：問7-2

【中学校】少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。

(○は1つ)

		(1) 中学校 2校をすべて改修	(2) 学校数 を減らして、重点的に投資して改修	(3) その他	不明	総計
全体		545	788	75	47	1,455
町民	第一学区	16	46	4	1	67
	第二学区	20	33	5	1	59
	第三学区	10	29	5	2	46
	第四学区	16	36	1		53
	狩川地区	18	32	4	1	55
	清川地区	9	9	2		20
	立谷沢地区	6	6		1	13
	学区地区不明	1	2	1	1	5
保護者	第一学区	100	141	8	7	256
	第二学区	67	137	8	6	218
	第三学区	87	121	11	10	229
	第四学区	68	77	4	8	157
	狩川地区	64	50	15	1	130
	清川地区	5	6	1	1	13
	立谷沢地区	5	3		1	9
	学区地区不明	2	7		1	10
教員	立川小	4	8		1	13
	余目一小	6	8		3	17
	余目二小	6	9	1		16
	余目三小	7	8	1		16
	余目四小	6	7			13
	立川中	7	4	3		14
	余目中	15	9	1	1	26

「学校数を減らして、重点的に投資して改修」(788人、54.2%)、「中学校2校をすべて改修」(545人、37.5%)の順となっています。

